

農福連携促進事業委託業務

# 成果報告書

令和元年12月

北海道



## 目 次

事業の背景と目的	1
I. 農福連携マルシェの開催	2
1. 農福連携マルシェ開催の目的	2
2. 農福連携マルシェの開催パターンと考え方・意義	2
3. 開催内容	3
1) 帯広開催	3
2) 留萌開催	7
3) 室蘭開催	9
4) 道庁赤レンガ開催	11
5) 札幌駅前地下広場開催	14
4. ノウフクマルシェ商談会および即売会の開催	18
5. 「農と福の連携！ノウフクフェア in GIFTS PREMIUM」出品・出展募集への呼びかけ	23
6. まとめ	23
II. 農福連携マッチング支援業務	25
1. 概要	25
2. 実施内容	25
1) 障がい福祉サービス事業所の施設外就労に関する調査	25
2) JA 選果場を対象としたマッチング支援	26
3) 新規就農者を対象としたマッチング支援	33
3. まとめ	36
III. 成果報告会	38
1. 概要	38
2. 実施内容	38

## 別添資料

就労支援事業所における施設外就労に関する意識調査報告書  
「農福連携」に関するアンケート調査結果  
成果報告会資料

## 事業の背景と目的

### 1. 事業の背景

道内の障がい福祉サービス事業所の平均工賃(賃金月額、就労継続支援B型)は18,810円(平成29年度、厚生労働省)、全国平均では15,603円となっており、障がいのある方が、障害年金を含めても地域で自立した生活を営める水準に達していない。このため、道では、工賃水準向上のための取り組みを実施しており、そのひとつが農業分野での障がいのある方の就労を支援し、工賃水準向上及び農業の支え手の拡大を図る農福連携の取り組みである。

一般財団法人北海道農業企業化研究所、社会福祉法人北海道社会福祉協議会および北のめぐみ愛食フェア実行連絡会は、コンソーシアムを設立して北海道の農福連携促進事業委託業務を受託し、業務を遂行した。

### 2. 事業の目的

障がいのある方の工賃向上を図るため、障がい福祉サービス事業所の農業への参入を支援するとともに、農業に取り組む事業所による販売イベント等を開催する。

具体的な事業内容として、次の3つの業務を行う。

#### 1) 農福連携マルシェの開催

農業に取り組む障がい福祉サービス事業所の商品認知度や販売技術の向上を図るため、当該事業所の生産物及び加工品を販売するイベントを開催する。

#### 2) 農福連携マッチング支援

農業生産者と障がい者就労施設をつなぐため、「農福連携」コーディネーターによる農業生産者と障がい者就労施設の農作業請負(施設外就労)のマッチングを支援する。

#### 3) 成果報告会の開催

農業に取り組む障がい福祉サービス事業所の知識向上、農業への参入を検討する障がい福祉サービス事業所の意識啓発を図るため成果報告会を開催する。

#### 4) 成果報告書の作成

本事業の成果をとりまとめた報告書を作成する。

## I. 農福連携マルシェの開催

### 1. 農福連携マルシェ開催の目的

「農福連携」とは、農業従事者の減少や耕作放棄地の増加などの課題に対して、障がいのある方が農業に関わることで補うとともに、就業機会の確保や収入の増加につながり、「農業」と「福祉」が連携することによって、それぞれの課題解決に向かってゆくことができ、その中から新しい事業や地域コミュニティを育み、可能性の幅を広げようとするものである。「農福連携マルシェ」は、そんな「農業」と「福祉」の連携で生まれた「地域の農産物や加工品」を広く多くの人たちに紹介し、購入してもらい、それが工賃向上の取り組みに広がることを目的としている。

### 2. 農福連携マルシェの開催パターンと考え方・意義

農産物、農産加工品の生産販売による工賃向上を狙うには販売する場所の確保と市場流通できる商品の育成が必要だが、そのために越えなければいけないハードルがある。このハードルを越える手段として、マルシェを開催し商品販売の場を提供するとともに販売経験を養うことで商品力の向上を促した。

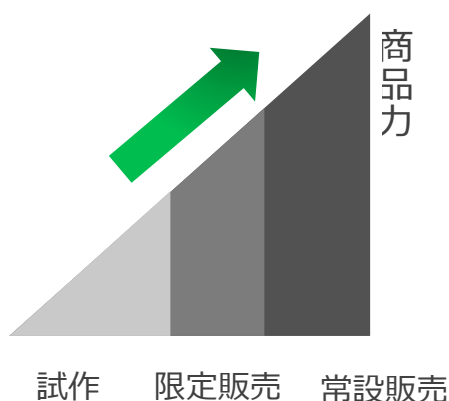


図 1-1. 販売チャネルの広がり と 商品力の関係

マルシェを企画するにあたっては、以下の4つの考え方に基づいた。

- ①より多くの福祉事業所が販売経験を積むために出店しやすい地方開催を企画する。
- ②開催の為のノウハウの構築、新規開催の実施、開催サポートの3パターンに分け、振興局と連携を図りながら実施する。
- ③単独開催だけではなく、他のイベントとの併催を企画し集客を図る。
- ④工賃の向上と安定的な商品づくりのため常設販売を目指し、販売商品について製造

から保存、販売状況などのチェックを受け一般流通する商品づくりを目指す。

開催パターンとしては、①出店者の新規開拓、②開催・取り組みサポート、③「農業者」との連携、④販売チャネルの多様化の4パターンで開催を行った。

表 1-1. 開催パターンごとの実施内容

開催パターン	開催場所	内容
出店者の新規開拓 開催・取り組みのサポート	帯広市	商品力・販売力の向上と身近なところからの販売チャンスの拡大 他イベントとの連携で農福連携マルシェ知名度アップ 「社会貢献」を目指す流通業との連携
出店者の新規開拓 開催・取り組みのサポート 「農業者」との連携	留萌市	農福連携マルシェ知名度アップ 身近な所からの販売チャンスの拡大 商品力・販売力の向上 活動中の NPO 法人の支援
出店者の新規開拓	室蘭市	北海道胆振東部地震 復興支援 農福連携マルシェ知名度アップ
「農業者」との連携	札幌市 地下歩行空間 (チ・カ・ホ)	農福連携マルシェ知名度アップ 身近な所からの販売チャンスの拡大 他イベントとの連携 商品力・販売力の向上
販売チャネルの多様化	札幌市 (赤レンガ庭園)	他イベントとの連携 商品力・販売力の向上

### 3. 開催内容

#### 1) 帯広開催

開催場所：帯広市イトーヨーカドー帯広店（帯広市稲田町南8線10-1）

開催日：10月5日（土）「農業高校食彩フェア」連携開催、6日（日）

開催パターン：出店者の新規開拓開催・取り組みのサポート

#### ア. 概要

10月5日は農業高校「食彩フェア」との連携による「ノウフクマルシェ」を実施した（6日は単独実施）。十勝・根釧地域の農業高校8校の参加がありPRが行き届いていたので、多数の来客があった。事業所の出店商品の中で特に加工品・パン・シイタケ・

ブドウ・はちみつなど他地域からの「応援マーケット」も開催し、商品も多種類だったので目を引き、売り上げもよかった。今回、中札内高等支援学校との連携を計画したが、計画時期が遅かったため実現はしなかった。しかし今回のイベント期間に同校の教頭先生がお見えになり、来年に向けて出店を考慮するとのお話をいただいた。また、今回連携した農業高校の各校長先生にも「農福連携」の意義を認めていただき、今後も連携していけることとなった。

表 1-2. 帯広開催 出店事業所

所在市町村	サービス内容	主な商品
帯広市	就労継続支援B型事業所	じゃがいも・かぼちゃ他
帯広市	就労移行支援・就労継続支援B型事業所	しいたけ、パン
帯広市	障がい者生活介護事業所	木工品
帯広市	多機能型福祉サービス事業所	ごぼう茶・十勝サツマイモのスイーツ・じゃがいも・かぼちゃ・玉ねぎ・トウモロコシほか
音更町	就労継続支援B型事業所	ハム、ソーセージ
栗山町	就労継続支援B型事業所	ラスク・ふすま粉・全粒粉
長沼町	就労継続支援A型・B型事業所	はちみつ
札幌市	就労継続支援A型事業所	トマトジュース、トマトソース
苫小牧市	就労継続支援B型事業所事業所	しそジュース
穂別町	就労継続支援B型事業所	しいたけ
余市町	就労継続支援B型事業所	ブドウ





写 1-1. イトーヨーカ堂帯広店での様子



図 1-2. 帯広開催チラシ

#### イ. 商品力・販売力の向上と販売チャネルの多様化

大型店との新規取引の場合、多様な手続きとして、①食品関連の法令は順守されているか、②製造業については施設・設備の確認、サニーステーション、生産工程管理、検査体制や製造にかかわる個人の衛生などのチェックを求められた。(図 1-2「セルフチ



エック用紙) また工場に立入り検査があったが、指導を受けながらクリアし今後の販売も可能となった。

I Y取扱い商品製造工場 セルフチェック用紙						
イトーヨーカ堂 QC部食品担当作成 16.9 改訂、17.3一部修正						
お取引先様とMDとで相互確認をお願いします。お取引先様がセルフチェックを行い、その後MDがチェックを行って下さい。 ( <input type="checkbox"/> お取引先様記入欄、 <input type="checkbox"/> お取引先様選択欄、 <input type="checkbox"/> 商品部記入欄 )						
記入責任者	氏名	役職名	記入日	年	月	日
確認MD	氏名	部署	確認日	年	月	日
工場概要	社名			工場名		
	工場住所			工場TEL		
	工場取得認証			工場建設年		
	工場面積			稼働時間		
	従業員数			休業日		
	資本金			年商		
	工場生産品目			IY取扱い商品名		
1日最大生産量			主な取引先			
判定欄には、「○」か「×」を選択。該当しない項目には「-」を選択して下さい。(△、空欄はご遠慮下さい) <span style="float: right;">No.1</span>						
分類	項目	確認内容の詳細				判定欄 取引先 MD
施設・設備	密閉度	★虫・鼠の侵入防止対策がされている(入出荷口の二重扉、窓の開放がない、給排気口や排水口の防虫対策)				
	レイアウト	★汚染区と清潔区の区分がされている ★清潔区に汚染源の持ち込みがない(衛生区に段ボール、外用備品の持ち込み、人の交差がない)				
	製造室	★保守管理がされている(床材の剥がれ、壁、天井の穴、窓ガラスの割れなど、破損箇所の放置がない)				
	機械・装置 器具・備品	★機械・装置の保守管理がされている(サビ、塗装の剥がれ、不要な配線コード、針金補修などが無い) ★器具・備品の保守管理がされている(破損、サビ、ササクレ、ブラシの抜け毛などが無い) ★金属タワシ、金ザル、ガラス製品など、材質や構造的に異物混入の原因となる器具備品を使用していない 備品は、適切な位置での定位置管理、数量管理がされている				
	記録	保守管理記録を残している				
	温度管理	★冷蔵・冷凍設備や作業室は、正確な温度計で温度確認をし、記録に残している 記録頻度 <input type="text"/> 回/日 温度基準：冷蔵庫 <input type="text"/> 冷凍庫 <input type="text"/> 作業室 <input type="text"/>				
	防虫防鼠	鼠や害虫の駆除・予防対策がされている 防虫業者： <input type="text"/> 頻度 <input type="text"/> 回/年 調査対象：鼠 <input type="text"/> 害虫 <input type="text"/> 施工内容 <input type="text"/>				
サニテーション	製造室	★クリンネス状況に問題は無い(壁や天井に結露やカビ、床に水溜り、排水溝のヌメリや異臭がない)				
	機械・装置 器具・備品	★クリンネス状況に問題は無い(サビ、原料付着などの汚れがない) 洗浄マニュアルがある(洗浄頻度、洗浄箇所に応じた使用洗剤、洗浄や殺菌方法の仕組みがある)				
	洗剤	工場内で使用する洗剤が決められている 食品と分けられた場所で定位置保管し、各種が判別し易くなっている				
	記録	洗浄・清掃記録を残している				
	温度管理	★適切な温度管理がされている(原材料の入荷～製造～出荷まで温度管理され、常温放置や滞留がない)				
生産工程管理	原材料管理	★受入基準があり、入荷ごとに確認と記録が残されている(品温、鮮度、日付、産地など) 使用基準があり、日付管理がされている				
	整理・整頓	原材料、仕掛品、製品、資材は、それぞれ保管場所が決まられ、保管方法は適切である 作業場は、作業スペースが明確に区分けされている(通路、モノの保管場所と交差していない) ★コンタミネーション管理がされている(アレルギー、原材料、添加物、GMO、特色のある原材料など)				
	配合	★配合記録を残している(配合レシピが文書化され、調合の都度に確認と記録をしている)				
	危害分析	製造工程表がある 製造工程表に、「危害分析」「重要管理点(CCP)」「管理基準」「モニタリング(記録)」「是正措置」が設定されている ★重要管理点(CCP)となる「加熱」「殺菌」の記録を残している CCP管理基準 <input type="text"/> 加熱・殺菌方法 <input type="text"/> 管理時間 <input type="text"/> 記録頻度 <input type="text"/>				
	区分	重要管理点(CCP)後の製品と、未処理品は区分けされている(保管場所、使用備品の種類等での区分け)				
	表示	生産開始、中間、最終で、使用原材料や仕掛品の日付管理と確認がされている 使用原材料や添加物の変更時は、一括表示に反映されている ★製造ごとに一括表示や賞味期限を確認し、記録に残している				
	異物対策	包材由来の異物混入防止として、目視確認や吸引等の対策を実施している ★金属探知機、X線異物検出器による異物対策を実施し、動作確認の記録を残している 金探：テストピース Fe <input type="text"/> φ Sus <input type="text"/> φ 記録頻度 <input type="text"/> X線：テストピース <input type="text"/> 記録頻度 <input type="text"/> ★金探・X線以外の異物対策を講じている 対策内容 <input type="text"/>				
	量目	誤計量防止の為、計量器の始業前点検と記録、最終製品の量目確認がされている				
	トラブル対応	製造トラブル発生時の対応ルールと記録がある(不良品の確認や排除などの対応方法と報告、記録の実施)				

図 1-3. 取扱商品セルフチェック表

## ウ. 成果

帯広開催での成果について以下の3点を挙げる。

- ① 製造者が、一般に流通する商品として製品のみならず製造工程についても外部から認められたことはこれからの展開の自信につながったのではないかと。
- ② 定番商品  
今のところは、製造販売する商品の量が少ないため定番商品としての扱いは少し待たなければならないが、「福祉事業所」のオリジナル商品として販売を続けていくことで販売力の向上も期待できる。
- ③ 販売チャネルの多様化  
今回のイベントを実施することにより、大型店とも面識ができ販売チャネルの多様化に寄与することができた。



2019年10月6日十勝毎日新聞 掲載

## 2) 留萌市開催

開催場所：留萌振興局合同庁舎道民ホール（留萌市住之江町2丁目1-2）

開催日：8月9日（金）

開催パターン：新規開拓・地元取り組みのサポート

## ア. 概要

地方開催の継続的な支援のため NPO 法人留萌農業応援隊と協力して「農福マルシェ」を開催した。今回は雇用機会を提供している農家の出店もあった。留萌農業応援隊は持続的な地域農業の活性化と社会福祉向上に寄与することを目的として以下の事に取り組んでいる団体である。

- ① 新規就農者の実習から就農、定着までの支援体制の構築。

- ② 通年型農業を目指した高付加価値施設栽培技術の確率。
- ③ 農業と福祉の連携による6次産業化による障がい者等の就労支援。
- ④ 地域農業の労働力不足解消を目指した農作業支援および事務支援など。

表 1-3. 留萌開催 出店事業者

所在市町村	サービス内容	主な商品
留萌市	雇用機会の提供	切り干し大根
留萌市	障がい者の派遣	野菜
小平町	就労継続支援B型事業所	カステラ スイーツ
留萌市	就労継続支援B型事業所	唐揚げ
札幌市	就労継続支援B型事業所	パン
留萌市	就労継続支援A型事業所	野菜



写 1-3. 留萌開催の様子

#### イ. 出店者の新規開拓

定期的に販売事業を行っている事業所に対しての支援のほか留萌市以外の地域の事業所に場所の提供と販売チャンスの有りどころを紹介した。留萌振興局の協力を得て留萌管内の就労継続支援 B 型事業所を中心にメールと FAX で呼びかけを行ったところ、8 団体から出店の希望があった。集客を考え北海道新聞へのチラシの折り込み広告を 4000 部ほど実施した。(折り込み実施の地域、留萌市内と小平町) 当日は悪天候で一部国道が不通になるなどの影響もあり、1 事業所が不参加となったが、多くの方にご来場いただき購入いただいた。

#### ウ. 成果

##### ①留萌市以外の事業所の参加

農福連携を進めている NPO 法人農業応援隊の協力を得て、雇用機会の提供を行っている農業者の参加のほか、札幌からも同様に福祉事業所に畑を貸して指導を行っている農家と事業所が合同での参加があった。悪天候に見舞われたにもかかわらず来場者から「こんなにここ(振興局ホール)に来た人を見たことがない」との声があり、また月に何回かの販売を行っている事業者の商品の売上は好調で、追加での補充などもあったが、品切れ続出の状態であった。一つの事業所が製造できる商品量はほとんど決まっているので、要望があっても今以上の売上げをあげることが難しいとの事業所の声もあった。

##### ②今後の活動

NPO 法人農業応援隊は「マルシェ」のみならず農福連携を目的として、六次化商品の開発や他地域の先進的な農業者の話聞くなどの活動を行っている。今回の活動を通じて、お互いに顔見知りとなり、応援隊も農家支援の窓口を広げるとともに留萌管内の福祉事業所に気軽に声をかけることが出来るようになったと思う。

#### 3) 室蘭開催

開催場所: 室蘭市中島町 1 丁目ビアキャビン横広場 (西いぶりファーマーズマーケット参加)

開催日: 9 月 15 日 (日)

開催パターン: 復興支援・新規開拓・他イベントに参加

#### ア. 概要

胆振東部地震支援として本来は東胆振での開催を考えたが、各市町村とも復興半ばで開催場所の確保が難しかったため、昨年 HAL 農業賞を受けた西いぶりファーマーズマーケット実行委員会と連絡を取り、参加させてもらうことになった。

被災した各地域の福祉事業所にあたり、参加を依頼したが「商品をそろえる・販売従

事者を派遣する」などの点で対応できないことがわかり、結果的にはコンソーシアムの委託販売の形で実施した。

表 1-4. 室蘭開催 出店事業者

所在市町村	サービス内容	主な商品
苫小牧市	就労継続支援 B 型事業所	しそジュース
苫小牧市	就労継続支援 B 型事業所	はすかつぷジャム
勇払郡むかわ町	就労継続支援 B 型事業所	生しいたけ・乾燥しいたけ
札幌市	就労継続支援 A 型事業所	ミニトマト
長沼町	就労継続支援 A 型・B 型事業所	はちみつ



写 1-4. 西いぶりファーマーズマーケットの様子

#### 4) 道庁赤レンガ開催

開催場所：道庁赤レンガ前庭（札幌市中央区北3条西6丁目）

開催日：7月23日（火）～26日（金）（4日間実施）

開催パターン：販売チャネルの多様化

参加事業所数：23日・24日 延べ10事業所／25日・26日 延べ9事業所

全体出店数：28店 内訳 愛食関連22店／農福連携マルシェ6事業所

#### ア. 概要

本年度で13年目の開催になったコンソーシアム構成員の「北のめぐみ愛食フェア」に参加し、販売及び出店事業所のそれぞれのこだわりを案内チラシの裏側に記載し、不特定多数の人たちを対象に紹介した。

#### 【配布した案内チラシ】

**北のめぐみ愛食フェア in ミニノウフクマルシェ**

開催日：2019年7月23日（火）～7月26日（金）

開催場所：道庁赤れんが庁舎前庭

農福ブース☆ご紹介

出店事業所／開催参加日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日
13. 畑とキッチン 販売品目：野菜・農産加工品	○	○	○	○
14. はたらきもん 販売品目：ニンニク加工品 生ブルーベリー	○	○	○	○
15. ワークセンター栗の木 販売品目：パン類	○	○		○
16. 藤野ワーク リコびんず 販売品目：紙工芸品	○	○		
16. ユニマインド 販売品目：皮革工芸品			○	○
う【キッチンカー】. SAN-EN(サンエン) 販売品目：唐揚げ、ジューズ農産物	○	○	○	○

【チラシの裏面】

市町村	出店事業所	出店事業所からのメッセージ
栗山	就労継続支援 B 型事業所	栗山町産の素材にこだわり、添加物をできるだけ使わずにひとつひとつ丁寧にパンを焼き上げています。この「栗の木健康パン」は、多くの人に食べてもらうことで、施設利用者と地域住民をつなぐ「福祉のパン」を目指しています。
札幌	就労継続支援 A 型事業所	食の安全と労働を大切に安心して食べられるものを生産販売し障がい者に働く喜びを「畑」と「キッチン」から提供いたします。札幌市内、郊外に土地を借りて無農薬低農薬の野菜を栽培し加工しています。添加物を使用せず殺菌消毒を丁寧に安心して食べられる食品を丁寧に製造・販売しています。
札幌	就労継続支援 B 型事業所	赤井川村産有機栽培ニンニクを使用した黒ニンニクの包装や販売。今回は支援いただいている仁木町の果樹園からのブルーベリーとの計量・包装の作業を行い販売いたします。ブルーベリーは数量限定です
札幌	就労継続支援 B 型事業所	長年、子どもたちの支援をしている中で、彼らが卒業した後、成人した後の行き場が少ない現実に向き合っています。保護者の方からも就職先がない、将来が不安というお話も多く相談を受けるようになりました。そんな中、彼らが学校を卒業した後、就職ができる会社を創りました。スタッフ一人ひとりが利用者に向き合い、日々の仕事の中で社会に対して果たすべき責任や成しうる貢献を考えることが私たちの基本姿勢です。障がいを抱えた彼らが、地域の中に包み込まれて支え合いながら働いていく、そして自立していける体制づくりを目指します。
札幌	就労継続支援 A 型事業所	障がいを持つ方と共に、働くって楽しいと感じられる仕事を創造していく会社です。弊社には障がい者福祉や介護に関する豊富な知識と経験を持ち、また、様々な業種の職業経験を持つスタッフがいます。私たちは、一人ひとりの個性や能力、素養を尊重し、その人に合った仕事を工夫し作り出していきます。ただ作業するだけの仕事ではなく、社会の役に立ち、人に『欲しい』と言われる商品やサービスを創造する事で、仕事の喜びを感じてもらい、また、自分の足で立ち、豊かな生活を楽しむ事が出来るように、お互い協力し歩いていく事を目指しています。
札幌	就労継続支援 B 型事業所	自閉症の方や知的な障がいをもつ方たちの親とその支援者が 2011 年に立ち上げた法人です。2014 年より共同生活援助事業と就労継続支援 B 型事業を進めています。リサイクル牛乳パックから取り出したパルプを使って、はがき カレンダー マスコット 根付などをすべて手作業で作成、販売しております。札幌駅西コンコース内「元気ショップ いこ〜る」や地下鉄南北線大通り駅コンコース内「元気ショップ」また、事業所内で好評販売中です。特に「落ちないしおり」と色にじみしにくい「紙すきはがき エクセレント」に注目いただいています。

案内チラシは「愛食フェア」事務局の協力を得て事務局で配布し、一般の出店者との違いをPRした。またノウクからの出店ではなかったが、福祉事業所からの出店希望があったので同じくくりとしレイアウトした。インバウンドの観光客をはじめ、多くの通行客が足を止めて立ち寄っていた。説明を聞いてもなかなか販売に結び付くのは難しかったが、「ノウクマルシェ」について「いつからやっているのか」「どこに行ったら購入できるのか」などの問い合わせが事務局にいると立ち寄ったお客様からあった。テントのレイアウトとして「のぼり」「テーブルクロス」などをレイアウトして他との違いを強調するとともに「愛食フェア」のTV取材があった中で福祉事業所の出店者への取材も受けた。



写 1-5. 道庁赤レンガ開催中の TV クルーによる取材

#### イ. 他のイベントとの連携

愛食フェアに通常出店している出店者との交流や食以外の商品（工芸品・手工芸品）の販売をしている福祉事業所の出店依頼を「愛食フェア」事務局から受け、ともにコーナー化して出店した。出店内容が「愛食フェア」の出店者とバッティングしたところもあり、全体の売り上げとしてはあまりよくなかったが、TV 取材などのメディアにのった効果もあり、キッチンカーで販売されている喫茶商品などを目的にされるお客様の来店があった。



写 1-6. 道庁赤レンガ開催の様子



## 5) 札幌駅前地下広場開催

開催名：ノウフクマルシェ&農家作ったうまいものフェスティバル 2019

開催場所：札幌市地下歩行空間（チ・カ・ホ）北3条広場西

開催日：8月31日（土）、9月1日（日）

開催パターン：商品・販売力の向上、六次化を推進している農業者との連携

### ア. 概要

六次化商品を手掛けている農業者や加工事業所との共催による商品・販売力の学習を目指して開催した。地方からの出店農業者が多く、六次化で自家の農産物を原料にして加工を行っているところが多く見受けられた。参加した農業者は、農福連携については聞いたことがあるが、福祉事業所に派遣などを依頼したことはないという声が多かった。中には3年ほど前までお願いしていたが、耕作地を狭くしたことと、事業所のほうで指導員の人手が不足しているとの話があり、やめてしまったという果樹農家もいた。

表 1-5. 札幌駅前地下広場開催 出店事業者

所在市町村	サービス内容	出店日	主な商品
栗山町	就労継続支援 B 型事業所	両日	ふすまパン・角食・スティックブラウン・全粒ラスク他
札幌市	就労継続支援 A 型事業所	両日	野菜トマトジュース
札幌市	就労継続支援 A 型事業所	初日	トマトピューレ・各種ジャムなど農産加工品
長沼町	就労継続支援 A 型・B 型事業所	二日目	黒ニンニク、ブルーベリー
当別町	就労継続支援 A 型事業所	両日	蜂蜜・クッキー
当麻町	就労継続支援 B 型事業所	二日目	カップケーキ・野菜
中頓別町	就労継続支援 B 型事業所	初日	平飼鶏卵・シフォンケーキ・カップケーキ・プリン
余市町	就労継続支援 B 型事業所	両日	冷凍ブルーベリー
札幌市	就労継続支援 B 型事業所	両日	牛乳・しいたけ
札幌市	就労継続支援 B 型事業所	両日	調理用トマト・ブドウ
江別市	就労継続支援 B 型事業所	二日目	食用かぼちゃの種



図 1-4. 札幌駅前地下広場開催チラシ



写 1-7. 案内展示

#### イ. 農福連携知名度のアップ

地下歩行空間（チ・カ・ホ）の通行者が1日8万人と言われている中での開催によりノウフクマルシェの紹介による知名度のアップを図った。

六次産業化を行っている農家とタッグを組み北海道の農業者と福祉事業者と隣りあわせのレイアウトとすることで、お互いに商品の情報交換をしたり、商品づくりの参考のために買い求めたり、名刺交換をするなど出店者同士の絆を深めることができた。

札幌駅前地下歩行空間の通行者もかなり多く、たくさんの人たちが出店者の話を聞きながら買い物をしており、中には開催の2日間必ず立ち寄ってくれるなどのお客様もいけてくださり盛況であった。8月の夏野菜のピークが終わり秋野菜との端境期だったが、事業所内の畑で生産したトウモロコシ250本を2日間・3時間ほどで完売した事業所もあった。農産物を販売したところの売上げが高く、加工品を中心のところは「はちみつ」を除いてなかなか厳しい様子だった。季節を先取りした、ブドウやかぼちゃがよく売れていたが、いずれの場合もチカホという場所柄、追加の納品が難しく市内の事業所の場合は、派遣先の農家と連携して農産物を運び込んでいるところもあり、売り切り御免の状況になりやすい中ではあったが、順調に売上げを伸ばしているところもあった。ノウフクマルシェ出店者全体で664,000円の売上げで延べ17事業所の平均は1事業所当たり1日39,000円で総体の売上げの45%であった。



写 1-8. 札幌駅前地下広場開催の様子

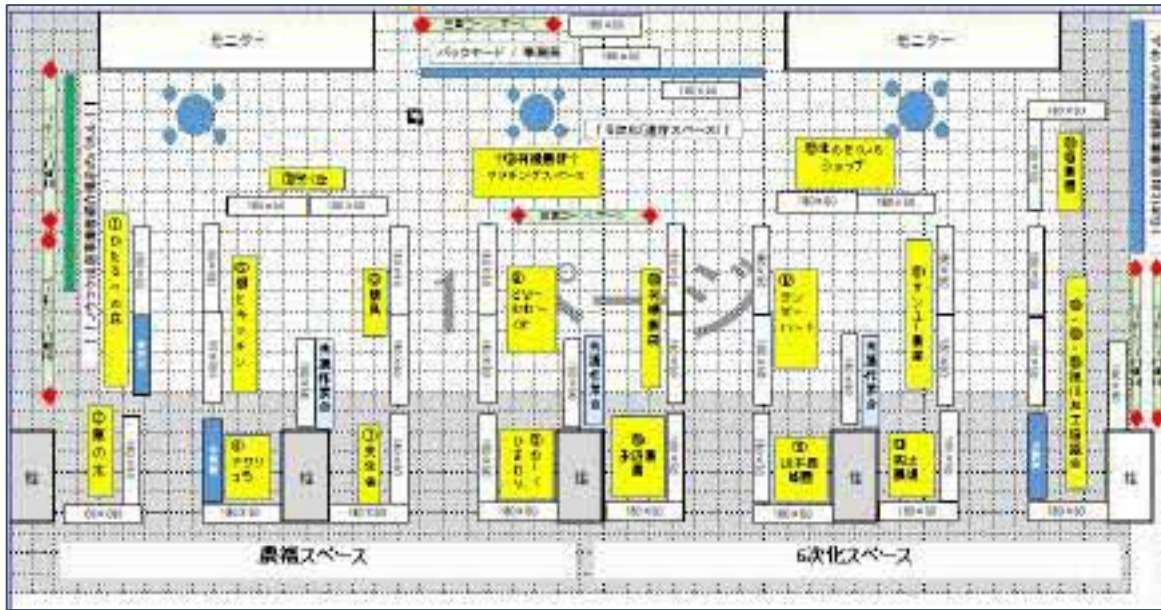


図 1-5. レイアウト図

6) ノウフクマルシェ出店事業所および売り上げ一覧

開催場所	開催日	出店事業所数	売上金額 (円)
帯広市	10月5・6日	9	222,000
留萌市	8月9日	6	121,000
室蘭市	9月15日	5	30,000
道庁赤レンガ前庭	7月23日～26日	6	43,670
地下歩行空間 (チ・カ・ホ)	8月31日	11	664,000
	9月1日		全体売上総額 1,464,000

#### 4. ノウクマルシェ商談会および即売会の開催

開催日 11月13日(水) 14時～17時

開催場所 札幌サンプラザ(札幌市北区北24条西5丁目)

当日のスケジュール

14:00～ 開催・紹介のスピーチ

- 出店者の立場から～(当別町) Farm Agricola 水野 智大氏
- 支援農業者として～(新篠津村) 大塚ファーム 大塚 裕樹氏
- 派遣の立場として～(江別市) 菓子工房 笑くぼ 小西 倫枝氏

14:30～17:00 商談・参加者自由懇談

##### ア. 概要

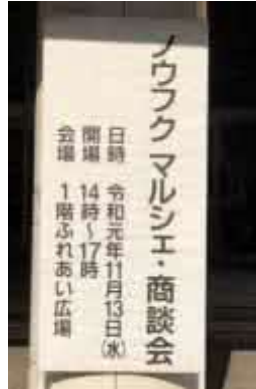
商談会に先立ち、出店者、支援農業者、派遣それぞれの立場からの農福連携についてのスピーチを行った。商談会の合間には、各出展者がそれぞれのブース前でPRを個別に実施した。

当日の呼びかけを小売り(流通業)のバイヤーを中心に行ったが、参加バイヤーは少なかつた。流通大型店の場合は、それぞれ担当部門(加工品・青果物など)に分かれているので、商談品目について踏み込んだ案内をするべきだった。

バイヤーは少数の参加だったが逆に「ゆっくり話を聞いてもらえた。どんなことをやっているのか分かってもらえた」などの声があった。商品の品質向上や訴求力強化、今後の通常流通での販路開拓に向けた指導・助言はそれぞれ、商品を説明する中で得たものは大きいようだった。出店者同士が交流を図り、販売が主の場合は接客があり、なかなかゆっくりと話す機会が少ないが、今回はそれぞれ出店事業所が情報の交換ができたようで、来期については共同での作業などの話ができたと例が3点ほどあった。(出店事業所アンケートより)

##### イ. バイヤーの反応

当日の商談として成立したものはなかったが、参加バイヤーから「イベントとしてまず開催してみるほうが良い。商品表示その他でそれぞれ販売の場合には独自のルールがあるので1度大型店で販売してみるのはどうだろうか?売れ筋を知るにもそれがいいと思う」「どれほどの生産量があるのか具体的に知りたいので、個別にお話をしたい。連絡をくれるように話をした。」「農産物を絡めての商談会をするといいのではないか。デパートの場合1回の販売量が多いので、売り方に工夫が必要ではある。」というアドバイスを頂いた。





写 1-9. 商談会の様子

#### ウ. 参加事業所のアンケート

商談会後日、参加事業所 10 か所に対しての「聞き取りアンケート調査」を行った。

( ) はそれぞれが商談会に提案した商品内容

#### 問 1. 今回の商談会に参加して

##### <よかった～3 事業所>

- ① 今自分たちがちょっと忙しくて時間が取れにくいですが、バイヤーから「都合の良い時に商談に来てください」と話をもらえた。(トマトジュース・トマトソース・味噌・米麴)
- ② 雇用機会を提供している農業者について「顔は知っていたが初めてゆっくり話ができ。トマトジュースの製造の件で相談したところ、来期製造について相談に乗ってくれることになった。」普段一般の人を相手にしか話をしていないので、バイヤーさんと初めて話をした。価格的には問題はないので、その場合の販売量が半端でなく多いので(当該事業所生産量1か月1kg) ちょっと無理かなと思ったが、見てもらい話を聞けただけでもメリットがあった。今回はお客さんの中に大量購入の人がいて持って行った物が全部売れた。(黒ニンニク)
- ③ 本格的に農業と福祉に取り組んでいる事業所の方や企業のバイヤーの方とお会いする機会をはじめたので、様々なお話を聞くことができとても勉強になった。またこのような機会がありましたらぜひお声をかけてほしい。

##### <不満だった～3 事業所>

- ① やっている方向は間違いないと思うのだが、なかなか業界に評価されないのが不満  
福祉事業所が農業と連携して事業化を目指していることを知らないのではないか。  
行政が一般的な情報をもっとだすような努力をしてほしい。  
いろいろな商談会に参加はするが、大体は素通りされてしまう。チ・カ・ホのよう  
なところで一般の人を対象に販売したほうが PR 効果はあるのではないかと。(ふすま  
パン・ステックブラウン・全粒粉)
- ② ご近所野菜で販売をお願いしているがすべて委託販売なので何とか買い取りにして  
もらいたかったが、やはり無理のようだ。宅配のシステムに乗せたいが(鶏卵1か  
月2万個の生産)手数料が高すぎて手が出ない。配達のことを考えると販売したい  
のは、札幌市内と北広島くらいになるがデパートとの商談は手数と費用が掛かりす  
ぎるので無理だと思った。(平飼鶏卵・亜麻仁卵・オーガニックエッグ)
- ③ 商談会と販売を一緒に実施したが、ターゲットが違うので場所の選定が難しいので  
はないか。持参する際の数量の決定にも迷った。やはり別々に実施したほうがよか  
ったと思う(はちみつ)



問2. 商談会を開いて参加してほしいバイヤーの業種はどこか

ターゲットにしたい業種	回答
飲食業	ニンジンジュース・ワイン・生うどん・生ラーメン 鶏卵・トマトジュース・各種野菜ソース
食品卸業	黒ニンニク
食品製造業（パン製造を含む）	トマトジュース・はちみつ
レストラン	ワイン・はちみつ
その他	ドックフード・焼き菓子
回答なし	2事業所

意見

- ① 最近関連販売をしているが売れている。パン・コーヒー店・農産物直売所などもいいと思った。異業種とのコラボも考えたい（はちみつ）
- ② 業務用で食品メーカーなどと提携をしたい（鶏卵・生うどん）

問3. 「ノウクマルシェ」で商談会を実施する場合、単独開催と「ノウクマルシェ & 農家を作ったうまいものフェスティバル」のような形での開催とどちらがいいか

<単独がいい～3事業所>

- ① ゆっくり話ができ、こちらの思いも分かってもらえそうな気がするから～2事業所
- ② いろいろなところが出てくると埋没してしまう。たくさんのお店が出店する商談会に一度参加したことがあるが、力がないのは分かっていたが、素通りされてしまった。

<コラボがいい～4事業所>

- ① 販売も兼ねてやるのであれば「チ・カ・ホ」のようなところがいい。ただお客さんと一緒の場合は説明が大変。
- ② 今までのやり方に手詰まりを感じる。魅力がないのかこのようなことは将来性がないのだろうか。どんな形でもいいから今までと違ったやり方に挑戦することも必要。
- ③ いろいろな業種のバイヤーに来てほしいのでコラボがいい。想像もしなかったところに需要があるかもしれないので～2事業所

エ. 成果

今回初めての試みだったが、個々の事業所の思惑があり少し戸惑いがあったようだ。バイヤーも当初の出店者紹介で「農福連携」の意義を理解してはくれているが、業態によって思惑も多様でもあり、そう簡単にはプロパーの商品として扱ってくれることはなかったが、根気強く続けてゆくことの必要性を感じた。また、販売の場合、数量の点で壁にぶつかっている事業所もあり、これから成長するためにはいかに安定的に販売量を

確保するかは越えなければならないところである。

「共同で作業場のようなものを作れないだろうか(トマトジュース・野菜ジュース)」  
「今は自己資金でコツコツやっているが、行政のほうの手立てとして助成金・補助金のような形でハード部分に力を貸してもらえればもっと新しい道が開けそうに思う」(同上)という意見もあった。支援農業者から、農作業ばかりではなく生産機材や生産物の加工などの情報もあり、農産物の循環活用支援の例として、選別の終わったくず野菜を養鶏用の餌として利用し、鶏糞をまた支援農家に戻しているなどの例について積極的な話もあり、他の参加事業所にとっても参考になったようだった。「商談会&販売会」を今後続けるならば、福祉事業所単独で実施するのか「ノウクマルシェ&農家を作ったうまいものフェスティバル」のようなコラボとするのかなど十分に検討しなければならない事項もあった。

## 5. 「農と福の連携！ノウクフェア in GIFTS PREMIUM」出品・出展募集への呼びかけ

農福連携全国都道府県ネットワークと岐阜県との共同企画で実施される「農と福の連携！ノウクフェア in GIFTS PREMIUM」への出店希望者の取りまとめを行った。

開催日 令和2年1月11日(土)～令和2年1月19日(日)

開催場所 GIFTS PREMIUM (ギフツ プレミアム) 内イベントスペース

(愛知県名古屋市東区東桜一丁目11番1号 オアシス21)

出展申込書 3事業所

## 6. まとめ

農福連携の目的は、障がい者の就労支援や工賃向上、農業における労働力の確保や農産物の加工食品の安定生産と付加価値向上などであり、農水省では平成30年に農福JAS認証制度を創設して、後押しや支援を行い、本年度、全国で4事業所が認定されている。

本事業では、そのための手段・方法のひとつとして、障がい者が生産や加工に携わった農産物や加工食品を福祉事業所、障がい者、農業生産者が自ら販売する場としての「マルシェ」を企画・開催して、消費者の農福連携への理解や認知度の向上、販売のノウハウの習得の機会を提供した。さらにその先の一般流通・小売りルートでの常設販売を見据えた商品力の向上や訴求力強化のため、流通・小売業界関係者と農福連携に取り組んでいる生産者や福祉事業所との商談会・即売会を実施した。

マルシェは、既述のとおり、札幌圏以外の十勝管内(帯広市)・留萌管内(留萌市)・胆振管内(室蘭市)で新規開催した。新規の開催の第1の目的は、集客を図り、農福連携の認知度を向上させることである。そのため、広告媒体の活用はマルシェ単独開催の

留萌に留め、十勝・胆振については、集客実績のある既存のイベントとの併催とした。十勝では、販路拡大や通常販売への発展につながる大手小売り店舗での開催を企画し、地元で生産し、独自販売している福祉事業所へ出店を呼びかけ、商品の加工や製造過程における品質管理に関する情報やノウハウも提供して、商品の販売力向上に資する取り組みを行った。さらに、これらの地域開催では、地元からの出店数に限りがあり、集客数確保の観点から、札幌圏の福祉事業所からの出品協力を得て、商品の販売力強化に資した。また、新規の開催では、各地で農福連携に取り組んでいる福祉事業者や農業生産者を十分把握出来ていなかったことから、留萌では、地元取り組み団体のサポート支援活動に実績のある NPO 法人に協力を仰ぎ、出店事業所や生産者への事業内容の理解促進と出店数を確保した。胆振では当初、昨年 of 東胆振地震地域の復興支援も開催の目的に加えたものの、当該地域での開催に至らなかったことから、西胆振（室蘭市）において、地元の小売業若手経営者が企画している一次産品の直接販売イベントに参画し、東胆振からの出品された商品は委託による販売とした。

各マルシェでの商品価格は、比較的安く設定されていると見られたが、通常販売では、販売に係る諸経費も考慮し、工賃の確保や継続可能な価格設定も必要と思われる。本年度、新たな取り組みであった商談会・即売会の開催は、農福連携に取り組む 10 事業所・生産者の出店と北海道の関係部局から紹介のあった札幌市内の流通・小売業から 4 社の担当バイヤーの参加・出席があった。内容や成果は既述のとおりであり、小売りルートによる通常販売に向けた課題などについて、助言・指導販売ルートの足がかりが得られた。

## II. 農福連携マッチング支援業務

### 1. 概要

農福連携の課題として、農業者側福祉事業所側の双方がお互いを正しく認識できていない現状がある。そこで、労働力不足が深刻な農業者・農業団体を対象とし、農福連携の第一歩を踏み出せるように、福祉事業所との関わり方として様々な方法があることを紹介しつつ、地域の福祉事業所とのマッチングを行った。

農業側の主なマッチング対象として、JA 選果場と新規就農者を選定した。

JA 選果場を対象とした理由としては、福祉事業所の施設外就労には受け入れ先となる事業所の施設整備が求められるが、JA 選果場は常態的に外部からの労働力を受入れており、働く人のための施設整備が比較的整っていると想定されることや、JA 選果場を舞台として農福連携を実践することでノウハウを蓄積することができれば、将来的に JA 選果場を利用する組合員の農業者に対しても農福連携の理解が進み、JA 選果場のみならず組合員の農場と直接的に農福連携が行われる切っ掛けとなることで、裾野広く地域への農福連携の理解を深める効果を期待したからである。

新規就農者を対象とした理由としては、新規就農者は農業機械などの設備投資を既存の農業者よりも行えていないケースが多く、施設園芸を中心とした手作業の多い作業体系となっていることが多いため、福祉事業所が得意とする分野で人手を求めたい状況もあり得ると考えたからである。

### 2. 実施内容

#### (1) 障がい福祉サービス事業所の施設外就労に関する調査

農福連携のマッチング支援を行う上で、福祉事業所の農業に対する意識状況を知る必要があることからアンケート調査を実施した。アンケートの作成においては、社会福祉法人北海道社会福祉協議会が平成 30 年度に実施した「農福連携に関する意識調査」の結果を踏まえ、農業への取組みに限らない、施設外就労全般に関する取り組み状況の把握が必要である、と思われたため、施設外就労に対する考えと、施設外就労できる作業内容を問う内容としている。

アンケート実施日：令和元年 10 月 25 日（金）

アンケート発送先： ナイスハートネット北海道に登録のある福祉事業所 957 件

アンケート内容：別添「就労支援事業所における施設外就労に関する意識調査報告書」参照

アンケート回答数：241 事業所（回収率 25.2%）

アンケート調査の結果、施設外就労を実施している事業所は 52.5%あり、今後の実施を検討している事業所を加えると 67.8%が施設外就労の実践に前向きであるとの回

答だった。しかしその一方で、「職員の人的資源不足」や「利用者の高齢化」、「利用者の重度化」により施設外就労を広げられない状況もあり、施設内で実施できる委託作業による農福連携についても推進していくこと必要と思われる。施設外就労の内容については「その他」の回答を除くと、「その他清掃作業」に次いで「農業」が多く、施設外就労を実践している事業所の 10.3%が取り組んでおり、農業が比較的一般的な作業メニューとなっていることが分かった。

表 2-1. 取り組んでいる「施設外就労」の種別

	作業内容	回答数	構成比
(1)	農家での就労	27	10.3%
(2)	J A等農業団体での就労	7	2.7%
(3)	食品製造工場での就労	11	4.2%
(4)	非食品製造工場での就労	6	2.3%
(5)	クリーニング企業での就労	4	1.5%
(6)	印刷企業での就労	0	0.0%
(7)	I T企業での就労	3	1.1%
(8)	行政機関・事務作業での就労	0	0.0%
(9)	行政機関・清掃作業での就労	19	7.3%
(10)	行政機関・草刈作業での就労	5	1.9%
(11)	介護施設・清掃作業での就労	18	6.9%
(12)	介護施設・草刈作業での就労	1	0.4%
(13)	マンション等・清掃作業での就労	15	5.7%
(14)	オフィスビル等・清掃作業での就労	11	4.2%
(15)	その他・事務作業での就労	1	0.4%
(16)	その他・清掃作業での就労	31	11.9%
(17)	個人宅・除雪作業での就労	6	2.3%
(18)	その他・除雪作業での就労	3	1.1%
(19)	給食等の調理場での就労	6	2.3%
(20)	飲食店・カフェでの就労	7	2.7%
(21)	小売店舗での就労	6	2.3%
(22)	物流倉庫での就労	9	3.4%
(23)	林業・造園での就労	2	0.8%
(24)	漁業での就労	0	0.0%
(25)	ポスティング・配達での就労	27	10.3%
(26)	その他	36	13.8%
	無回答	118	-
	計	379	100.0%

## (2) JA 選果場を対象としたマッチング支援

全道の JA に対し選果場の有無や農福連携の実施状況を問うアンケートを実施し、その中から農福連携の実施に対して関心を持つ JA をマッチング支援候補に選定した。次

に、マッチング支援候補とした JA の地域にある福祉事業所に呼びかけを行い、選果場の見学会や意見交換会を通じてマッチング支援を行った。

#### ア. アンケート調査

アンケート項目の作成においては、平成 30 年に全道の JA に対して組合員の農福連携の実施状況についてアンケートを実施した農業団体からアドバイスを頂くとともに、実際に JA の営農推進部局担当者にドラフト版のアンケート調査に協力いただく事で、調査項目と回答方法を決定した。また、アンケート回収率向上のため、8 月中旬から 9 月上旬にかけて、電話による協力依頼を実施した。

アンケート実施日：令和元年 7 月 29 日（月） 投函

アンケート発送先：道内 JA 108 農協の営農推進部局ご担当者様 宛

アンケート回答数：52 農協（回収率 49.5%）

アンケート結果詳細：別添『「農福連携」に関するアンケート調査結果』参照

アンケート調査の結果、「農福連携」という言葉が知られていないとの回答は 8% であり、農福連携自体の知名度は高くなっていると思われた。JA 選果場での労働力の不足感については、農作物の収穫時期とリンクして 6 月から 9 月に向けてピークがあり 11 月まで続いている。12 月以降の冬季から初春の時期においても不足感があると回答している JA が 5 か所程度あるが、取扱い品目は米穀や玉ねぎイモ類がほとんどであり、フォークリフト等の機械作業を伴う貯蔵性作物の出荷作業やイモ・玉ねぎの選果作業において労働力が不足しているのではないかと推察される。不足している人数については、過半数は 20 名以内となっているが、50 名、100 名規模で不足していると回答した JA もあり、労働力不足が大きな課題となっている一面が見られた。既に農福連携を実践している JA 選果場では、箱折とパッケージング作業を依頼しているところが多く、更なる農福連携の推進には組合職員の知識向上や福祉事業所の人員増員が必要との回答が多かった。条件が整えば農福連携の実施を検討していると回答した JA においては、選別・パッキング行程に課題を抱えており農福連携の実施を検討してるところが多く、農福連携の実施に対する課題としては、委託作業の設定や工賃の設定、組織内の体制、福祉事業所の繋がりが無いことなど幅広く課題を抱えており、その解決のためには、福祉事業所からのサポーターを求める回答が最も多かった。農福連携の実施を検討していないと回答した JA においては、その理由として従事できる作業が無いと回答が最も多かった。

#### イ. マッチング支援先の選定

今回のマッチング支援業務では、事業への協力に対し賛同を得られたことや、組合員

に就労継続支援 B 型事業所を運営する農業者があり、マッチング支援を行っていく際の課題解決に協力いただける体制が見込まれたことから、余市町農業協同組合をマッチング支援先に選定した。

(ア) 余市町農業協同組合の概要

地 区：余市町

組合員数：723 名

選果場取扱い品目：

野菜類	ミニトマト、大・中玉トマト※、ピーマン、ささげ、いちご
果物類	りんご、さくらんぼ、プルーン、梨、ぶどう

※大玉トマトについては令和 2 年度をもって取扱い終了予定

選果等施設：米倉庫、選果場、定温冷蔵庫、農産加工場

余市町農業協同組合の選果場では、野菜類と果物類の出荷調整が行われている。野菜類は概ね 5 月下旬から作業が始まり、果物類は 6 月下旬から作業が行われている。

主力製品のミニトマトについては、JA 選果場での選果と各生産者での個選が行われている。JA 選果場ではオートメーション化が進んでおり、包装資材となる段ボール箱の組立、選別工程は自動化されており、最終的な箱への詰め込みとその運搬のみが人手で行われている。大・中玉トマトはベルトコンベア上にて人力による選果が行われており、包装資材となる段ボール箱の箱折についても人の手によって行われているが、大玉トマトについては今年度をもって取り扱いを終了し、ベルトコンベア等の選果装置は撤去する予定となっている。ピーマン、ささげについては、パック詰めの機械が設備されており、パック詰め後の行程ならびに段ボールの箱折作業については人手により行われている。いちごは、各生産者の農場にて個別選果が行われたものが選果場に運び込まれ、最終的な出荷作業を JA 選果場にて行っている。果物類については、りんごのオートメーション化が進んでおり、選果・段ボールの箱折も機械にて行われている。梨、さくらんぼ、プルーン、ぶどうについては、各生産者の農場にて個別選果が行われたものが JA 選果場に運び込まれ、最終的な出荷作業を行っている。この他、余市町農業協同組合では、りんごやミニトマトの規格外品を原料としたジュース加工も行っており、特にミニトマトについては、蒂を手作業で取る作業が発生している。

作業の人員については、一部を派遣事業者を利用し確保している状況にある。

表 2-2. 余市町農業協同組合選果場での選果品目と作業行程

	選別	パック詰め	箱折	箱詰め	運搬
ミニトマト	機械化、個選	—	機械化	習熟作業	手作業
中・大玉トマト	機械化	—	手作業	習熟作業	手作業
ピーマン、ささげ	機械化	機械化	手作業	手作業	手作業
いちご	個選	—	個別	個別	手作業
りんご	機械化、個選	—	機械化	習熟作業	
梨、さくらんぼ、プルーン、ぶどう	個選	—	個別	個別	手作業

#### ウ. マッチング支援の実施

##### (ア) 福祉事業所への呼びかけ

余市町農業協同組合での農福連携をマッチングするため、余市町を管轄している北後志地域自立支援協議会就労支援部会に対し当事業の説明を実施した。当就労支援部会には、福祉事業所職員の他、養護学校教員、役場の福祉担当職員が参加している。福祉側でも職種や作業種類の拡大を希望していることから、当事業について協力いただき、北後志地域自立支援協議会事務局から各会員の福祉事業所等に対し、余市町農業協同組合選果場での施設見学会の周知と参加の取りまとめを行っていただいた。

##### (イ) 選果場見学会の開催

日 時：令和元年9月4日（水）9：00～10：30

会 場：余市町農業協同組合選果場（余市郡余市町黒川町18丁目）

参加者：21名

参加者概要：就労継続支援B型事業所、手話会、ろうあ会、障がい者就業・生活相談支援事業所、就労移行支援事業所、養護学校、総合支援センター





写 2-1. 選果場全体の説明



写 2-2. 大・中玉トマト選果ライン



写 2-3. 袋詰めされたピーマンの箱詰め



写 2-4. ピーマン箱の封函作業



写 2-5. 箱詰めされたミニトマトの運搬



写 2-6. ミニトマトの蒂取り

見学会を終えての質問事項については一度持ち帰り、再度、北後志地域自立支援協議会就労支援部会においてまとめを行った。

## 質問事項・意見

### ①施設について

- ・特に問題はない
- ・足の悪いパートもおられたが現場で環境を対応されていた
- ・危険個所について大きく掲示をしてもらえると良い

### ②仕事内容について

- ・仕事内容的にできそう。ハードルが高い作業ではない（箱折、蒂取り）
- ・ミニトマトの選果行程は難しいだろう（箱詰め）
- ・箱に入ったりんごの運搬は体力がある利用者に限られるだろう
- ・音に敏感な利用者は難しい
- ・手話が使えるとありがたい

### ③作業時間・期間

- ・一日あたり 4 時間程度でも大丈夫か？
- ・90 分作業をして 10 分程度の小休憩を挟むような作業体系は可能か？
- ・年間作業のスケジュール感を知りたい。いつ頃からスタートし、受入可能人数の推移。
- ・一日のノルマ（数値目標）を作るやり方になるのかどうか

### ④工賃について

- ・一律での支払いとするのか、能力差をつけての支払いとするのか
- ・給与体系の設定について

### ⑤農福連携の運営体制

- ・個々の事業者が施設外就労への参加を希望して、個々での対応とするのか、北後志自立支援協議会が窓口となるのか？
- ・一つの理想形として、その日作業に入れる人の情報を共有・マッチングし、協議会の参加メンバーがジョブコーチ的な役割を当番制で支援できないか
- ・JA 側の方にも利用者の作業を見学していただきたい
- ・利用者に自信を付けさせるために、作業者は固定した方がいいのではないか？
- ・利用者の障がい特性の幅が広いので JA 側で受入の基準を決めてもらった方がいい
- ・支援事業所での既存作業に加えて作業を行うことで気分転換にもなり、新しい世界が広がることで能力の向上にもつながり意義がある

### ⑤その他

- ・余市町のブランドに関われる仕事でモチベーションを高くもてる

- ・JA と連携できることは感激
- ・将来的に JA が障がい者を組合員に仲介することができるようになると良い

#### (ウ) 福祉事業所見学会の開催

余市町農業協同組合の職員に福祉事業所における作業の実際を理解していただくと共に、次年度からの農福連携の実践のために必要な具体的な内容を協議することを目的として、農協職員 3 名が参加し福祉事業所の見学会を開催した。

日 時：令和元年 12 月 16 日（月）10：00～12：30

会 場：特定非営利活動法人余市はまなす（余市郡余市町富沢町 11-32-2）  
コミュニティ茶屋（余市郡余市町入舟町 462-2）



写 2-7. 福祉施設外観



写 2-8. 施設利用者の作業の様子

見学会では各事業所の取組みについて説明を受け、利用者の作業の様子を見学した。施設利用者の勤務体制や福祉事業所の利用までの手続きについて確認した他、委託作業として予定している箱折については単価や作業能力についても確認してもらえる機会となった。今回の見学会参加により農福連携の実践方法について農協側としても想定がし易くなった部分もあり、改めて組織内での対応を整理した上で令和 2 年 2 月 16 日に予定している北後志地域自立支援協議会就労支援部会において余市農業協同組合の担当者も出席して農福連携の実現に向けた協議を進めることになった。

#### エ. 課題と今後の展開

JA 選果場を対象としたマッチング支援では、余市町農業協同組合を農業側の対象とし、福祉側は北後志地域自立支援協議会就労支援部会の協力を得ながら事業を進めることができた。今年度事業では、お互いの事業所を見学し、作業委託できる項目や作業時間など農福連携実践に向けた基本的な事項を確認することができた。次のステップとし

では作業体験が想定されるが、北後志地域自立支援協議会就労支援部会と情報を共有しながら事業を進めていく事で、地元の組織が主体的に運営する形での農福連携が実践できると期待される。

### (3) 新規就農者を対象としたマッチング支援

新規就農者を対象としたマッチング支援では、農福連携を知ってもらうためのセミナーを開催し、その出席者の中から、農福連携の実施に興味を持つ農業生産者をフォローして、地元の福祉事業者と繋ぐことで、農福連携の実施に向けての支援を行うこととした。

#### ア. セミナーの開催

農業者のための農福連携セミナー

日 時：令和元年7月9日（火）18：10～20：00

会 場：だて歴史の杜カルチャーセンター集会室 （伊達市松ヶ枝町 34 番 1）

参加者：16 名

内容：

##### ①概要説明「農福連携とは？」

北海道社会福祉協議会マッチング事業コーディネーター 大泉 浩一 氏

##### ②報告「農福連携実践者報告」合同会社竹内農園 代表 竹内 巧 氏

##### ③意見交換・名刺交換会



図 2-1. セミナー案内パンフレット



写 2-9. セミナー会場の様子

セミナー参加者の中に将来的な農福連携に興味を持つ豊浦町の農業生産者と既に農福連携を実践しており更なる事業の拡大を検討している伊達市の農業生産者があった。この内の豊浦町の農業生産者について、新たな農福連携実現のためのマッチング支援として、豊浦町役場を含めた勉強会を実施し、伊達市の農業生産者に対しては、個別のヒアリングを進めていく事とした。

#### イ. 豊浦町における農福連携マッチング支援

豊浦町役場の福祉ならびに農業担当者から豊浦町における福祉事業の状況についてヒアリングを行うとともに、当事業の説明を実施した。豊浦町の福祉、農業両担当者も農福連携の実施について担当間での意見を交わしていた状況にあったこともあり、今回の事業を福祉事業者と農業者が顔合わせをする機会として、役場の方から町内の福祉事業者ならびに農業者に対して勉強会の周知と参加の取りまとめを行っていただいた。

#### ア) 豊浦町の概要

人 口：4,291人 (H30. 国勢調査)

主産業：農業（いちご、養豚他）および水産業（ホタテ、カレイ他）

障がい福祉サービス：

事業項目	事業所数
生活介護	2
就労継続支援 B 型	1
共同生活援助	2
施設入所支援	2
計画相談支援	2
障がい児相談支援	2

障がい区分利用者数：(R 元年 9 月)

身体	知的	精神	障がい児	難病等
9	28	8	0	0

#### イ) 第 1 回豊浦町農福連携等障がい者就労支援勉強会（農福連携談話会）

日 時：令和元年 9 月 26 日（木）17：00～20：30

会 場：豊浦町役場 会議室（虻田郡豊浦町字船見町 10）

参加者：17 名

参加者概要：社会福祉法人、放課後デイサービス、新規就農者、農業研修生、豊浦町社会福祉協議会

内容：

①「豊浦町における福祉事業の状況」

豊浦町総合保健福祉施設 保健福祉係 武田 氏

②「農福連携事業について」

北海道社会福祉協議会マッチング事業コーディネーター 大泉 浩一 氏

③「農福連携実践者報告」

社会福祉法人タラプ i・b o x 職業指導員 郡司 佳明 氏

④質疑応答

質疑応答での議論概要：

- ・町内に就労継続支援 B 型事業所が 1 か所しかなく、基本的には施設入所者の就労支援しか受け入れることができていない。新たな職員獲得が昨今の社会情勢から困難な状況にあり、早急に事業を拡大できる目途は立っていない。
- ・障がいを抱える子供を持つ親達が、子供が中学生の頃から将来的な自立を考え、相談もしてきたが、大きな変化がないまま、子供たちが 20 歳を超える年齢になってしまった。移動手段の課題もあり、地元の農家と連携できるとなると期待が大きい。
- ・町外の福祉事業所が町内の農業者と連携して施設外就労を実施することを検討してもらいたい
- ・役場を窓口として農業者と繋いでくれる役割を求めたい
- ・実践者報告の工賃の体系について詳しく知りたい



写 2-10. 勉強会の様子

ウ. 課題と今後の展開

現在、豊浦町には就労継続支援 B 型事業所は 1 か所しかなく、また人材対応の面から、早急に事業を拡大して新たに地元農業者との農福連携を実施することは困難な状況

にある。しかし、今回のマッチング支援により、福祉事業者と障がいを抱える子供を擁する保護者、農業者が初めて顔合わせをすることができた。今回の事業を通じて地域の問題点を共有することができ、福祉事業所・保護者にとっては地元農業が働ける場であることが、農業者にとっては地元の障がい者が労働力の一助となることが認識できた意義は大きい。地元の障がい者と農業者との繋がりについては、今後も継続的に勉強会の開催や農場見学会を開催していくことが確認され、継続的にお互いの認識を高めていくことが期待できる。今後は、地元の就労継続支援 B 型事業所が人材の目途が付き事業拡大で来た際、もしくは、近隣の福祉事業所が豊浦町に分場を開設し、施設外就労事業を実施できる環境が整えば、速やかに農福連携が実施できるものと考えられる。

### 3. まとめ

今回の事業で実施した農福連携マッチング支援では、農業側のターゲットとして JA 選果場と新規就農者を選び事業を進めてきた。北海道内の JA を対象としたアンケート調査では、農福連携は実践していないものの検討はしている組合が多く有り、選果集出荷施設での人手不足感もあって今後農福連携を進めていく余地は十分にあると思われる。

今回のマッチング支援では、地域の自立支援協議会や町の福祉担当者の協力を得られたことが事業を進めていくにあたっての大きな力となった。余市の事例では、自立支援協議会が福祉事業所の実質的な窓口になっていただいたことで、地域の広範囲に渡って事業の考え方を周知でき、今年度中での農福連携の実践までは至らなかったものの地域の組織が中心となった農福連携実現のための道筋を見通せることができた。豊浦の事例では、町の福祉、農業双方の担当者からの協力を得られたことで町の課題として農福連携を捉えていただく事ができ、障がい者に関係の深い町民の方が待望としていた町の福祉を一步進めるための会合を持つことができた。地方自治体では業務を兼務した少ない職員で日常業務をこなしているため新しい取り組みを実践できないことがあり、今回の様に外部の第 3 者として行政サービスに対するフォローできた意義は大きかった。

マッチング支援を通じて、福祉側と農業側の双方が実際に現場で顔合わせをして意見交換をすることが重要であるということが改めて認識できた。今回、実際に見るのは初めてという JA 職員に福祉事業所での作業を見学していただいたが、巧に作業している姿に感心していた様子であり、彼らの力を現場の作業にどう落とし込めるのかを想像をすることができたのではないと思われる。また、福祉側と農業側が情報交換できる体制を持てるということは地域の活力創造の点でも意義があると思われる。家庭菜園で野菜を育てたことがあっても産業としての農業と関わりを持っている非農業者は想像以上に少ないと思われ、農業を実践している福祉事業所においては、高度な農業技術というよりむしろ適正防除や追肥の種類など JA が組合員に慣行的に行っている営農指導レ

ベルの情報で農作物の収量を安定的に増やせるということもあり、今回の事業を通じて福祉側と農業側の情報交換が日常的なものになっていけば、福祉事業も農業も地域に根差した産業であることから、相互に発展することで地域の力を向上させる有意義な手段となりえるのではないかとと思われる。また、一次産業が主産業となっている地方においては、JA が取り扱う農産品はその地域を代表するブランドとなっていることも多く、JA との農福連携が福祉事業所利用者のモチベーションとなり得るという視点は新たな発見であった。後日行った成果報告会でも JA との連携を模索する福祉事業所があり、農福連携の推進においては JA の取り組みをいかにフォローできるかが一つの観点となるのではないかと考えられる。



### Ⅲ. 成果報告会

#### 1. 概要

農福連携促進事業委託業務において実施した農福連携マルシェの開催業務ならびに農福連携マッチング支援業務について、その実施内容と成果を発表する成果報告会を開催した。

#### 2. 実施内容

「農福連携促進事業委託業務」成果報告会

日 時：令和元年11月29日（金）13時30分～15時30分

会 場：かでの2. 7 1050会議室（札幌市中央区北2条西7丁目1番地）

参加者：21名

参集範囲：農福連携マルシェ参加事業所、農福連携マッチング支援事業に関係した福祉事業所・農業者・JA、農業団体、行政機関

内 容：

報告

「農福連携促進事業委託業務」の概要

「農福連携マルシェ実施報告」

「農福連携マッチング支援実施報告」

一般財団法人北海道農業企業化研究所 本西 誠亮

情報提供

「農福連携 道南モデルの取組について」

北海道農政部農業経営課 主任 田中 将之



写 3-1. 成果報告会の様子



# 別 添 資 料

2019 年度 農福連携促進事業

就労支援事業所における施設外就労に関する意識調査報告書

## 目次

目次	2
1. はじめに	3
1) 調査の概要	3
2. アンケート調査結果	4
1) 回答者全体に関する状況	4
2) 「施設外就労・実施グループ（124件）」の回答内容	5
3) 「施設外就労・実施検討中グループ（36件）」の回答内容	16
4) 「施設外就労・検討しないグループ（76件）」の回答内容	23
5) クロス集計分析	30
3. まとめ	34
1) 各調査グループの回答概要	34
2) 本調査から考察する現状	37

# 1. はじめに

## 1) 調査の概要

### ①調査内容 :

本調査は、「農福連携促進事業」において推進する農業者・農業団体と就労支援事業所のマッチング支援業務を円滑に遂行するために、道内の就労支援事業が取り組む「施設外就労」の現状を把握し、今後の事業展開における基礎資料となるよう調査・分析を実施するものである。内容としては、昨年度、北海道障がい者就労支援センターが実施した「北海道における農福連携調査」にて明らかとなった福祉側の状況を更に広い視野から考察するために、「農業に限らない施設外就労の経験」や「今後の施設外就労への取り組み姿勢」などを調査することとしており、今後の事業推進において重要となる福祉側の環境面について考察している。

### ②調査対象 :

#### ●北海道内の就労支援事業所

\*ナイスハートネット北海道登録事業者 957件

### ③調査方法 : インターネットシステムによる調査

#### ●配布方法 : メール連絡

#### ●回収方法 : メール及びFAX回収

### ⑤実施時期 : 配布 2019年10月25日 回収 2019年11月15日迄

### ⑤総配布数 : 957件

### ⑥総回収数 : 241件 (回収率: 25.2%)

### ⑦配布状況と回収状況

配布数と回収数

名称	配布数	回収数	回収率
就労支援事業者	957	241	25.2%
合計	957	241	25.2%

回答事業所の所在地

地区名称	件数
札幌市	71
空知地区	36
上川地区	31
渡島地区	19
石狩地区	17
胆振地区	15
十勝地区	14
後志地区	10
釧路地区	9
林-夕地区	5
日高地区	3
根室地区	3
宗谷地区	3
留萌地区	2
檜山地区	1
合計	239

## 2. アンケート調査結果

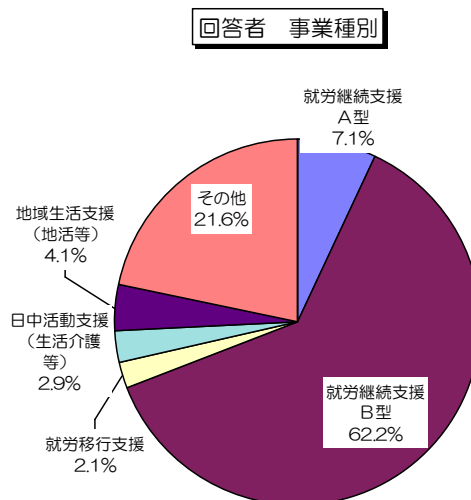
### 1) 回答者全体に関する状況

#### ①事業種別

選択項目	人数	構成比
就労継続支援A型	17	7.1%
就労継続支援B型	150	62.2%
就労移行支援	5	2.1%
日中活動支援（生活介護等）	7	2.9%
地域生活支援（地活等）	10	4.1%
その他	52	21.6%
無回答	0	0.0%
合計	241	100.0%

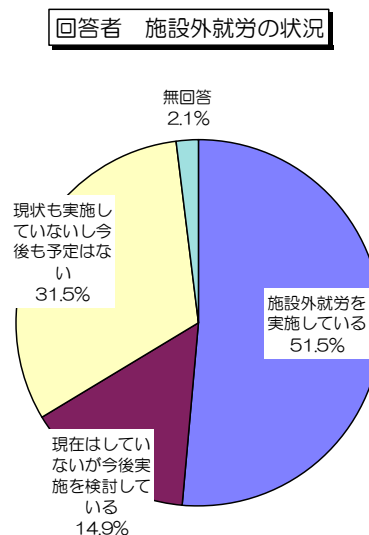
<その他の記述回答>

記述回答	件数
多機能型（A型、B型）	3
多機能型（A型、B型、生活介護）	1
多機能型（A型、生活介護、施設入所）	1
多機能型（B型、生活介護）	21
多機能型（B型、生活介護、地域活動）	1
多機能型（就労移行、A型、B型）	1
多機能型（就労移行、A型、B型、定着支援）	1
多機能型（就労移行、B型）	16
多機能型（就労移行、B型、自立訓練）	2
多機能型（就労移行、B型、生活介護）	1
多機能型（就労移行、B型、生活支援）	2
詳細不明	2



#### ②施設外就労の取組み状況

選択項目	人数	構成比
施設外就労を実施している	124	51.5%
現在はしていないが今後実施を検討している	36	14.9%
現状も実施していないし今後も予定はない	76	31.5%
無回答	5	2.1%
合計	241	100.0%



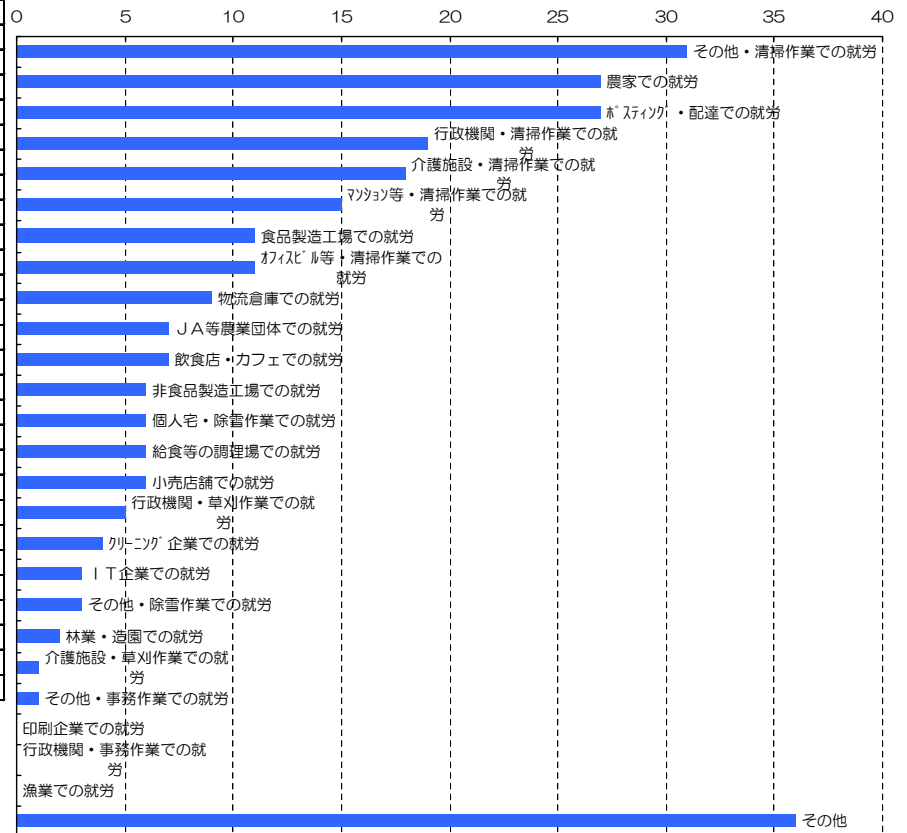
- 回答者全体における事業種別では、【就労継続支援B型】が62.2%、【就労継続支援A型】が7.1%。【就労移行支援】が2.1%となっている。【その他】の21.6%は上記の通り、多機能型である。
- 施設外就労の取組み状況では、【・・・実施している】が51.5%で半数以上、【・・・実施を検討】が14.9%、【・・・今後も予定はない】が31.5%という状況である。

## 2) 「施設外就労・実施グループ (124 件)」の回答内容

### ①現在、取組んでいる仕事 (複数回答)

選択項目	人数	構成比
その他・清掃作業での就労	31	25.2%
農家での就労	27	22.0%
ホスティング・配達での就労	27	22.0%
行政機関・清掃作業での就労	19	15.4%
介護施設・清掃作業での就労	18	14.6%
マンション等・清掃作業での就労	15	12.2%
食品製造工場での就労	11	8.9%
カビビル等・清掃作業での就労	11	8.9%
物流倉庫での就労	9	7.3%
JA等農業団体での就労	7	5.7%
飲食店・カフェでの就労	7	5.7%
非食品製造工場での就労	6	4.9%
個人宅・除雪作業での就労	6	4.9%
給食等の調理場での就労	6	4.9%
小売店舗での就労	6	4.9%
行政機関・草刈作業での就労	5	4.1%
クリーニング企業での就労	4	3.3%
IT企業での就労	3	2.4%
その他・除雪作業での就労	3	2.4%
林業・造園での就労	2	1.6%
介護施設・草刈作業での就労	1	0.8%
その他・事務作業での就労	1	0.8%
印刷企業での就労	0	0.0%
行政機関・事務作業での就労	0	0.0%
漁業での就労	0	0.0%
その他	36	29.3%
無回答	1	-
合計 (無回答除く)	260	212.2%

実施グループ 取組んでいる仕事



●まず初めに、『実施グループ』の状況から確認すると、現在、取組んでいる仕事の内容では、【その他・清掃作業】が25.2%、【農家で就労】【ホスティング・配達】がそれぞれ22.2%で、上位となった。但し、全体を通して、最も多くなった作業種は清掃関連である。また、その他の記述回答では、宿泊施設の清掃やシーツ回収、解体作業、選別作業など様々な業務が挙げられている。

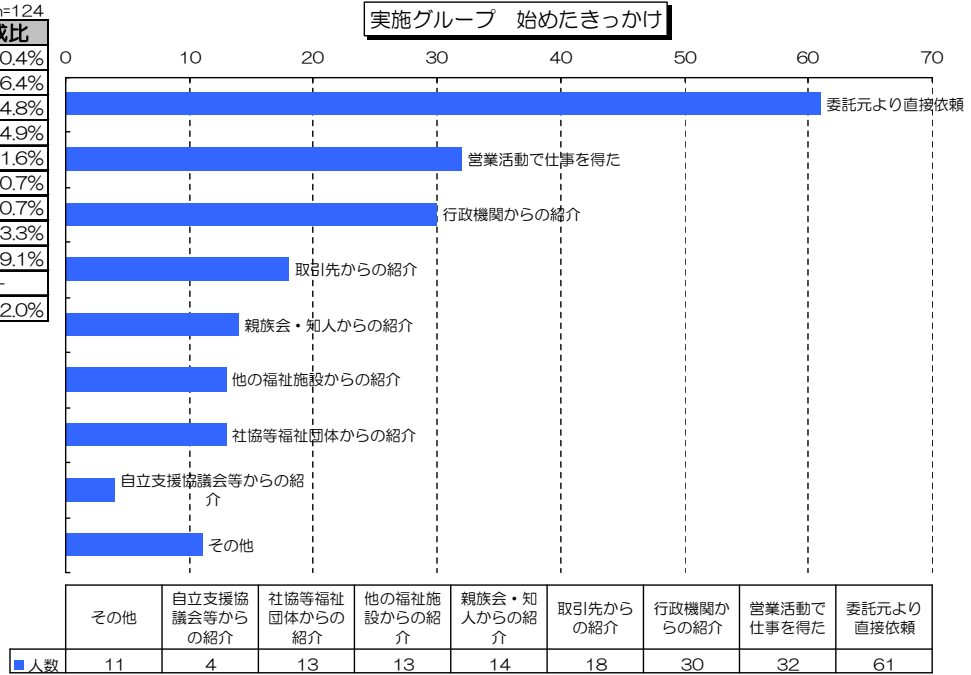
属性 (事業種別)	人数
その他	36
漁業	0
行政機関	0
印刷企業	0
その他	1
介護施設	1
林業・造園	2
その他	3
IT企業	3
クリーニング	4
行政機関	5
小売店	6
給食等	6
個人宅	6
非食品	6
飲食店	7
JA等	7
物流倉庫	9
カビビル	11
食品製造	11
マンション	15
介護施設	18
行政機関	19
ホスティング	27
農家	27
その他	31

記述回答	属性 (事業種別)
宿泊施設でのシーツ回収、卸売業ハッカーシグ他補助作業	(就労継続支援B型)
指定農地での松苗抜き作業	(その他)
小物雑貨等制作・販売会社工房での材料選別、清掃等の作業での就労	(就労継続支援B型)
行政機関委託の水道メーターの解体作業	(就労継続支援B型)
花壇の清掃と水やり	(就労継続支援B型)
個人宅の草刈作業	(就労継続支援B型)
企業での花の栽培・管理	(その他)
委託元の農作業・養鶏作業	(その他)
委託元の農作業	(就労継続支援B型)
弁当の委託販売	(就労継続支援B型)
贈答品卸問屋での就労、宿泊施設清掃業者での就労 (リネン管理)	(就労継続支援B型)
行政機関の紙選別	(就労継続支援B型)
資源ごみのリサイクル工場	(就労継続支援B型)
マンション、商業施設、個人宅の草刈り	(その他)
福祉施設の配食サービス	(その他)
・食品製造：稚草栽培企業・清掃：白老町請負事業 (白老総合福祉センター)	(就労継続支援B型)
精神科ケアプログラムの運営 (月2回)	(就労継続支援B型)
介護施設：洗濯作業 同法人他施設：清掃作業	(就労継続支援B型)
行政機関からの委託業務 資源回収に係る空き缶減容処理委託業務	(その他)
病院の洗濯での就労 製菓会社の箱折りでの就労	(その他)
分別作業 (リサイクル)	(就労継続支援B型)
月初め1日、一ヶ月に一回広報さっぽろ (260部前後) 配布	(就労継続支援B型)
老人施設内厨房：食器洗浄	(その他)
行政機関：リサイクル作業	(就労継続支援B型)
チョーク製造企業での就労 (製造、梱包、他)	(就労移行支援)
ハットショップでの就労	(その他)
資源回収	(地域生活支援 (地活等))
公園清掃、寝具交換	(就労継続支援B型)
廃タイヤリサイクル企業での就労	(その他)
リサイクル企業での就労	(就労継続支援B型)
公園管理 (清掃・草刈り)	(その他)
福祉施設の配食サービス	(その他)



## ②始めたきっかけ（複数回答）

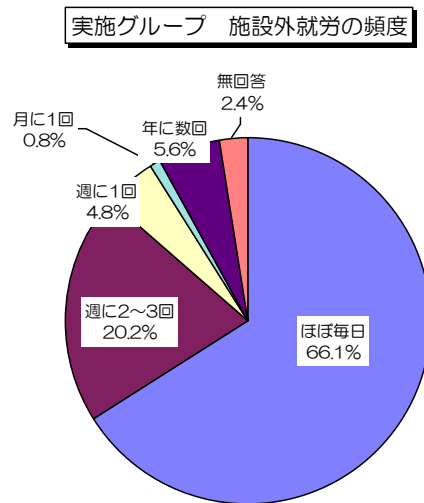
選択項目	人数	構成比
委託元より直接依頼	61	50.4%
営業活動で仕事を得た	32	26.4%
行政機関からの紹介	30	24.8%
取引先からの紹介	18	14.9%
親族会・知人からの紹介	14	11.6%
他の福祉施設からの紹介	13	10.7%
社協等福祉団体からの紹介	13	10.7%
自立支援協議会等からの紹介	4	3.3%
その他	11	9.1%
無回答	3	—
合計（無回答除く）	193	162.0%



記述回答	属性（事業種別）
元氣ジョブ様からの紹介	(就労継続支援B型)
市役所が発行した授産施設紹介の冊子	(その他)
元氣ジョブ様からの紹介	(就労継続支援B型)
元氣ジョブ様からの紹介	(就労継続支援A型)
施設内での活動では一般就労する力を伸ばせないと思い、より効果的な支援がしたいと考えたため。	(就労移行支援)
就業・生活支援センターからの紹介	(就労継続支援B型)
特定随意契約による入札	(その他)
様々な活動を通して得た繋がりから	(その他)

## ③施設外就労の頻度

選択項目	人数	構成比
ほぼ毎日	82	66.1%
週に2~3回	25	20.2%
週に1回	6	4.8%
月に1回	1	0.8%
年に数回	7	5.6%
無回答	3	2.4%
合計	124	100.0%

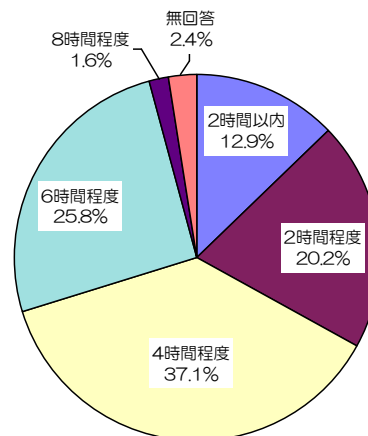


- 始めたきっかけでは、【委託元より直接依頼】が50.4%で最も高くなり、【営業活動で得た】が26.4%、【行政機関からの紹介】が24.8%が続いている。
- 施設外就労の頻度では、【ほぼ毎日】が66.1%と非常に高くなった。続く【週に2~3回】が20.2%、【年に1回】が5.6%、【週に1回】が4.8%という状況である。

#### ④施設外就労の作業時間

選択項目	人数	構成比
2時間以内	16	12.9%
2時間程度	25	20.2%
4時間程度	46	37.1%
6時間程度	32	25.8%
8時間程度	2	1.6%
無回答	3	2.4%
合計	124	100.0%

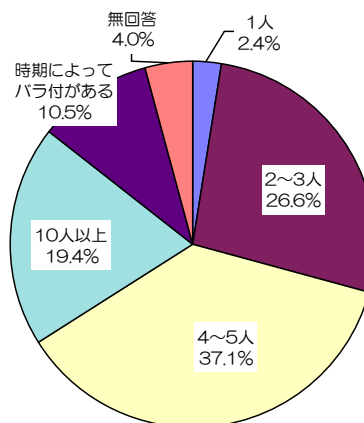
実施グループ 施設外就労の作業時間



#### ⑤施設外就労の人数規模

選択項目	人数	構成比
1人	3	2.4%
2~3人	33	26.6%
4~5人	46	37.1%
10人以上	24	19.4%
時期によってバラ付がある	13	10.5%
無回答	5	4.0%
合計	124	100.0%

実施グループ 施設外就労の人数規模



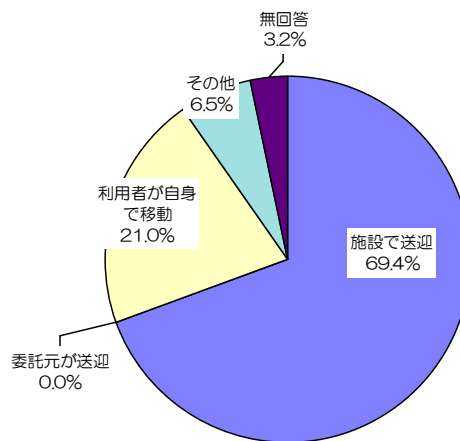
- 施設外就労の作業時間では、【4時間程度】が最も高く37.1%、【6時間程度】が25.8%、【2時間程度】が20.2%となっている。
- 施設外就労の人数規模では、【4~5人】が37.1%、【2~3人】が26.6%、【10人以上】も意外に高く19.4%となった。

## ⑥施設外就労の移動手段

選択項目	人数	構成比
施設で送迎	86	69.4%
委託元が送迎	0	0.0%
利用者が自身で移動	26	21.0%
その他	8	6.5%
無回答	4	3.2%
合計	124	100.0%

- 施設外就労の移動手段では、【施設で送迎】が約 7 割の 69.4%、【利用者が自身で移動】が 21.0%であった。その他の記述回答では、送迎と自身移動の併用などとなっている。

実施グループ 施設外就労の移動手段



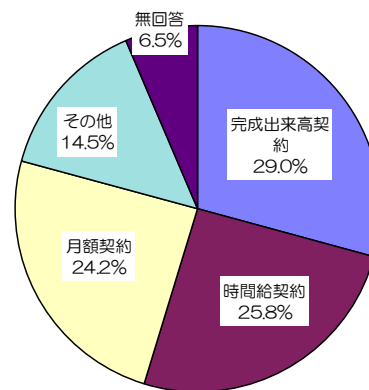
記述回答	属性（事業種別）
利用者自身、及び車椅子介助移動あり	(就労継続支援B型)
利用者自身での移動もある	(就労継続支援B型)
就労場所による	(就労継続支援A型)
事業所より指導員同行にて徒歩	(就労継続支援B型)
施設送迎と、利用者自身移動が両方ある	(就労継続支援B型)
行きは自身で徒歩、帰りは施設で送迎	(地域生活支援(地活等))
施設送迎と、利用者自身移動が両方ある	(就労継続支援B型)

## ⑦施設外就労の作業委託費算定方法

選択項目	人数	構成比
完成出来高契約	36	29.0%
時間給契約	32	25.8%
月額契約	30	24.2%
その他	18	14.5%
無回答	8	6.5%
合計	124	100.0%

- 施設外就労の作業委託費算定方法では、【完成出来高契約】が 29.0%、【時間給契約】が 25.8%、【月額契約】が 24.2%という状況。その他の記述回答では、日額、シーズン契約、年間契約などの回答も見られた。

実施グループ 施設外就労の作業委託費算定方法



記述回答	属性（事業種別）
清掃一回につき単価が決まっている	(就労継続支援B型)
完成出来高制、時間給契約の両方ある	(就労継続支援B型)
年契約	(就労継続支援A型)
日当	(地域生活支援(地活等))
完成出来高制、時間給契約の両方ある	(就労継続支援B型)
契約先、内容によって異なる	(その他)
シーズン契約	(就労継続支援B型)
年契約を12回に分けて支出	(その他)
日額契約	(その他)
年間契約もある	(その他)
完成出来高制、時間給契約の両方ある	(就労継続支援A型)
給食提供業務委託契約内に含む分別作業は時給	(就労継続支援B型)
1回5千円	(就労継続支援B型)
日額	(就労継続支援B型)
単価×数を割り振り、固定給になるよう努力	(地域生活支援(地活等))
時間給契約と、月額契約の両方がある	(就労継続支援B型)
1日単価	(就労継続支援B型)
日給	(その他)
ほぼ出来高+	(就労継続支援B型)
単価契約	(就労継続支援B型)

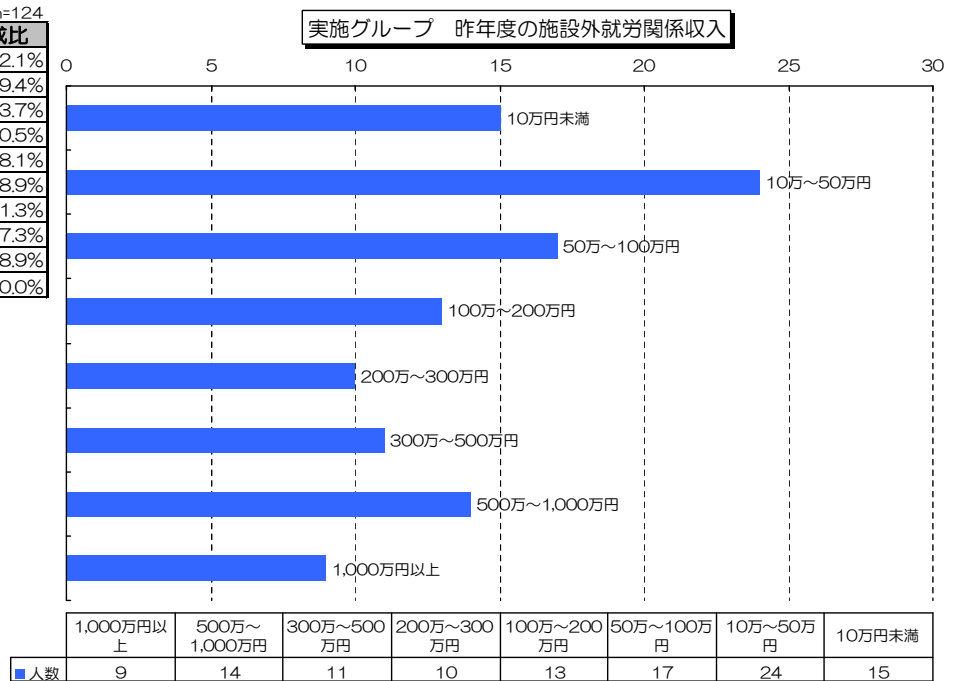
<最も頻度の高い作業の具体内容>

左記の通り、具体的な作業内容については、様々な内容を記述頂いている。

記述回答	属性(事業種別)
冬期間は除雪作業、他の時期は農家で畑作業	(就労継続支援B型)
宿泊施設でのシーツ回収作業	(就労継続支援B型)
清掃	(就労継続支援A型)
清掃	(就労継続支援B型)
共用部・廊下などの床清掃、窓ガラスの清掃、備品拭き等	(就労継続支援B型)
指定農地での松苗抜き作業	(その他)
小物材料の清掃	(就労継続支援B型)
高齢者グループホーム内の清掃作業	(就労継続支援B型)
窓ふき等の清掃作業	(就労継続支援B型)
札幌市立図書館のフロア清掃や環境整備	(就労継続支援B型)
・紙箱工場(箱折り・ギフト梱包) ・八百屋(販売・ピッキング・配達) ・食肉加工場作業(ラーメン用豚骨の裁断・ハムのネット詰め) ・製菓工場(チョコレート菓子製造) ・各社毎日稼働のため同頻度	(就労継続支援B型)
山野草の雑草取り	(その他)
恵庭市内のパークゴルフ場3ヶ所、トイレ、周辺の清掃委託。広範囲のため、移動に時間を要す	(就労継続支援B型)
清掃作業車用ブラシ作成	(就労継続支援A型)
箱折り、箱詰め、ラベル貼り、ひも切り等	(就労移行支援)
定期的には役場からのシェアハウスの清掃。不定期は個人宅の除草・除雪作業。	(就労継続支援B型)
マンションの巡回清掃管理作業	(就労継続支援A型)
・養鶏場にてニワトリ約500羽の飼育 ・委託元の白老事業所施設清掃業務及び敷地草刈り清掃等の管理業務 ・委託元の白老事業所の花卉育成業務	(その他)
・委託元の白老事業所施設清掃業務及び敷地草刈り清掃等の管理業務 ・委託元の白老事業所の花卉育成業務	(就労継続支援B型)
ホテル内清掃(水回り及びベッドメイク)	(その他)
清掃作業とクリーニング加工作業	(就労継続支援A型)
工場内作業	(就労継続支援B型)
・贈答品卸問屋:香典返し、ギフト製品の製造 ・宿泊施設製造業者:民泊等で使用するリネン備品(各種タオル・シーツ等)の折りたたみ・計数などの出荷準備	(就労継続支援B型)
アパートマンション共有スペースの清掃作業	(地域生活支援(地活等))
・菌床作業のしいたけ軸切り ・資源ごみの分別・機械圧縮作業補助	(就労継続支援B型)
新聞配達・チラシ配り	(就労継続支援B型)
清掃、衣類系・おしぼりたたみ、軽作業	(就労移行支援)
マンション・商業施設・個人宅など草刈りで、夏から秋にかけてほぼ毎日行っている。作業内容は、刈払い機を使用する方、刈った草を集める方など、利用者の能力に合わせて担当を決めている	(その他)
・厨房内での調理補助 ・テイクサービス浴室清掃	(その他)
ホスティング	(その他)
・公共施設の清掃 ・公共墓地清掃管理 ・草刈、除雪作業	(就労継続支援B型)
*上記作業時間、人数規模の回答については、2つの事業の平均時間と人員規模は合算したものにります。また、移動については、椎茸栽培は送迎、清掃事業は自身の通所となります。	(就労継続支援B型)
宿泊施設清掃	(就労継続支援A型)
・清掃:清掃業務は短時間なものが多いため、1日に数ヶ所の契約先をまわり行う(毎日)。 ・機械部品の洗浄:企業内で1工程を請負い行う(毎日)。 ・ワックス掛け・草刈り:都度実施。	(その他)
・共用スペース(会議室、食堂、廊下、トイレ、洗面所等)の清掃作業 ・介護施設の入所者の衣類、タオル類の洗濯作業	(就労継続支援B型)
インターネットによる通信販売に関する一連の業務 商品のデータ入力と、売れた商品のクリーニングと梱包	(就労継続支援A型)
レンタカーの洗車、車内清掃 レンタル業務に付随する雑務	(就労継続支援A型)
保育所の清掃	(就労継続支援B型)
広報さっぽろ、フリッパーのホスティング	(その他)
空き缶等の選別	(その他)
病院内の洗濯、清掃での就労	(その他)
商品の検品、梱包	(その他)
納屋内で、オクラ・トマト・ナスの選別、計量、ネット・袋・バック詰め	(その他)
お菓子の箱折り、他施設の施設内清掃	(その他)
社屋内清掃	(就労継続支援B型)
行政機関の清掃	(就労継続支援B型)
データ入力	(就労継続支援A型)
加工作業(ハタ切り)	(その他)
工場内でのライン作業を行っています。チータラのおつまみを作る食品工場です。材料の仕込みから、本数調整、袋詰め等を行っています。	(就労継続支援B型)
・工事中用コーンの清掃 ・工事中用バリケードのメンテナンス ・他工事用品の清掃・メンテナンス	(就労継続支援B型)
きのこ栽培	(就労継続支援B型)
野菜箱の組立て作業等	(その他)
商品の品出し	(就労継続支援B型)
車の洗車・拭き上げ・清掃作業	(就労継続支援B型)
店内清掃(棚・床)、駐車場こみ拾い、配送	(就労継続支援B型)
新聞社のホスティング 民泊清掃等	(就労継続支援A型)
ホテルから来る洗濯物の種類分け作業(シーツ、枕カバー、フェイスタオル等)	(就労継続支援B型)
食品製造工場での水産加工品製造	(その他)
チョコレート製造	(就労継続支援B型)
配膳、洗浄業務	(就労継続支援B型)
ヤマト運輸のDM配達	(就労継続支援B型)
集合住宅の玄関清掃、窓拭き、こみ拾い 休憩室・トイレ清掃	(就労継続支援B型)
・畑→玉ねぎ、トマトの収穫、にんにくの定植、ミツバの土落し ・工場→チースタラのライン	(その他)
老人施設内厨房:食器洗浄	(その他)
床、トイレ等の清掃	(就労継続支援B型)
チョコレート製造、梱包等	(就労移行支援)
クリーニング工場で、洗い終わったリネン類をたたみ、顧客別に梱包する業務	(その他)
ヤマト運輸DMの配達 冬は車使用のため、行きも帰りも送迎。配達は原則徒歩。	(地域生活支援(地活等))
果樹園での摘果作業(枝拾い、葉取りなど) *4月、6月、8月、9月に月10~18日の作業量	(就労継続支援B型)
区役所食堂での皿洗い。1日2ヶ所それぞれ一人つつ1時間。	(就労継続支援B型)
介護施設での清掃	(就労継続支援B型)
飲食店での清掃作業	(就労継続支援B型)
市のリサイクルプラザでの布選別作業	(就労継続支援B型)
農家の水耕栽培後のレーン・ハレットの清掃	(就労継続支援B型)
日常清掃(共用部)と物流倉庫でのピッキング作業	(就労継続支援A型)
廃タイヤの切断、運搬	(その他)
たたみ作業、ハンガーアップ(洗浄後の衣類をハンガーに掛けていく作業)	(その他)
・農業法人でのハウス作業(苗植、除草、片付け、袋詰め等) ・養鶏、食品加工会社での作業(集卵、選別、掃除等)	(就労継続支援B型)
清掃作業(トイレ、床、窓、等)	(その他)
選別されたミニトマトのバック詰め、及び、箱詰め	(就労継続支援B型)
利用者の適正により作業内容を選択している	(就労継続支援B型)
売上伝票の入力	(就労継続支援B型)
サービス付き高齢者住宅での食事提供	(その他)
・厨房内での調理補助 ・テイクサービス浴室清掃	(その他)

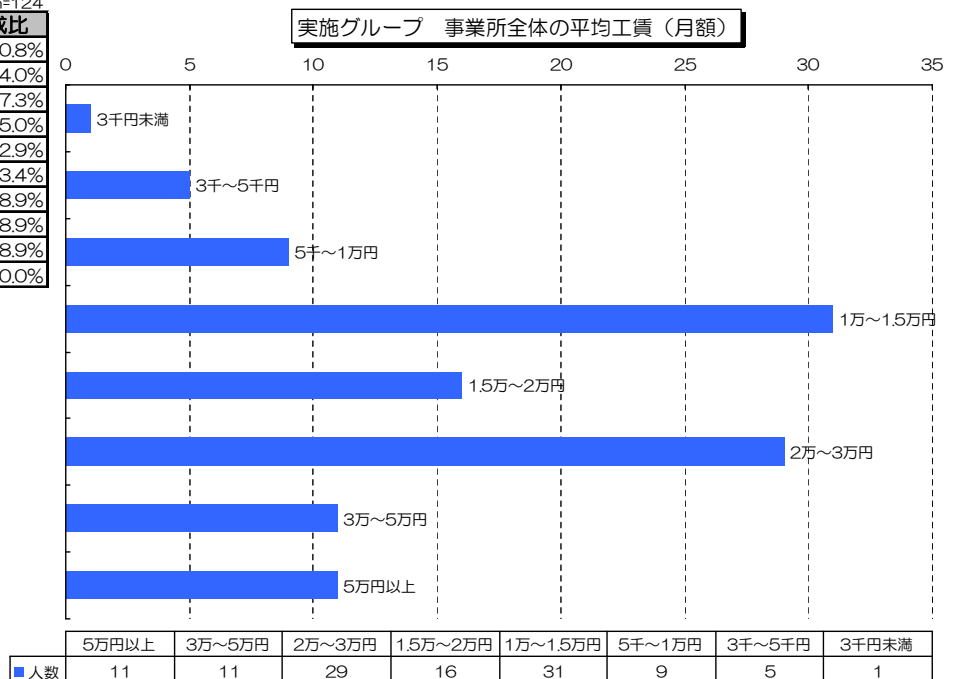
### ⑧昨年度の施設外就労関係収入

選択項目	人数	構成比
10万円未満	15	12.1%
10万～50万円	24	19.4%
50万～100万円	17	13.7%
100万～200万円	13	10.5%
200万～300万円	10	8.1%
300万～500万円	11	8.9%
500万～1,000万円	14	11.3%
1,000万円以上	9	7.3%
無回答	11	8.9%
合計	124	100.0%



### ⑨昨年度の事業所全体の平均工賃（月額）

選択項目	人数	構成比
3千円未満	1	0.8%
3千～5千円	5	4.0%
5千～1万円	9	7.3%
1万～1.5万円	31	25.0%
1.5万～2万円	16	12.9%
2万～3万円	29	23.4%
3万～5万円	11	8.9%
5万円以上	11	8.9%
無回答	11	8.9%
合計	124	100.0%

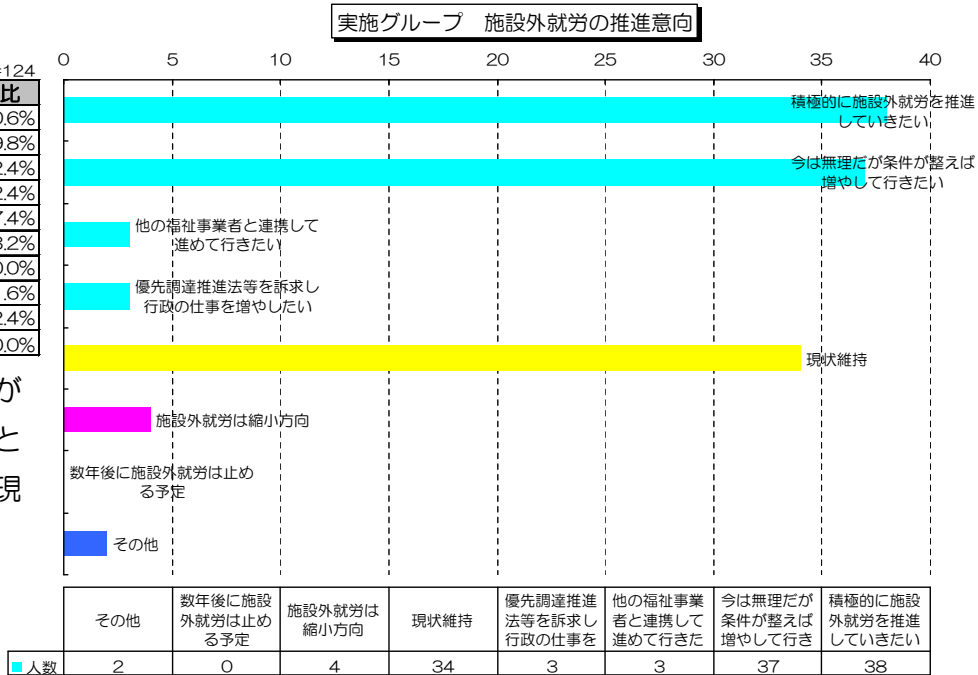


- 昨年度の施設外就労関係収入では、【10万～50万円】が19.4%で最も高く、続く【50万～100万円】が13.7%、【10万円未満】が12.1%、【500万～1,000万円】が11.3%となっている。
- 事業所全体の平均工賃（月額）では、【1万～1.5万円】が25.0%、【2万～3万円】が23.4%とそれぞれ1/4を占め、【1.5万～2万円】の12.9%が続いている。

### ⑩施設外就労の推進意向

選択項目	人数	構成比
積極的に施設外就労を推進していきたい	38	30.6%
今は無理だが条件が整えば増やして行きたい	37	29.8%
他の福祉事業者と連携して進めて行きたい	3	2.4%
優先調達推進法等を訴求し行政の仕事を増やしたい	3	2.4%
現状維持	34	27.4%
施設外就労は縮小方向	4	3.2%
数年後に施設外就労は止める予定	0	0.0%
その他	2	1.6%
無回答	3	2.4%
<b>合計</b>	<b>124</b>	<b>100.0%</b>

● 推進意向では、【積極的に推進】が30.6%、【条件が整えば】が29.8%、と推進派が6割を占めている。一方、【現状維持】も27.4%と高くなった。

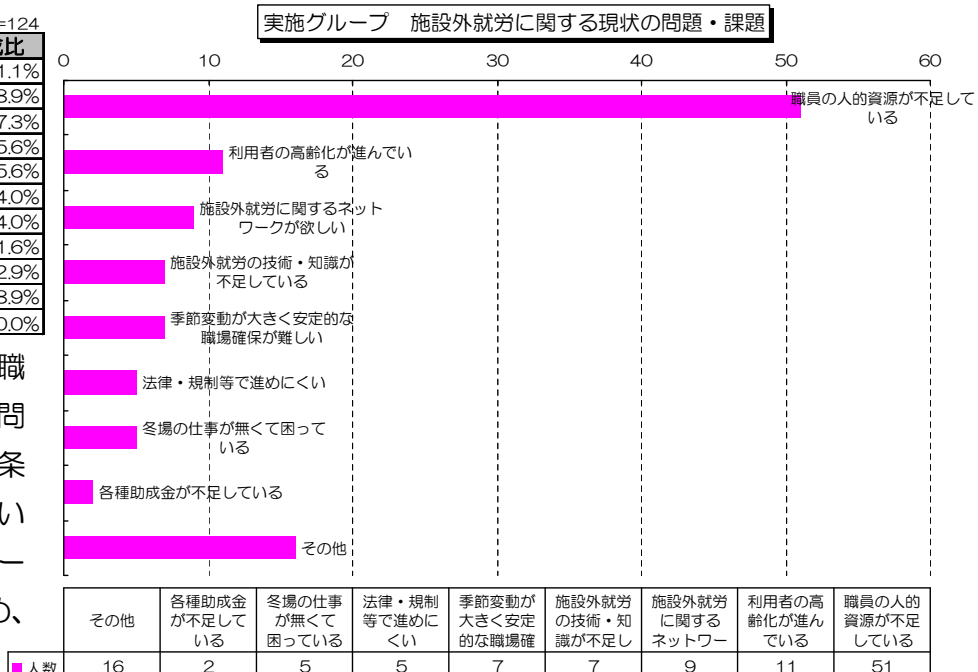


記述回答	属性(事業種別)
仕事の内容にもよるが、出来れば少しずつ増やして行きたい	(就労継続支援A型)
障がい者雇用されている先輩社員の一般就労している姿勢を感じ取れる環境が良いと考えている。	(就労移行支援)
今後も継続していきたい。	

### ⑪施設外就労に関する現状の問題・課題

選択項目	人数	構成比
職員の人的資源が不足している	51	41.1%
利用者の高齢化が進んでいる	11	8.9%
施設外就労に関するネットワークが欲しい	9	7.3%
施設外就労の技術・知識が不足している	7	5.6%
季節変動が大きく安定的な職場確保が難しい	7	5.6%
法律・規制等で進めにくい	5	4.0%
冬場の仕事がなくて困っている	5	4.0%
各種助成金が不足している	2	1.6%
その他	16	12.9%
無回答	11	8.9%
<b>合計</b>	<b>124</b>	<b>100.0%</b>

● 次に施設外就労の問題・課題では、【職員の人的不足】が41.1%で最も大きな問題となっていることが分った。前項の【条件が整えば】には人材要素が含まれていることが推察できる。また、【ネットワークが欲しい】も一定数存在しているため、横の繋がりが求められているようだ。

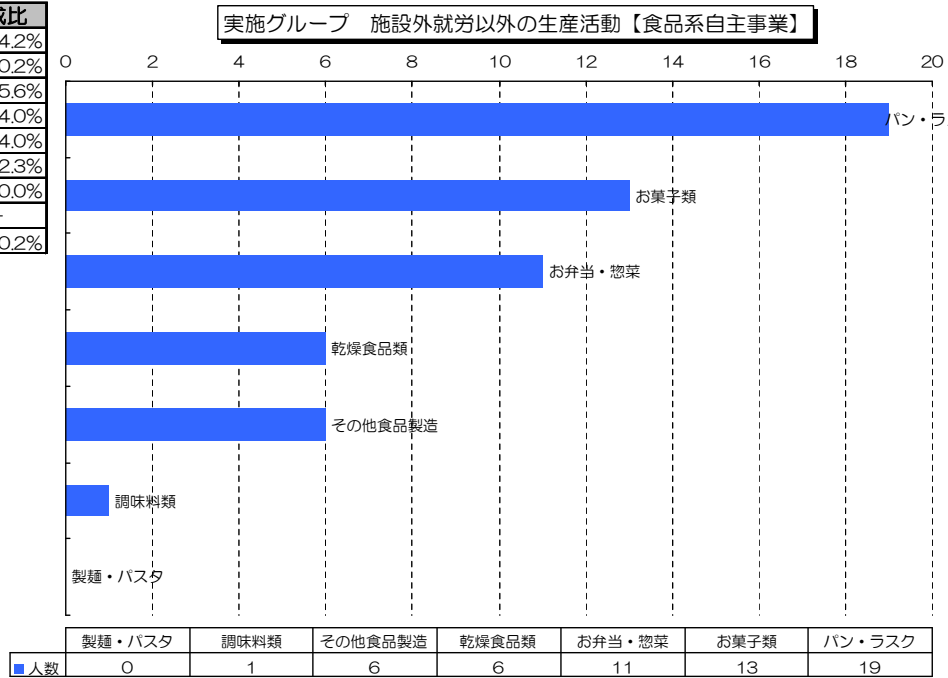


記述回答	属性(事業種別)
株式会社で申請できる助成がない、NPOや社福でないのが理由で断られる	(就労継続支援B型)
最低賃金上昇による現場の確保と人員配置	(就労継続支援A型)
利用者の重度化	(その他)
問題は特にない	(就労継続支援B型)
新規施設外就労の受注	(就労継続支援A型)
意思の疎通、信頼関係の構築が難しい	(就労移行支援)
利用者の人数が不足している	(就労継続支援A型)
A型事業所の経営が大変である。特に労基との調整。	(就労継続支援A型)
利用者の重度化が進んでいる	(就労継続支援B型)
通年できる内職(軽作業やPC作業など)で納期に余裕のあるものがあれば連絡が欲しい	(就労継続支援B型)
同行する職員の人件費に対して加算報酬が見合わない	(就労移行支援)
条件の整った近郊の受け入れ先が少ない	(その他)
企業と利用者の能力が合わない	(その他)
夏は暑く、冬は寒い環境であり、厳しく感じる時もある。	(就労継続支援B型)
新規施設外就労の受注	(就労継続支援B型)
利用者の施設外就労への意欲に欠ける	(就労継続支援B型)
またる事業の作業ボリュームに影響が出ない範囲で実施している	(就労継続支援B型)

⑫施設外就労以外の生産活動の状況（複数回答）

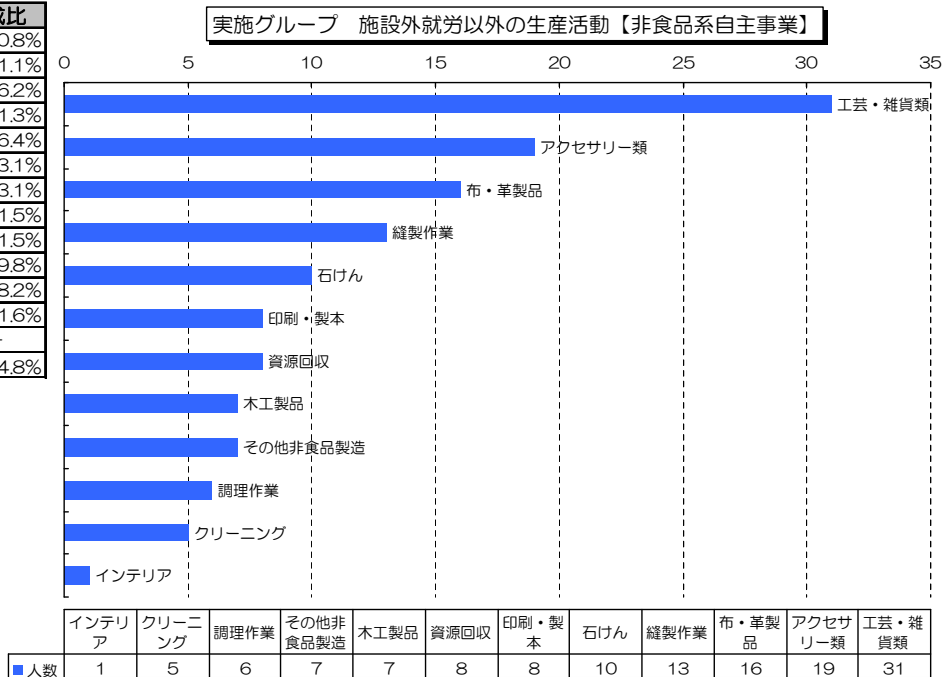
a【食品系自主事業】

選択項目	人数	構成比
パン・ラスク	19	44.2%
お菓子類	13	30.2%
お弁当・惣菜	11	25.6%
乾燥食品類	6	14.0%
その他食品製造	6	14.0%
調味料類	1	2.3%
製麺・パスタ	0	0.0%
無回答	81	—
合計（無回答除く）	56	130.2%



b【非食品系自主事業】

選択項目	人数	構成比
工芸・雑貨類	31	50.8%
アクセサリ類	19	31.1%
布・革製品	16	26.2%
縫製作業	13	21.3%
石けん	10	16.4%
印刷・製本	8	13.1%
資源回収	8	13.1%
木工製品	7	11.5%
その他非食品製造	7	11.5%
調理作業	6	9.8%
クリーニング	5	8.2%
インテリア	1	1.6%
無回答	63	—
合計（無回答除く）	131	214.8%

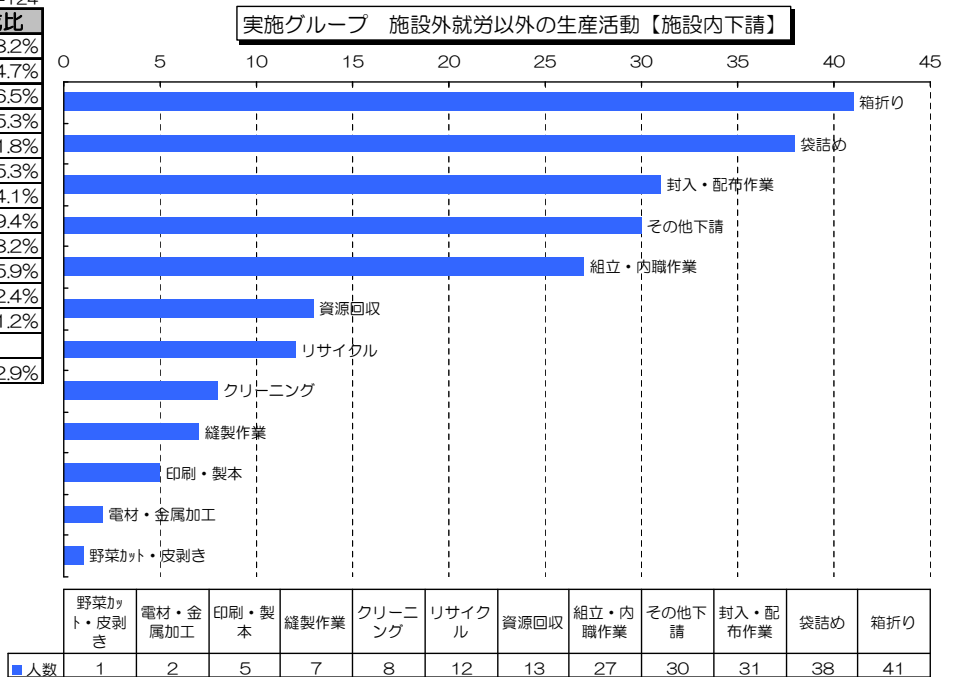


施設外就労以外の生産活動を見て行くと

- 『食品系自主事業』は124件中43件が取組んでいるが、【パン・ラスク】が19件、【お菓子類】が13件、【お弁当・惣菜】が11件で続いている。
- 『非食品系自主事業』は61件で実施。【工芸・雑貨類】が31件で最多、【アクセサリ類】が19件、【布・革製品】が16件、【縫製作業】が13件、となっている。

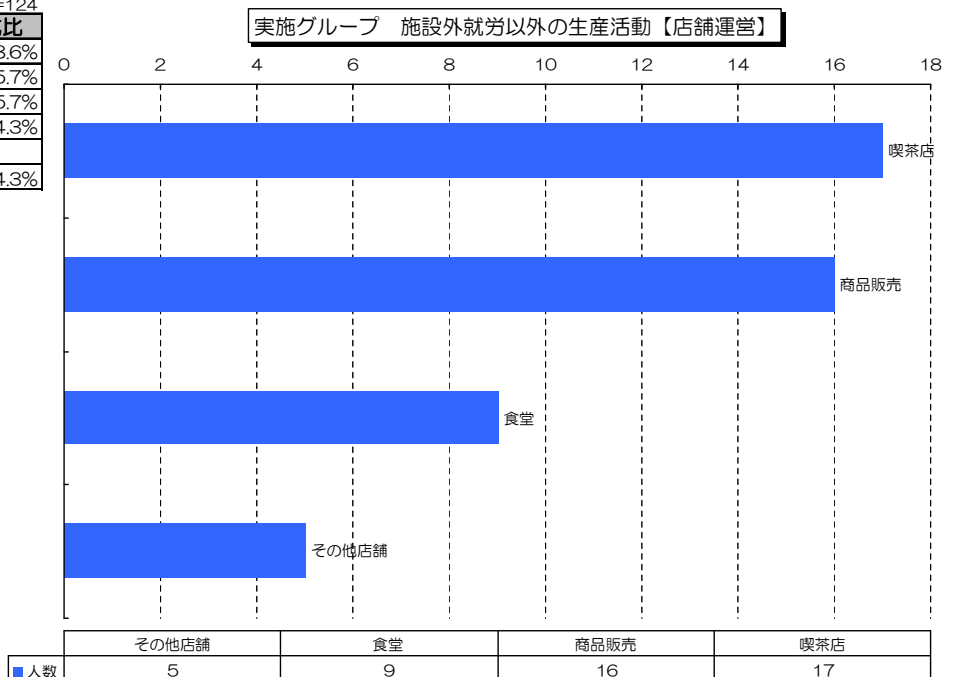
c 【施設内下請】

選択項目	人数	構成比
箱折り	41	48.2%
袋詰め	38	44.7%
封入・配布作業	31	36.5%
その他下請	30	35.3%
組立・内職作業	27	31.8%
資源回収	13	15.3%
リサイクル	12	14.1%
クリーニング	8	9.4%
縫製作業	7	8.2%
印刷・製本	5	5.9%
電材・金属加工	2	2.4%
野菜カット・皮剥き	1	1.2%
無回答	39	-
合計（無回答除く）	215	252.9%



d 【店舗運営】

選択項目	人数	構成比
喫茶店	17	48.6%
商品販売	16	45.7%
食堂	9	25.7%
その他店舗	5	14.3%
無回答	89	-
合計（無回答除く）	47	134.3%

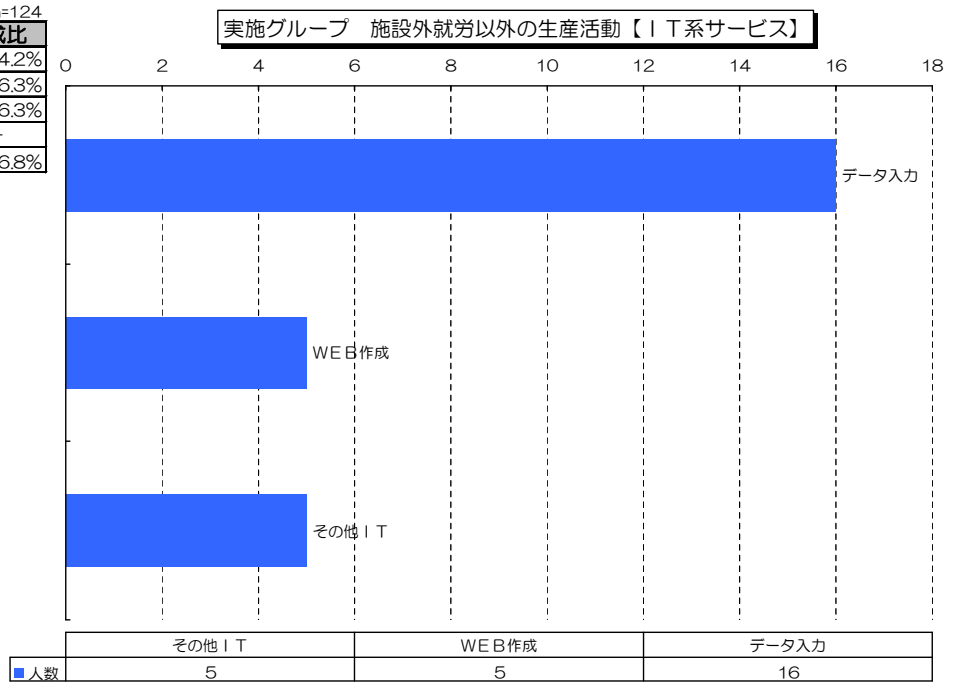


- 『施設内下請』は 85 件で実施。【箱折り】が 41 件、【袋詰め】が 38 件、【封入・配布作業】が 31 件、【その他下請】が 30 件、【組立・内職作業】が 27 件、と多くの事業所が取組んでいる状況。
- 『店舗運営』は 35 件で実施。【喫茶店】が 17 件、【商品販売】が 16 件、【食堂】が 9 件、【その他店舗】が 5 件、の回答となった。



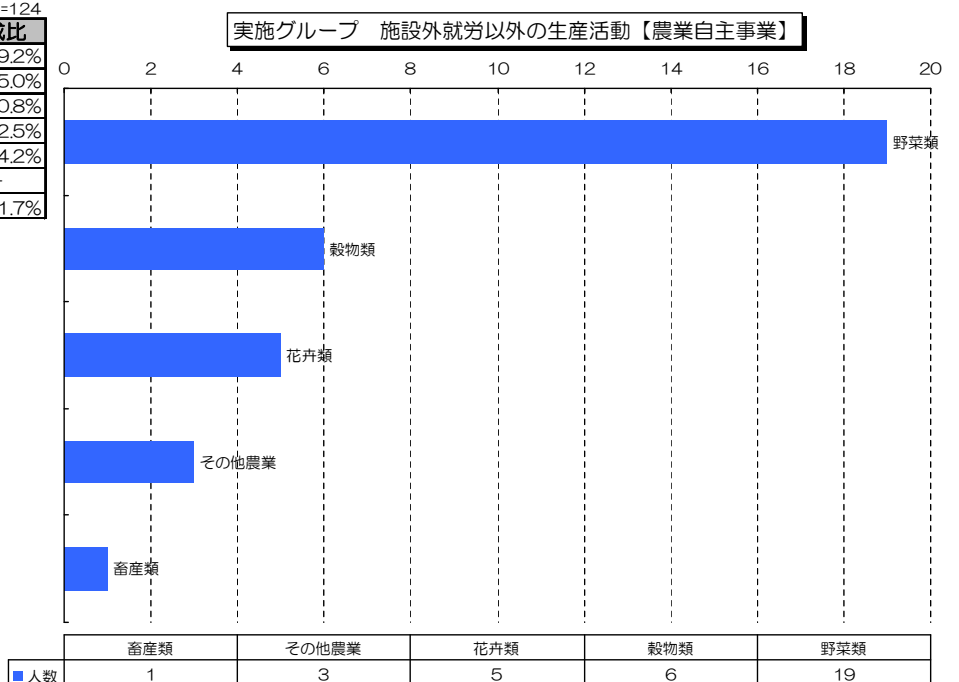
### e 【IT系サービス】

選択項目	人数	構成比
データ入力	16	84.2%
WEB作成	5	26.3%
その他IT	5	26.3%
無回答	105	—
合計（無回答除く）	26	136.8%



### f 【農業自主事業】

選択項目	人数	構成比
野菜類	19	79.2%
穀物類	6	25.0%
花卉類	5	20.8%
その他農業	3	12.5%
畜産類	1	4.2%
無回答	100	—
合計（無回答除く）	34	141.7%



- 『IT系サービス』は19件で実施。【データ入力】が16件、【WEB作成】が5件、【その他IT】が5件という状況。
- 『農業自主事業』は24件で実施。【野菜類】が19件、【穀物類】が6件、【花卉類】が5件、【その他農業】が3件、【畜産類】が1件となっている。

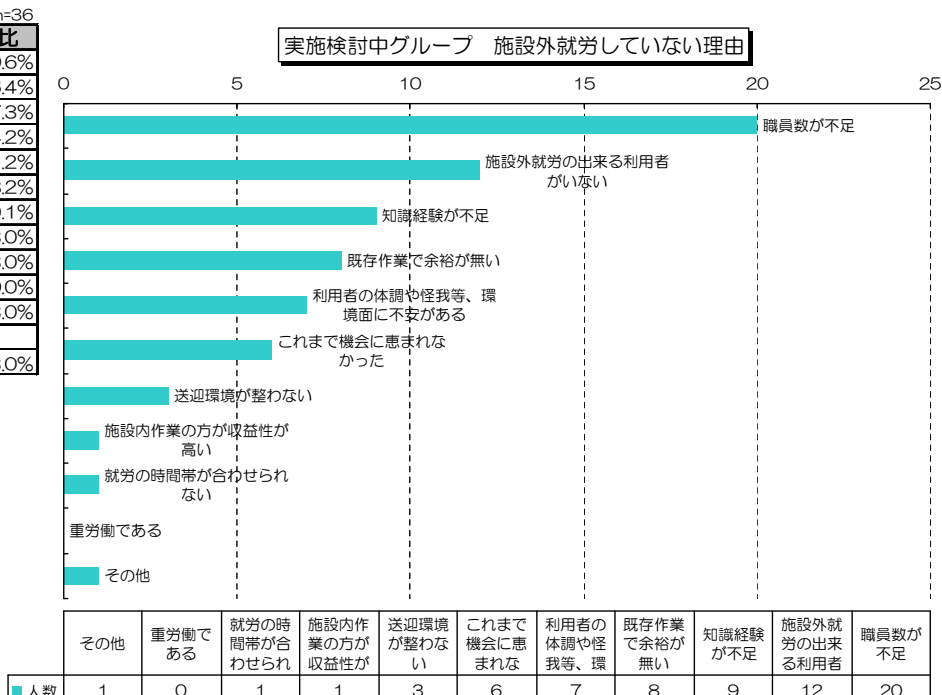
<その他の生産活動>

記述回答	属性(事業種別)
シール貼り、キャンドル	(就労継続支援B型)
正月飾り全般	(就労継続支援B型)
クリーニング付随業務、青果パッキング	(その他)
ホタテの貝殻の加工、珍味加工	(その他)
老人介護施設の介護以外の作業(厨房、おやつ準備、送迎等)	(就労継続支援A型)
トマトジュース	(就労移行支援)
生ごみ回収、委託リサイクル作業ほか	(その他)
施設内清掃、事務作業	(就労継続支援B型)
代行サービス(除雪、室内清掃、買い物、病院受診付き添い等)	(就労継続支援A型)
買い物カゴ洗浄作業	(就労継続支援B型)
選別作業	(就労継続支援A型)
ハスカップ	(就労継続支援B型)
乗馬クラブ	(就労継続支援B型)
ネットショップ代行	(その他)
ウエス、古紙回収、袋折作業	(就労継続支援B型)
介護用品販売	(就労継続支援B型)

### 3) 「施設外就労・実施検討中グループ（36件）」の回答内容

#### ①現在施設外就労をしていない理由（複数回答）

選択項目	人数	構成比
職員数が不足	20	60.6%
施設外就労の出来る利用者がいない	12	36.4%
知識経験が不足	9	27.3%
既存作業で余裕が無い	8	24.2%
利用者の体調や怪我等、環境面に不安がある	7	21.2%
これまで機会に恵まれなかった	6	18.2%
送迎環境が整わない	3	9.1%
施設内作業の方が収益性が高い	1	3.0%
就労の時間帯が合わせられない	1	3.0%
重労働である	0	0.0%
その他	1	3.0%
無回答	3	—
合計（無回答除く）	64	203.0%



記述回答	属性（事業種別）
3年間札幌市の委託事業をしていたが、今年度は応募したが抽選にもれなかった	（就労継続支援B型）

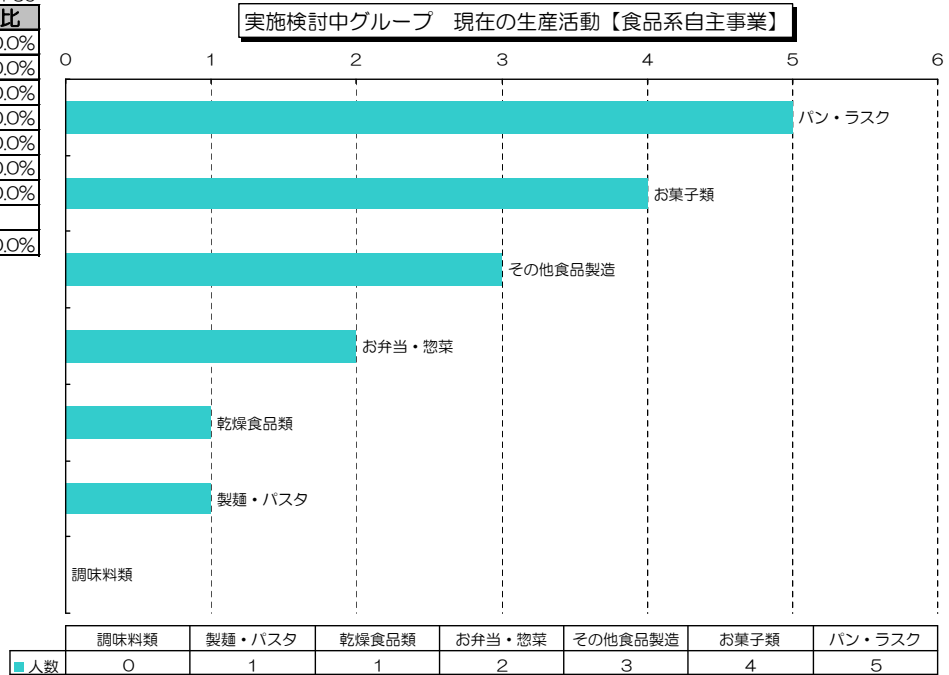
次に、施設外就労の『実施検討中グループ』について確認する。

- 現在施設外就労をしていない理由では、【職員数が不足】が60.6%と6割を超える回答となった。以下【施設外就労の出来る利用者がいない】が36.4%、【知識経験が不足】が27.3%、【既存作業で余裕が無い】が24.2%、と続いている。
- 記述回答では、行政の委託事業の抽選にもれたため、という理由も見られた。

②現在の生産活動の状況（複数回答）

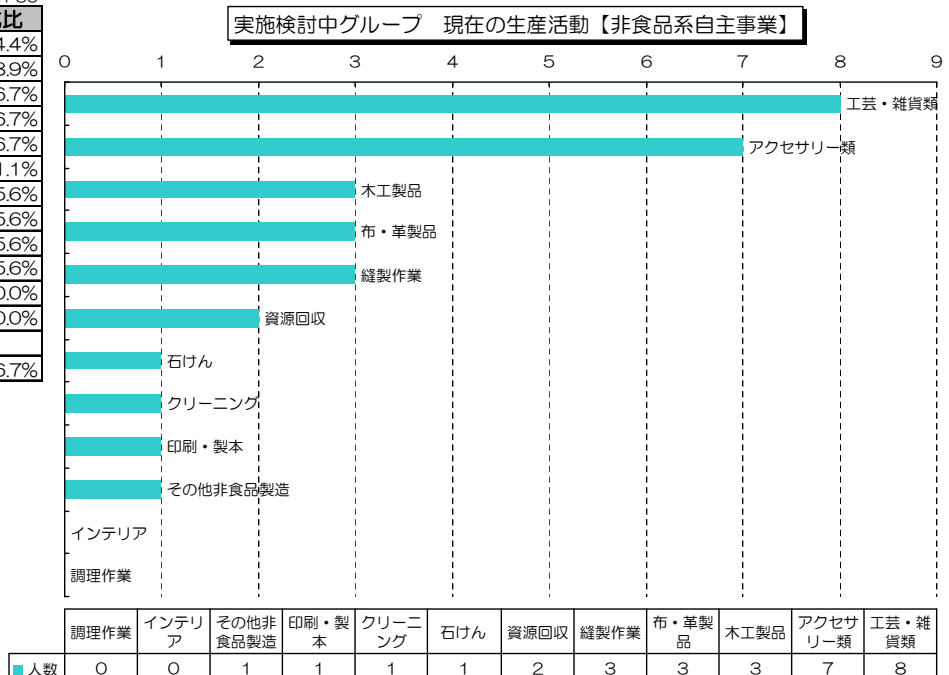
a【食品系自主事業】

選択項目	人数	構成比
パン・ラスク	5	50.0%
お菓子類	4	40.0%
その他食品製造	3	30.0%
お弁当・惣菜	2	20.0%
乾燥食品類	1	10.0%
製麺・パスタ	1	10.0%
調味料類	0	0.0%
無回答	26	—
合計（無回答除く）	16	160.0%



b【非食品系自主事業】

選択項目	人数	構成比
工芸・雑貨類	8	44.4%
アクセサリ類	7	38.9%
木工製品	3	16.7%
布・革製品	3	16.7%
縫製作業	3	16.7%
資源回収	2	11.1%
石けん	1	5.6%
クリーニング	1	5.6%
印刷・製本	1	5.6%
その他非食品製造	1	5.6%
インテリア	0	0.0%
調理作業	0	0.0%
無回答	18	—
合計（無回答除く）	30	166.7%

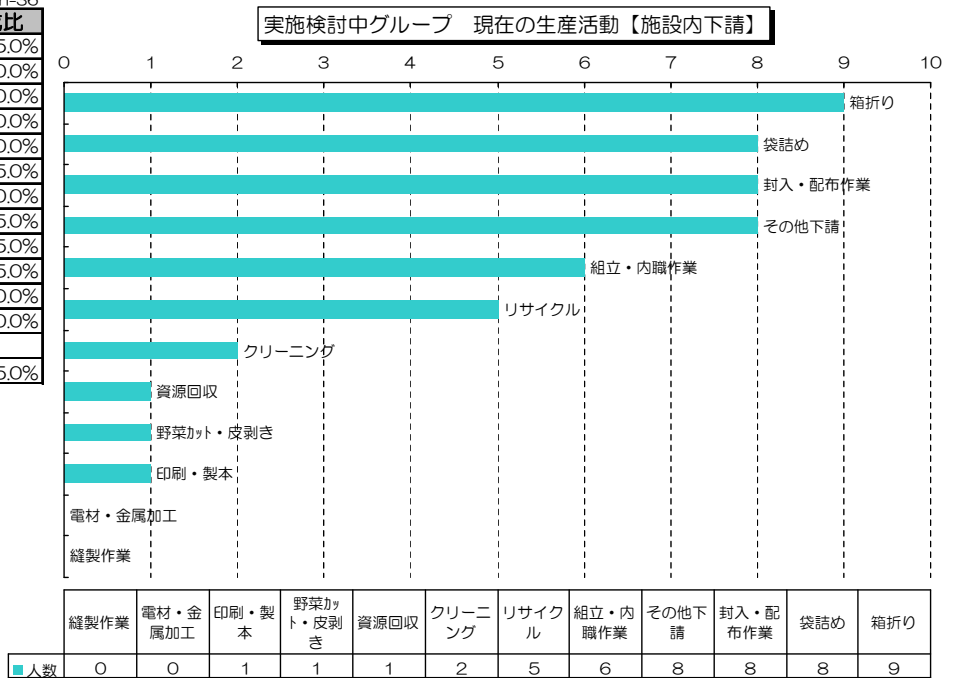


現在の生産活動を見て行くと

- 『食品系自主事業』は36件中10件が取り組んでいるが、【パン・ラスク】が5件、【お菓子類】が4件、【その他食品製造】が3件で続いている。
- 『非食品系自主事業』は18件で実施。【工芸・雑貨類】が8件、【アクセサリ類】が7件、【木工製品】【布・革製品】【縫製作業】がともに3件、となっている。

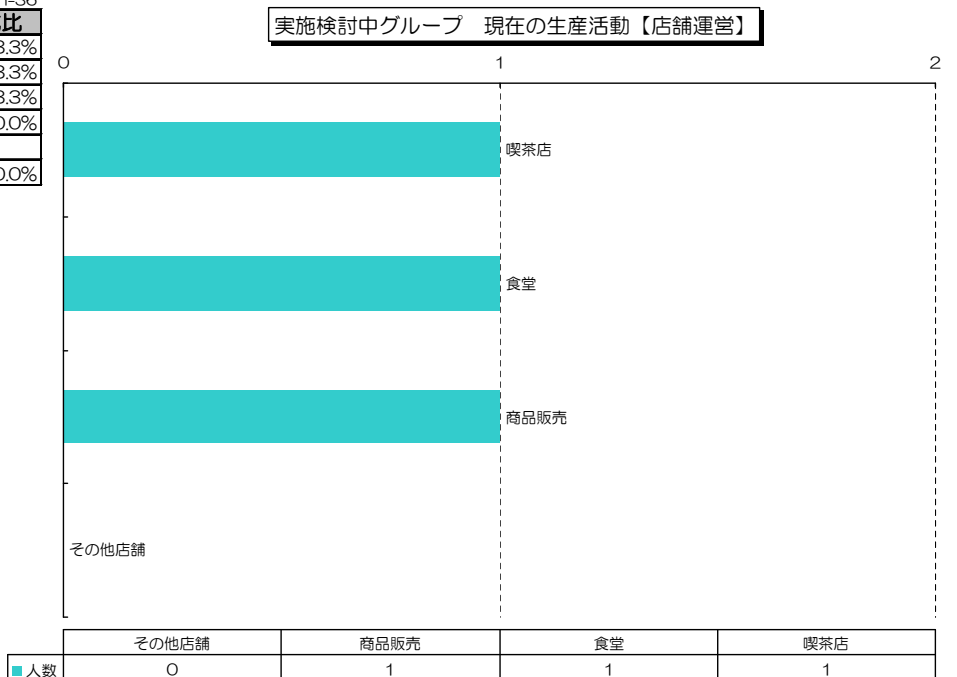
c 【施設内下請】

選択項目	人数	構成比
箱折り	9	45.0%
袋詰め	8	40.0%
封入・配布作業	8	40.0%
その他下請	8	40.0%
組立・内職作業	6	30.0%
リサイクル	5	25.0%
クリーニング	2	10.0%
資源回収	1	5.0%
野菜カット・皮剥き	1	5.0%
印刷・製本	1	5.0%
電材・金属加工	0	0.0%
縫製作業	0	0.0%
無回答	16	—
合計（無回答除く）	49	245.0%



d 【店舗運営】

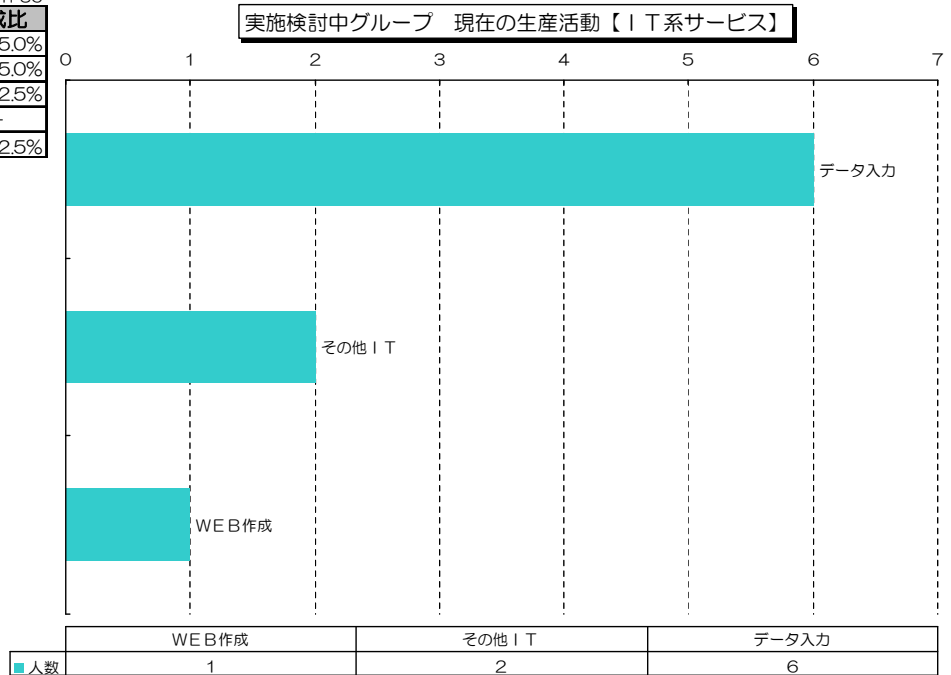
選択項目	人数	構成比
喫茶店	1	33.3%
食堂	1	33.3%
商品販売	1	33.3%
その他店舗	0	0.0%
無回答	33	—
合計（無回答除く）	3	100.0%



- 『施設内下請』は20件で実施。【箱折り】が9件、【袋詰め】【封入・配布作業】【その他下請】がともに8件、【組立・内職作業】が6件、【リサイクル】が5件で続いている。
- 『店舗運営』は3件で実施。【喫茶店】【商品販売】【食堂】がそれぞれ1件となっている。

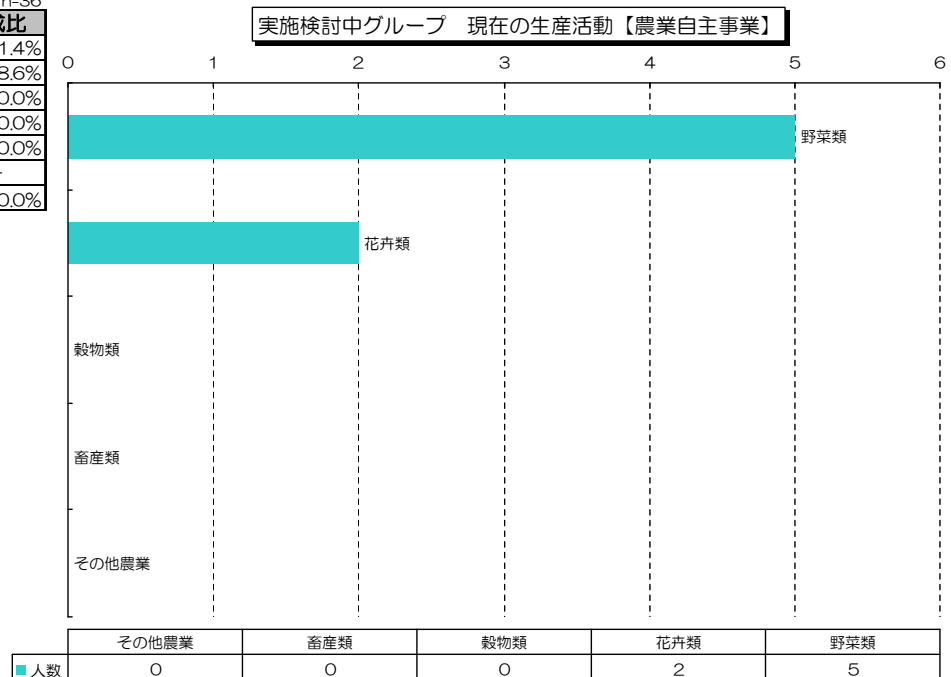
### e 【IT系サービス】

選択項目	人数	構成比
データ入力	6	75.0%
その他IT	2	25.0%
WEB作成	1	12.5%
無回答	28	—
合計（無回答除く）	9	112.5%



### f 【農業自主事業】

選択項目	人数	構成比
野菜類	5	71.4%
花卉類	2	28.6%
穀物類	0	0.0%
畜産類	0	0.0%
その他農業	0	0.0%
無回答	29	—
合計（無回答除く）	7	100.0%



- 『IT系サービス』は8件で実施。【データ入力】が6件、【その他IT】が2件、【WEB作成】が1件、という状況。
- 『農業自主事業』は7件で実施。【野菜類】が5件、【花卉類】が2件、となっている。

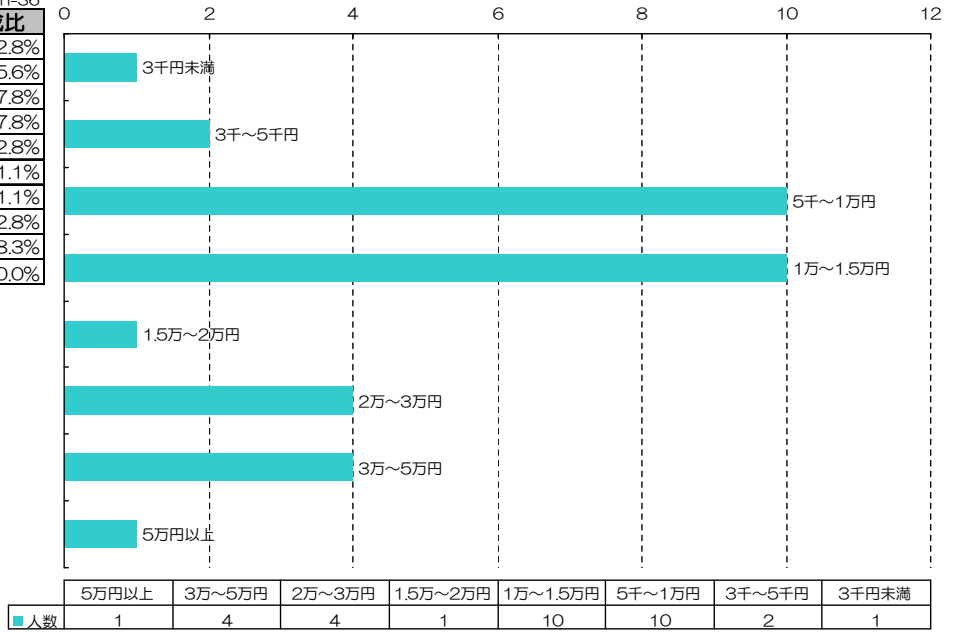
### <その他の生産活動>

記述回答	属性（事業種別）
お菓子屋さんからの請負で羊薬用の貝殻の洗浄	（就労継続支援B型）

### ③事業所全体の平均工賃（月額）

選択項目	人数	構成比
3千円未満	1	2.8%
3千～5千円	2	5.6%
5千～1万円	10	27.8%
1万～1.5万円	10	27.8%
1.5万～2万円	1	2.8%
2万～3万円	4	11.1%
3万～5万円	4	11.1%
5万円以上	1	2.8%
無回答	3	8.3%
<b>合計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>

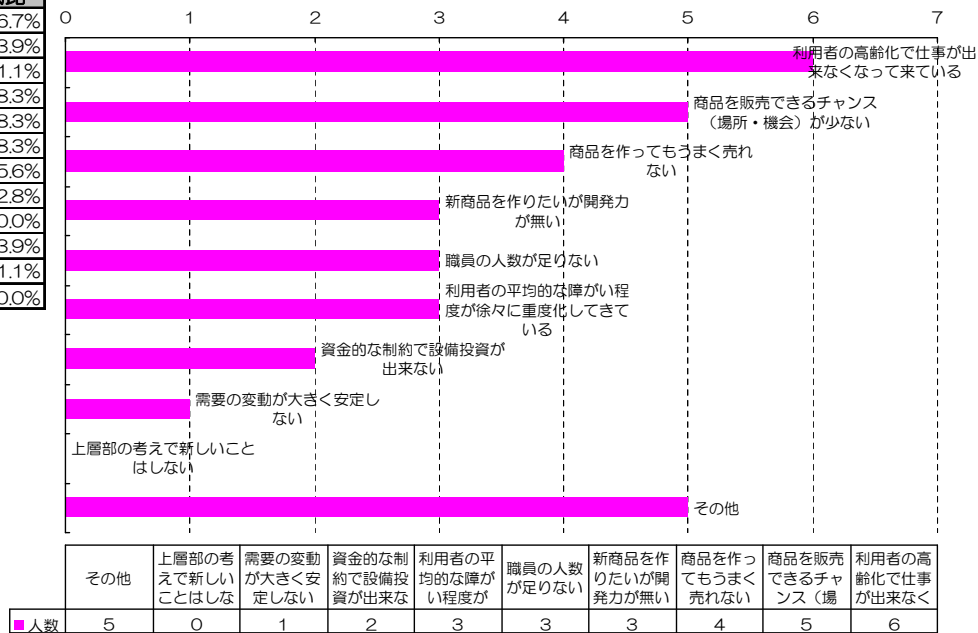
実施検討中グループ 事業所全体の平均工賃（月額）



### ④生産活動に関する現状の問題・課題

選択項目	人数	構成比
利用者の高齢化で仕事が出来なくなって来ている	6	16.7%
商品を販売できるチャンス（場所・機会）が少ない	5	13.9%
商品を作ってもうまく売れない	4	11.1%
新商品を作りたいが開発力が無い	3	8.3%
職員の人数が足りない	3	8.3%
利用者の平均的な障がい程度が徐々に重度化してきている	3	8.3%
資金的な制約で設備投資が出来ない	2	5.6%
需要の変動が大きく安定しない	1	2.8%
上層部の考えで新しいことはしない	0	0.0%
その他	5	13.9%
無回答	4	11.1%
<b>合計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>

実施検討中グループ 生産活動に関する現状の問題・課題



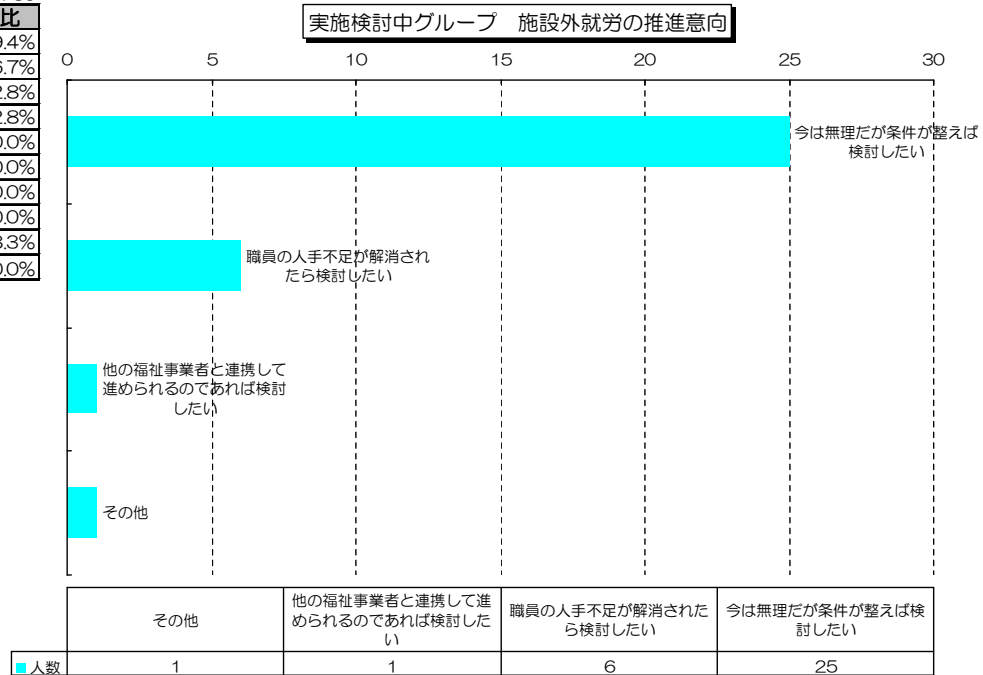
記述回答	属性（事業種別）
利用者の体調の問題で生産量を増やすことが出来ず、現状維持が精一杯である。	（就労継続支援B型）
受託単価が安い	（就労継続支援B型）
データ入力の受注が少ない	（就労継続支援B型）
障害種別が多様化しており、個別的な支援が増加傾向にあり、また、精神障害などの障害特性により、通所が安定しない中で、生産力の強化を進めることが現実的に難しい状況にあります。	（就労継続支援B型）

- 事業所全体の平均工賃（月額）では、【5千～1万円】【1万～1.5万円】がともに27.8%、【2万～3万円】【3万～5万円】がともに11.1%で続いている。
- 生産活動の問題・課題では、【利用者の高齢化】が16.7%でトップだが、以降は商品に関する問題が続いており、【販売するチャンスが少ない】が13.9%、【・・・作っても売れない】が11.1%、【・・・開発力が無い】が8.3%で続いている。

### ⑤施設外就労の推進意向

n=36

選択項目	人数	構成比
今は無理だが条件が整えば検討したい	25	69.4%
職員の人手不足が解消されたら検討したい	6	16.7%
他の福祉事業者と連携して進められるのであれば検討したい	1	2.8%
その他	1	2.8%
施設内作業が縮小したら検討したい	0	0.0%
優先調達推進法等で行政から依頼があれば検討したい	0	0.0%
委託単価が高い仕事ならば検討したい	0	0.0%
積極的に施設外就労を推進するつもりはない	0	0.0%
無回答	3	8.3%
<b>合計</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>



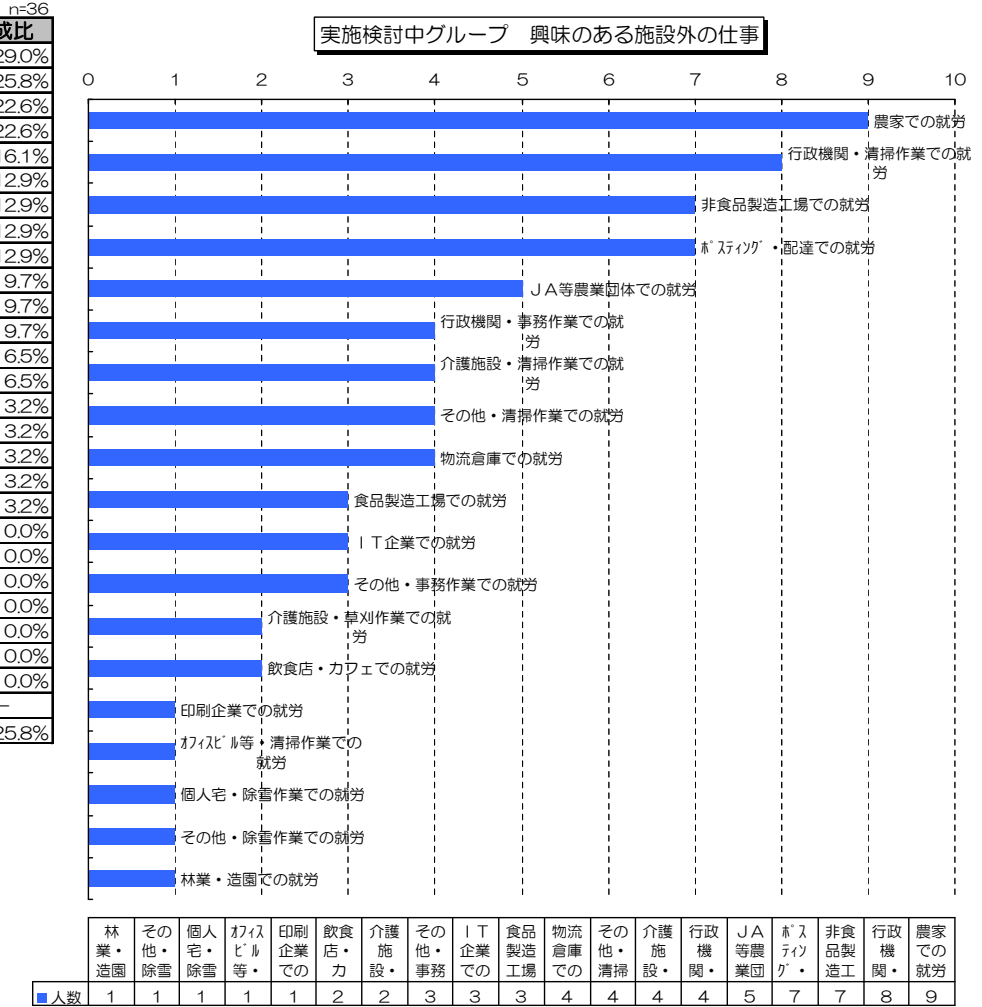
記述回答	属性（事業種別）
条件（移動手段）がそろえばすぐにでもやりたい	（就労継続支援B型）

- 施設外就労の推進意向では、【今は無理だが条件が整えば検討したい】が最も高く、約7割の69.4%に上っており、【職員の人手不足が解消されたら検討したい】が16.7%で続いている。



⑥興味のある施設の仕事（複数回答）

選択項目	人数	構成比
農家での就労	9	29.0%
行政機関・清掃作業での就労	8	25.8%
非食品製造工場での就労	7	22.6%
ホスティング・配達での就労	7	22.6%
J A等農業団体での就労	5	16.1%
行政機関・事務作業での就労	4	12.9%
介護施設・清掃作業での就労	4	12.9%
その他・清掃作業での就労	4	12.9%
物流倉庫での就労	4	12.9%
食品製造工場での就労	3	9.7%
I T企業での就労	3	9.7%
その他・事務作業での就労	3	9.7%
介護施設・草刈作業での就労	2	6.5%
飲食店・カフェでの就労	2	6.5%
印刷企業での就労	1	3.2%
オフィス等・清掃作業での就労	1	3.2%
個人宅・除雪作業での就労	1	3.2%
その他・除雪作業での就労	1	3.2%
林業・造園での就労	1	3.2%
クリーニング企業での就労	0	0.0%
行政機関・草刈作業での就労	0	0.0%
マンション等・清掃作業での就労	0	0.0%
給食等の調理場での就労	0	0.0%
小売店舗での就労	0	0.0%
漁業での就労	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	5	—
合計（無回答除く）	65	225.8%

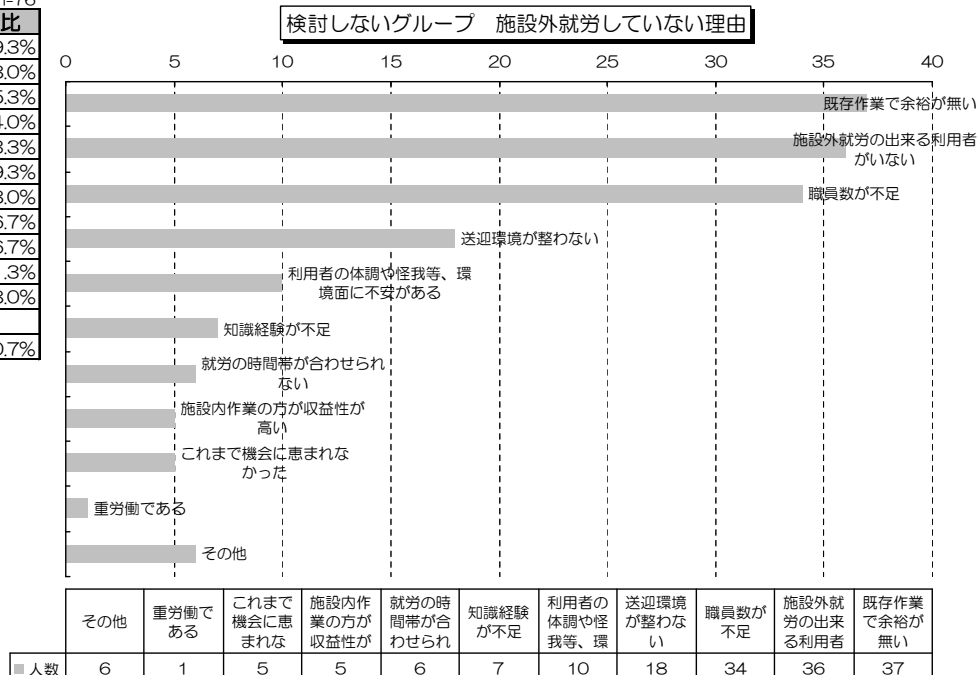


- 施設外就労に関する興味のある仕事の種別では、【農家での就労】が 29.0%、【行政機関・清掃作業での就労】が 25.8%、【非食品製造工場での就労】【ホスティング・配達での就労】がともに 22.6%で上位となっている。

## 4) 「施設外就労・検討しないグループ (76件)」の回答内容

### ①現在施設外就労をしていない理由 (複数回答)

選択項目	人数	構成比
既存作業で余裕が無い	37	49.3%
施設外就労の出来る利用者がいない	36	48.0%
職員数が不足	34	45.3%
送迎環境が整わない	18	24.0%
利用者の体調や怪我等、環境面に不安がある	10	13.3%
知識経験が不足	7	9.3%
就労の時間帯が合わせられない	6	8.0%
施設内作業の方が収益性が高い	5	6.7%
これまで機会に恵まれなかった	5	6.7%
重労働である	1	1.3%
その他	6	8.0%
無回答	1	—
合計 (無回答除く)	157	210.7%



記述回答	属性 (事業種別)
施設外就労を望んでいる利用者がいない	(就労継続支援B型)
利用者の年齢や体調面、意向が薄い。又、親の意向も薄い。現状維持が強い。	(就労継続支援B型)
希望する利用者おりません	(就労継続支援B型)
施設外就労を望んでいる利用者がいない	(就労継続支援B型)
都市部から離れているため、安定した仕事が少ない	(就労継続支援A型)
施設外就労は法人内の他事業所 (就労移行支援) にて、取組んでいるため	(日中活動支援 (生活介護等))

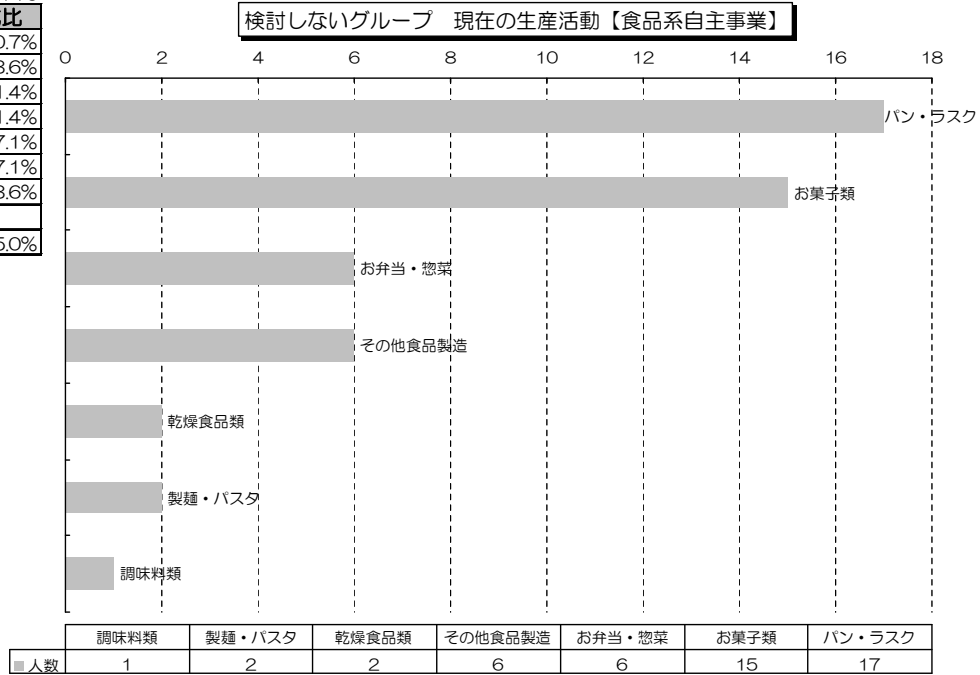
次に、施設外就労を『検討しないグループ』について確認する。

- 現在施設外就労をしていない理由では、【既存作業で余裕が無い】が49.3%、【施設外就労の出来る利用者がいない】が48.0%、【職員数が不足】が45.3%、で、それぞれ4割を超える意見となった。また、【送迎環境が整わない】も24.0%と一定数以上に上っている。
- 記述回答では、「利用者の希望や適正を鑑みて、取組んでいない」ことが伺える。

②現在の生産活動の状況（複数回答）

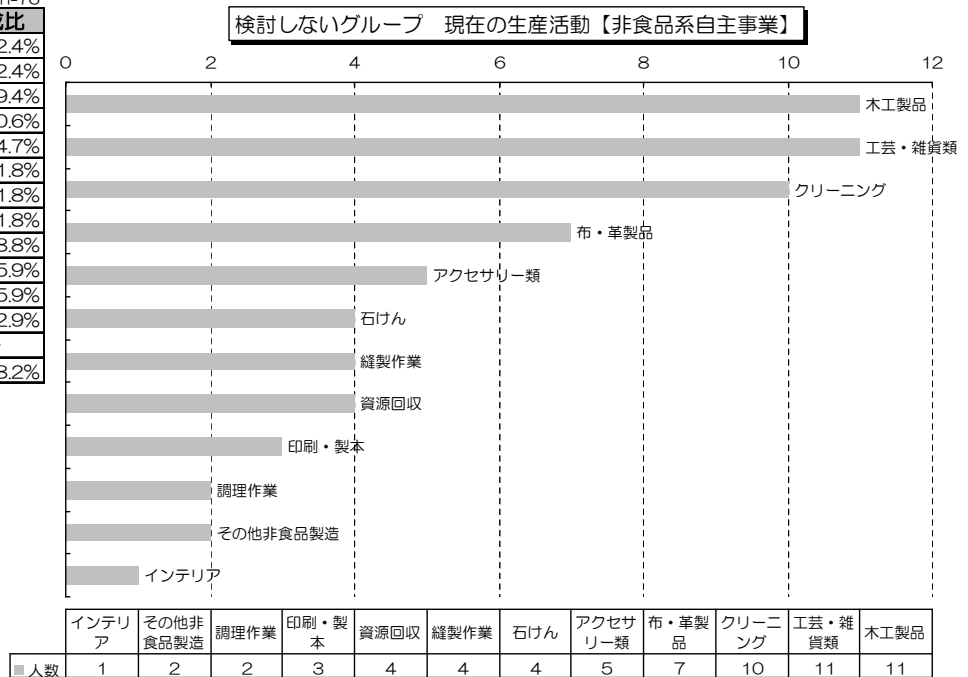
a 【食品系自主事業】

選択項目	人数	構成比
パン・ラスク	17	60.7%
お菓子類	15	53.6%
お弁当・惣菜	6	21.4%
その他食品製造	6	21.4%
乾燥食品類	2	7.1%
製麺・パスタ	2	7.1%
調味料類	1	3.6%
無回答	48	—
合計（無回答除く）	49	175.0%



b 【非食品系自主事業】

選択項目	人数	構成比
木工製品	11	32.4%
工芸・雑貨類	11	32.4%
クリーニング	10	29.4%
布・革製品	7	20.6%
アクセサリー類	5	14.7%
石けん	4	11.8%
縫製作業	4	11.8%
資源回収	4	11.8%
印刷・製本	3	8.8%
調理作業	2	5.9%
その他非食品製造	2	5.9%
インテリア	1	2.9%
無回答	42	—
合計（無回答除く）	64	188.2%

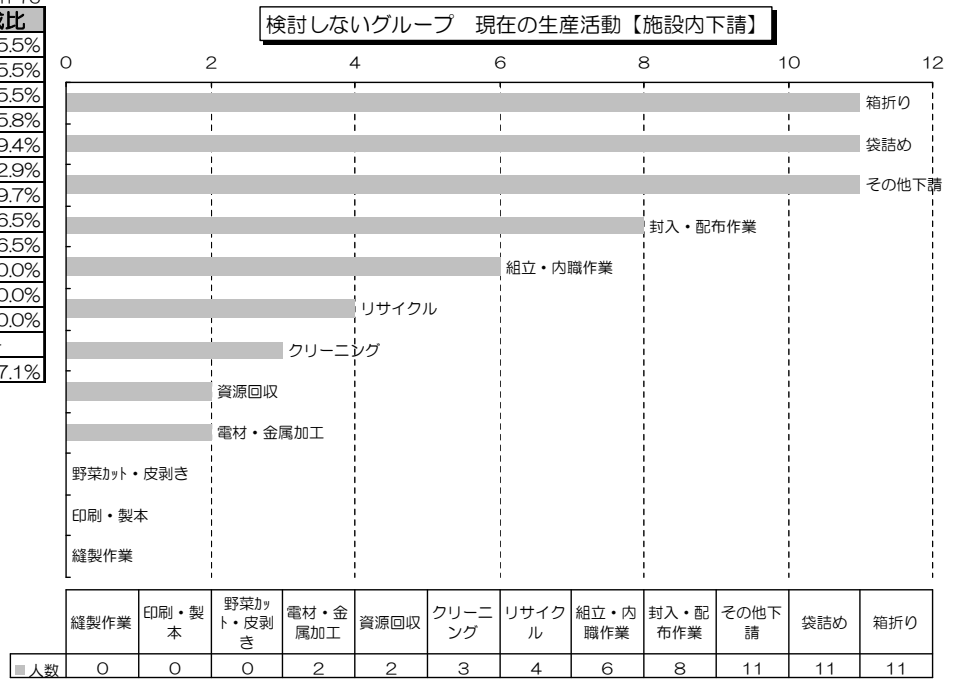


現在の生産活動を見て行くと

- 『食品系自主事業』は76件中28件が取り組んでいる状況で、【パン・ラスク】が17件、【お菓子類】が15件、【お弁当・惣菜】【その他食品製造】がともに6件で続いている。
- 『非食品系自主事業』は34件で実施。【木工製品】【工芸・雑貨類】がともに11件、【クリーニング】が10件、【布・革製品】が7件、となっている。

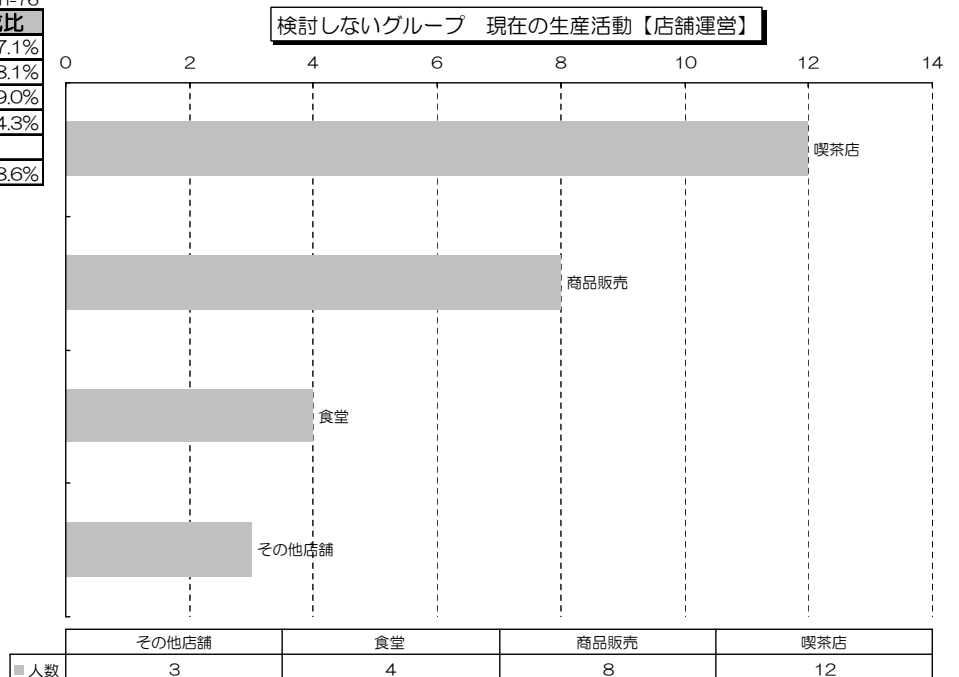
c 【施設内下請】

選択項目	人数	構成比
箱折り	11	35.5%
袋詰め	11	35.5%
その他下請	11	35.5%
封入・配布作業	8	25.8%
組立・内職作業	6	19.4%
リサイクル	4	12.9%
クリーニング	3	9.7%
資源回収	2	6.5%
電材・金属加工	2	6.5%
野菜カット・皮剥き	0	0.0%
印刷・製本	0	0.0%
縫製作業	0	0.0%
無回答	45	-
合計（無回答除く）	58	187.1%



d 【店舗運営】

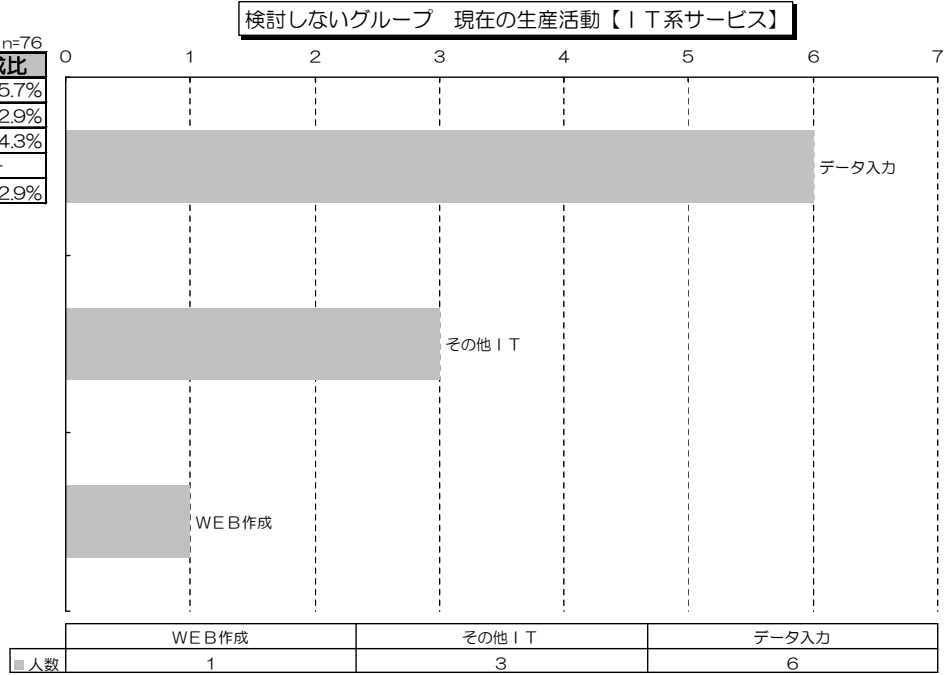
選択項目	人数	構成比
喫茶店	12	57.1%
商品販売	8	38.1%
食堂	4	19.0%
その他店舗	3	14.3%
無回答	55	-
合計（無回答除く）	27	128.6%



- 『施設内下請』は31件で実施。【箱折り】【袋詰め】【その他下請】がともに11件、【封入・配布作業】が8件、【組立・内職作業】が6件、【リサイクル】が4件で続いている。
- 『店舗運営』は21件で実施。【喫茶店】が12件、【商品販売】が8件、【食堂】が4件となっている。

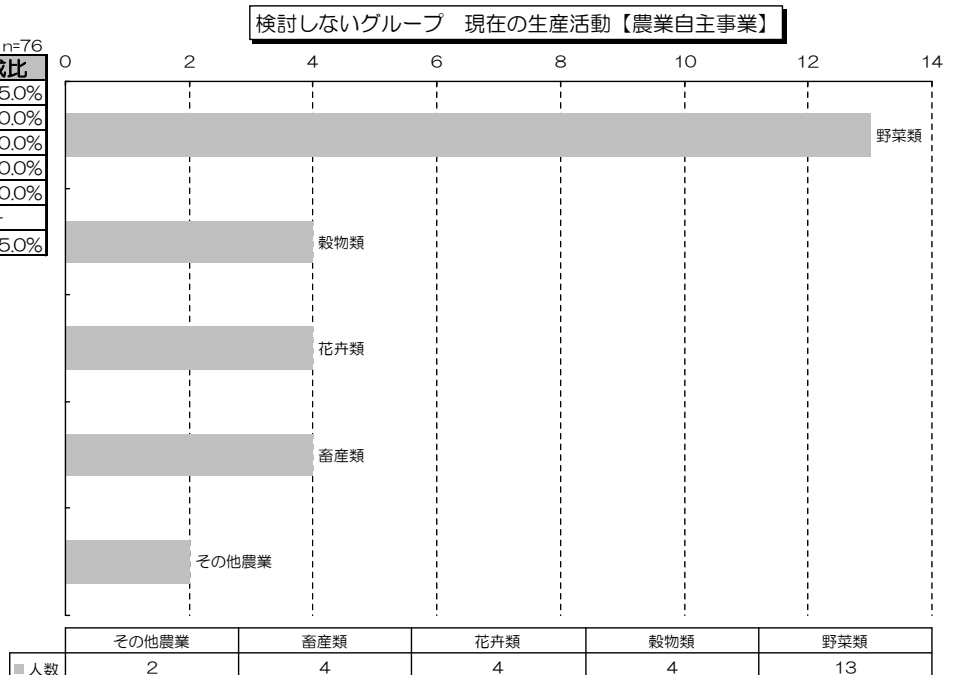
### e 【IT系サービス】

選択項目	人数	構成比
データ入力	6	85.7%
その他IT	3	42.9%
WEB作成	1	14.3%
無回答	69	-
合計（無回答除く）	10	142.9%



### f 【農業自主事業】

選択項目	人数	構成比
野菜類	13	65.0%
穀物類	4	20.0%
花卉類	4	20.0%
畜産類	4	20.0%
その他農業	2	10.0%
無回答	56	-
合計（無回答除く）	27	135.0%



- 『IT系サービス』は7件で実施。【データ入力】が6件、【その他IT】が3件、【WEB作成】が1件、という状況。
- 『農業自主事業』は20件で実施。【野菜類】が13件、【穀物類】【花卉類】【畜産類】がともに4件、となっている。

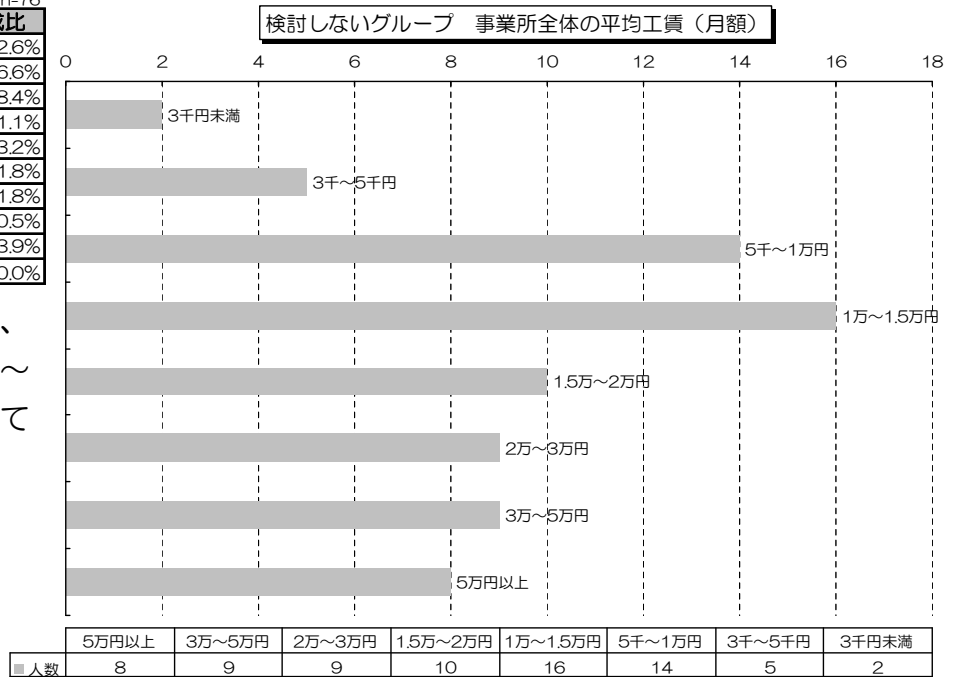
#### <その他の生産活動>

記述回答	属性（事業種別）
清掃作業	（日中活動支援（生活介護等））
しいたけ	（その他）
時期やその都度内容（食品類に関する計量、袋詰め等）によって委託業務の請負	（就労継続支援B型）
廃棄物解体	（就労継続支援B型）
廃OA機器類の解体・分別	（就労継続支援B型）
キャンプ用品のクリーニング作業、箸入れ作業	（就労継続支援B型）

### ③事業所全体の平均工賃（月額）

選択項目	人数	構成比
3千円未満	2	2.6%
3千～5千円	5	6.6%
5千～1万円	14	18.4%
1万～1.5万円	16	21.1%
1.5万～2万円	10	13.2%
2万～3万円	9	11.8%
3万～5万円	9	11.8%
5万円以上	8	10.5%
無回答	3	3.9%
合計	76	100.0%

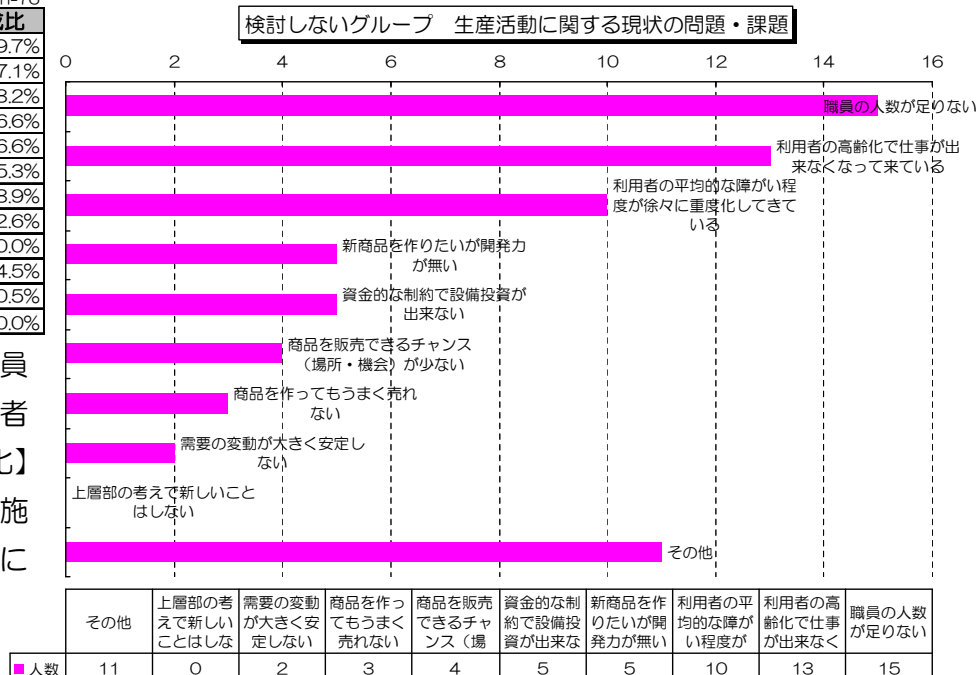
●事業所全体の平均工賃（月額）では、【1万～1.5万円】が21.1%、【5千～1万円】が18.4%、と頭一つ高くなっている。



### ④生産活動に関する現状の問題・課題

選択項目	人数	構成比
職員の人数が足りない	15	19.7%
利用者の高齢化で仕事が出来なくなって来ている	13	17.1%
利用者の平均的な障がい程度が徐々に重度化してきている	10	13.2%
新商品を作りたいが開発力がない	5	6.6%
資金的な制約で設備投資が出来ない	5	6.6%
商品を販売できるチャンス（場所・機会）が少ない	4	5.3%
商品を作ってもうまく売れない	3	3.9%
需要の変動が大きく安定しない	2	2.6%
上層部の考えで新しいことはしない	0	0.0%
その他	11	14.5%
無回答	8	10.5%
合計	76	100.0%

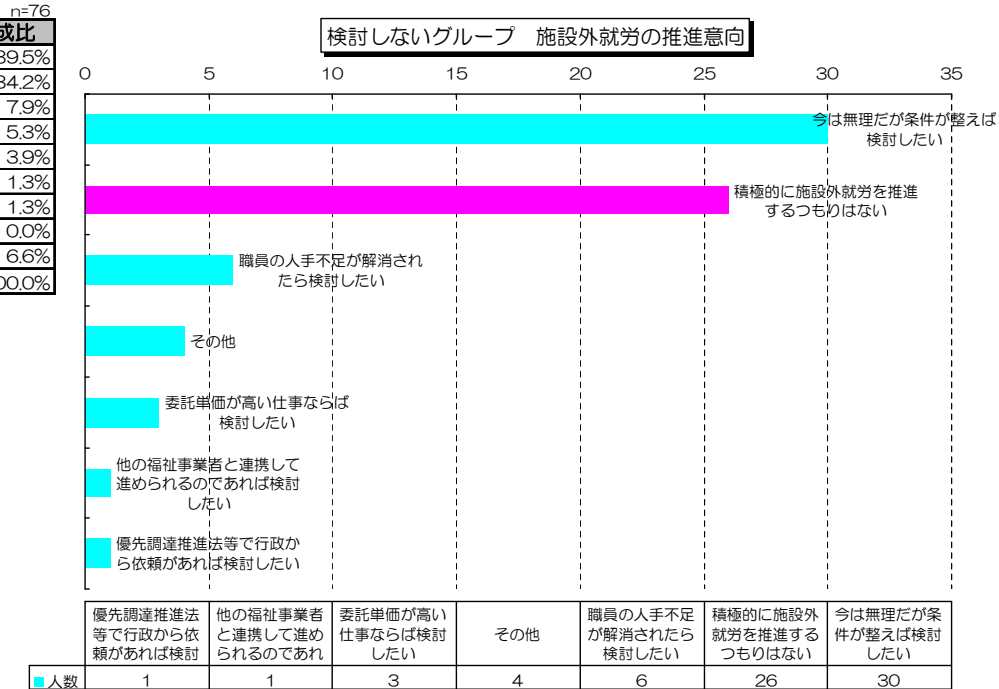
●次に生産活動の問題・課題では、【職員の人数が足りない】が19.7%、【利用者の高齢化】が17.1%、【利用者の重度化】が13.2%と上位の意見となった。『実施検討中グループ』とは対照的に、商品に関する問題は少数となった。



記述回答	属性（事業種別）
クリーニングでの顧客数が決まっているので、洗濯収入の大きな増収が見込めない	（就労継続支援B型）
現状、特に問題はありません	（地域生活支援（地活等））
クリーニング工場が狭隘である	（その他）
特に無し	（就労継続支援B型）
施設外就労できる利用者がいない	（日中活動支援（生活介護等））
昨年度までは鶴公園売店内の委託販売での売上が安定していたが、今年度はアジア圏の観光客激減の影響を受け、売上も激減であった。販路を模索中。	（就労継続支援B型）
継続して販売していける場所、店等が無い。又、常時商品を扱ってくれる店等が無い。	（就労継続支援B型）
問題は無いかと	（就労継続支援B型）
委託契約料の変動（毎年度）	（就労継続支援B型）
特に無し	（就労継続支援B型）

## ⑤施設外就労の推進意向

選択項目	人数	構成比
今は無理だが条件が整えば検討したい	30	39.5%
積極的に施設外就労を推進するつもりはない	26	34.2%
職員の人手不足が解消されたら検討したい	6	7.9%
その他	4	5.3%
委託単価が高い仕事ならば検討したい	3	3.9%
他の福祉事業者と連携して進められるのであれば検討したい	1	1.3%
優先調達推進法等で行政から依頼があれば検討したい	1	1.3%
施設内作業が縮小したら検討したい	0	0.0%
無回答	5	6.6%
<b>合計</b>	<b>76</b>	<b>100.0%</b>

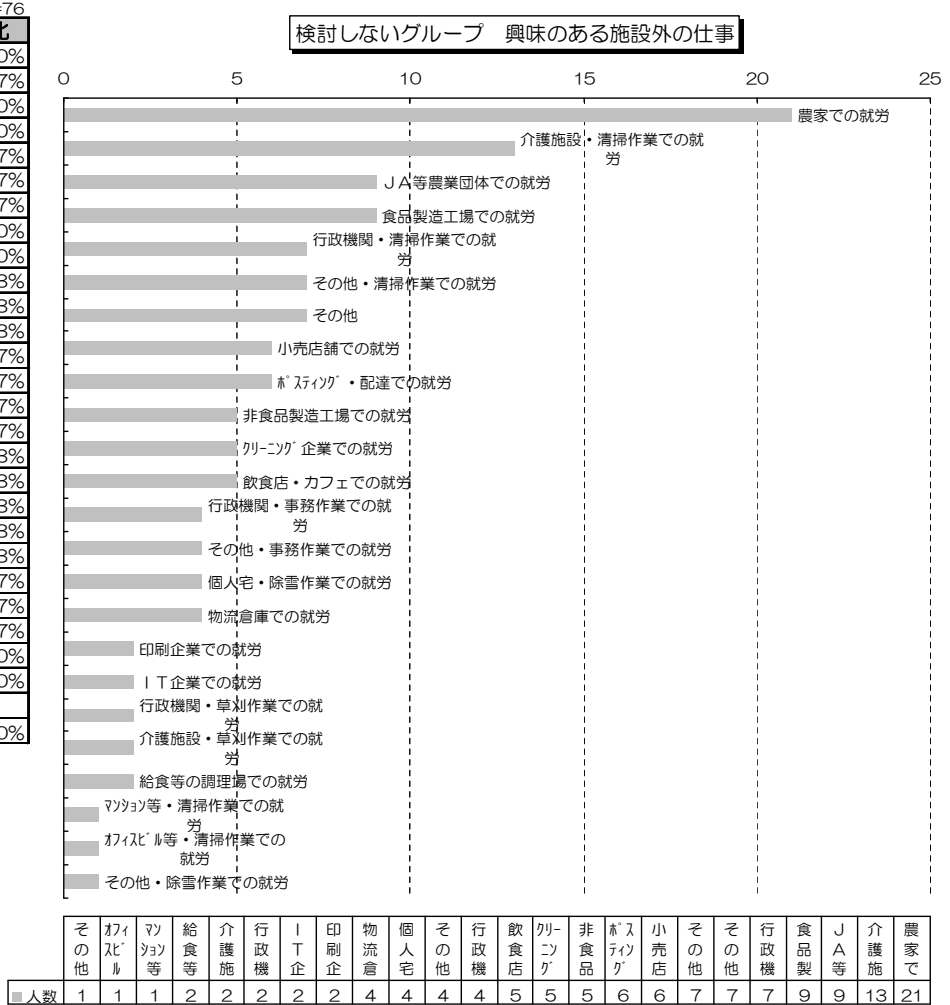


記述回答	属性（事業種別）
現在、定員数と実利用者数のバランスが良く、利用者の満足度も高いので施設外就労を行う予定は現状ではない。	(就労継続支援B型)
現段階では施設外就労は考えていない	(就労継続支援B型)
本人の意向があり年齢や体調を踏まえて、その時の施設の現状等、環境面を考慮した上で検討を試みたい。	(就労継続支援B型)

- 施設外就労の推進意向では、【今は無理だが条件が整えば検討したい】が約4割の39.5%となった一方、【積極的に施設外就労を推進するつもりはない】が34.2%と高くなった。このことから、『検討しないグループ』では施設外就労をしない理由としては、職員のリソース不足以前に、取組み事業として選択していないのだということが推定できる。

⑥興味のある施設の仕事（複数回答）

選択項目	人数	構成比
農家での就労	21	35.0%
介護施設・清掃作業での就労	13	21.7%
J A等農業団体での就労	9	15.0%
食品製造工場での就労	9	15.0%
行政機関・清掃作業での就労	7	11.7%
その他・清掃作業での就労	7	11.7%
その他	7	11.7%
小売店舗での就労	6	10.0%
ホースティング・配達での就労	6	10.0%
非食品製造工場での就労	5	8.3%
クリーニング企業での就労	5	8.3%
飲食店・カフェでの就労	5	8.3%
行政機関・事務作業での就労	4	6.7%
その他・事務作業での就労	4	6.7%
個人宅・除雪作業での就労	4	6.7%
物流倉庫での就労	4	6.7%
印刷企業での就労	2	3.3%
IT企業での就労	2	3.3%
行政機関・草刈作業での就労	2	3.3%
介護施設・草刈作業での就労	2	3.3%
給食等の調理場での就労	2	3.3%
マツヨリ等・清掃作業での就労	1	1.7%
ワイズビル等・清掃作業での就労	1	1.7%
その他・除雪作業での就労	1	1.7%
林業・造園での就労	0	0.0%
漁業での就労	0	0.0%
無回答	16	-
合計（無回答除く）	113	215.0%



記述回答	属性（事業種別）
利用者ができることであれば、なんでも良い	(就労継続支援B型)
利用者の障がい程度や希望等による	(就労継続支援B型)
今のところ考えていません	(日中活動支援(生活介護等))
リサイクル	(その他)
本人の特性や体調面、環境等を考えてマッチする業種を選びたい	(就労継続支援B型)
その他条件が整えば可能性はある。	(就労継続支援B型)
現在よりも効率的に安定した仕事であれば行ってみよう	(その他)

- 施設外就労に関する興味のある仕事の種別では、【農家での就労】が 35.0%と頭一つ高くなった。以下【介護施設・清掃作業での就労】が 21.7%、【J A等農業団体での就労】【食品製造工場での就労】がともに 15.0%で続いている。すぐには検討しないが、農業関連の仕事には興味があるようだ。



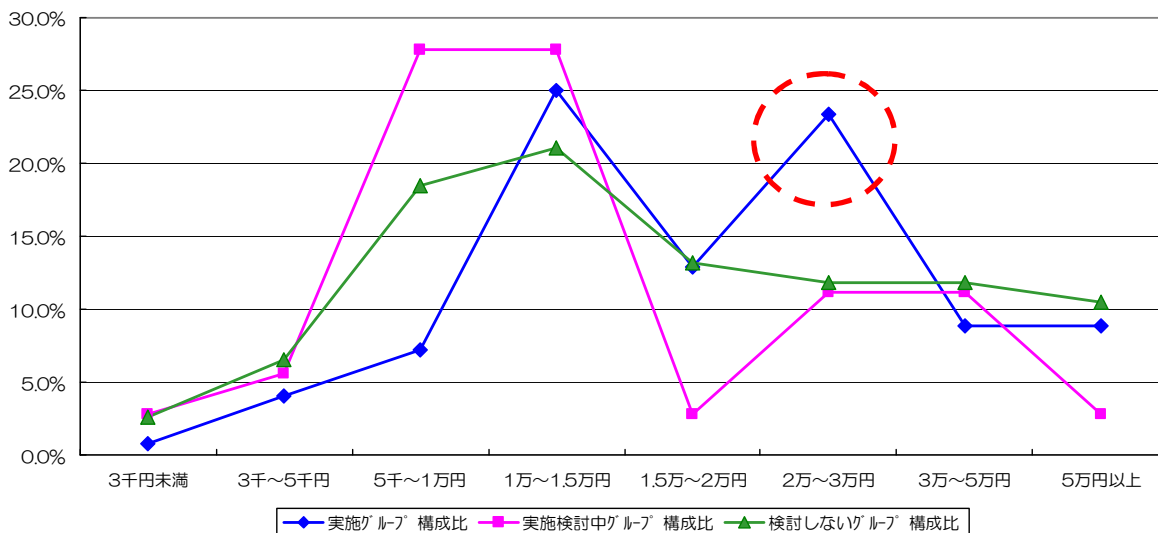
## 5) クロス集計分析

本項では、回答内容に関するクロス集計分析を実施した。

### ①「施設外就労の状況」と「事業所全体の平均工賃（月額）」の関係

選択項目	総計		施設外就労を実施している		現在はしていないが今後実施を検討している		現状も実施していないし今後も予定はない		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
3千円未満	4	1.7%	1	0.8%	1	2.8%	2	2.6%	0	0.0%
3千～5千円	12	5.0%	5	4.0%	2	5.6%	5	6.6%	0	0.0%
5千～1万円	33	13.7%	9	7.3%	10	27.8%	14	18.4%	0	0.0%
1万～1.5万円	57	23.7%	31	25.0%	10	27.8%	16	21.1%	0	0.0%
1.5万～2万円	27	11.2%	16	12.9%	1	2.8%	10	13.2%	0	0.0%
2万～3万円	43	17.8%	29	23.4%	4	11.1%	9	11.8%	1	20.0%
3万～5万円	24	10.0%	11	8.9%	4	11.1%	9	11.8%	0	0.0%
5万円以上	20	8.3%	11	8.9%	1	2.8%	8	10.5%	0	0.0%
無回答	21	8.7%	11	8.9%	3	8.3%	3	3.9%	4	80.0%
合計	241	100.0%	124	100.0%	36	100.0%	76	100.0%	5	100.0%
回答者数（合計－無回答）			113		33		73		1	

#### <区分別工賃グラフ>



これまでの各回答の関係性を分析するために、クロス集計を試みた。

- 上記の通り、実施状況と平均工賃の関係を確認したところ、『実施グループ』は他のグループと比べて、【2万～3万円】の比率が高くなっており、逆に【5千～1万円】の比率が低くなっていることが分る。

②「施設外就労の状況」と「事業種別」の関係

選択項目	総計		就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援		日中活動支援(生活介護等)		地域生活支援(地活等)		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
施設外就労を実施している	124	52.5%	11	73.3%	76	51.0%	5	100.0%	1	14.3%	2	22.2%	29	56.9%	0	0.0%
現在はしていないが今後実施を検討している	36	15.3%	1	6.7%	28	18.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	5	9.8%	0	0.0%
現状も実施していないし今後も予定はない	76	32.2%	3	20.0%	45	30.2%	0	0.0%	6	85.7%	5	55.6%	17	33.3%	0	0.0%
無回答	5	-	2	-	1	-	0	-	0	-	1	-	1	-	0	-
合計	241	-	17	-	150	-	5	-	7	-	10	-	52	-	0	-
回答者数(合計-無回答)	236	100.0%	15	100.0%	149	100.0%	5	100.0%	7	100.0%	9	100.0%	51	100.0%	0	100.0%

- 上記の通り、実施状況と事業種別の関係では、『就労移行支援』では全ての事業所が施設外就労を実施。『就労継続支援A型』は73.3%が実施している状況。『就労継続支援B型』は51.0%が実施しているが、30%は今後も実施するつもりが無いと答えている。

③「現在取り組んでいる施設外就労」と「事業種別」の関係

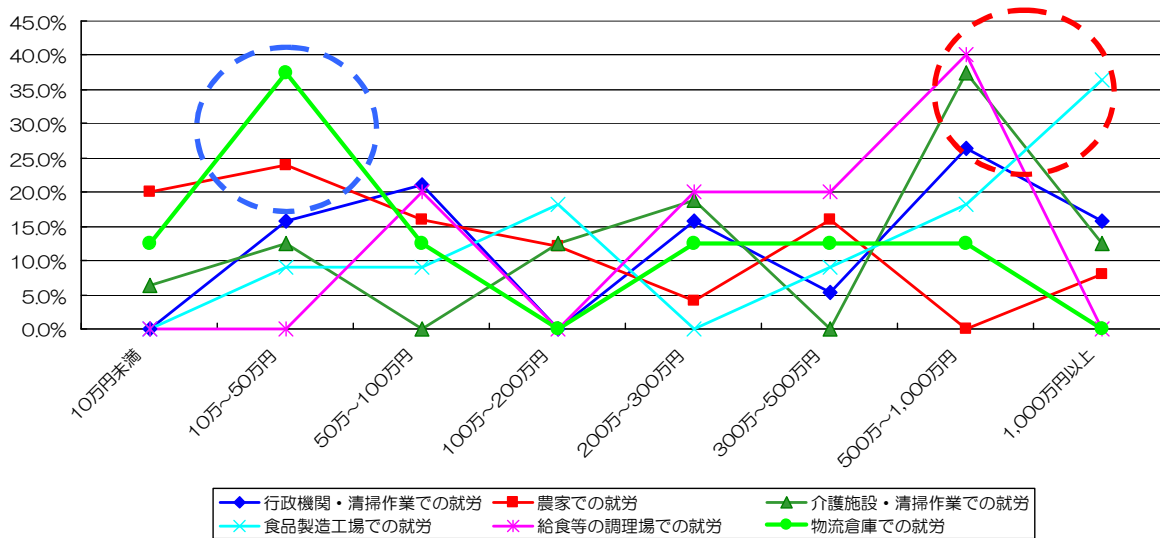
選択項目	総計		就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援		日中活動支援(生活介護等)		地域生活支援(地活等)		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
農家での就労	27	10.3%	1	3.7%	18	11.7%	1	11.1%	0	0.0%	1	25.0%	6	9.1%	0	0.0%
J A等農業団体での就労	7	2.7%	0	0.0%	4	2.6%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
食品製造工場での就労	11	4.2%	0	0.0%	7	4.5%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.5%	0	0.0%
非食品製造工場での就労	6	2.3%	0	0.0%	5	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
クリーニング企業での就労	4	1.5%	0	0.0%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
印刷企業での就労	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
IT企業での就労	3	1.1%	1	3.7%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
行政機関・事務作業での就労	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
行政機関・清掃作業での就労	19	7.3%	2	7.4%	14	9.1%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
行政機関・草刈作業での就労	5	1.9%	0	0.0%	3	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
介護施設・清掃作業での就労	18	6.9%	2	7.4%	10	6.5%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	5	7.6%	0	0.0%
介護施設・草刈作業での就労	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
マヨネーズ等・清掃作業での就労	15	5.7%	2	7.4%	7	4.5%	1	11.1%	0	0.0%	1	25.0%	4	6.1%	0	0.0%
ワックス等・清掃作業での就労	11	4.2%	3	11.1%	5	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.5%	0	0.0%
その他・事務作業での就労	1	0.4%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他・清掃作業での就労	31	11.9%	7	25.9%	16	10.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	12.1%	0	0.0%
個人宅・除雪作業での就労	6	2.3%	0	0.0%	4	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
その他・除雪作業での就労	3	1.1%	0	0.0%	3	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
給食等の調理場での就労	6	2.3%	0	0.0%	5	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
飲食店・カフェでの就労	7	2.7%	1	3.7%	4	2.6%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
小売店舗での就労	6	2.3%	1	3.7%	5	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
物流倉庫での就労	9	3.4%	1	3.7%	7	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
林業・造園での就労	2	0.8%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
漁業での就労	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ホスティング・配達での就労	27	10.3%	4	14.8%	14	9.1%	1	11.1%	1	100.0%	1	25.0%	6	9.1%	0	0.0%
その他	36	13.8%	1	3.7%	19	12.3%	1	11.1%	0	0.0%	1	25.0%	14	21.2%	0	0.0%
無回答	118	-	6	-	75	-	0	-	6	-	8	-	23	-	0	-
合計	379	-	33	-	229	-	9	-	7	-	12	-	89	-	0	-
回答者数(合計-無回答)	261	100.0%	27	100.0%	154	100.0%	9	100.0%	1	100.0%	4	100.0%	66	100.0%	0	100.0%

- 『実施グループ』における現在取り組んでいる施設外就労と事業種別の関係では、『就労継続支援A型』で、【その他・清掃作業での就労】が25.9%、【ホスティング・配達作業での就労】が14.8%、【ワックス等・清掃作業での就労】11.1%と高くなっている。一方、『就労継続支援B型』では、【その他】12.3%、【農家での就労】が11.7%、【その他・清掃作業での就労】が10.4%で高い状況。

④「現在取組んでいる施設外就労」と「昨年度の施設外就労関係収入」の関係

選択項目	総計		10万円未満		10万～50万円		50万～100万円		100万～200万円		200万～300万円		300万～500万円		500万～1,000万円		1,000万円以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
農家での就労	27	100.0%	5	20.0%	6	24.0%	4	16.0%	3	12.0%	1	4.0%	4	16.0%	0	0.0%	2	8.0%	2	-
J.A等農業団体での就労	7	100.0%	0	0.0%	3	42.9%	0	0.0%	3	42.9%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
食品製造工場での就労	11	100.0%	0	0.0%	1	9.1%	1	9.1%	2	18.2%	0	0.0%	1	9.1%	2	18.2%	4	36.4%	0	-
非食品製造工場での就労	6	100.0%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	1	16.7%	0	0.0%	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	0	-
クリーニング企業での就労	4	100.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
印刷企業での就労	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
IT企業での就労	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
行政機関・事務作業での就労	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
行政機関・清掃作業での就労	19	100.0%	0	0.0%	3	15.8%	4	21.1%	0	0.0%	3	15.8%	1	5.3%	5	26.3%	3	15.8%	0	-
行政機関・草刈作業での就労	5	100.0%	1	20.0%	1	20.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
介護施設・清掃作業での就労	18	100.0%	1	6.3%	2	12.5%	0	0.0%	2	12.5%	3	18.8%	0	0.0%	6	37.5%	2	12.5%	2	-
介護施設・草刈作業での就労	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
マユコ等・清掃作業での就労	15	100.0%	0	0.0%	1	8.3%	2	16.7%	2	16.7%	2	16.7%	3	25.0%	1	8.3%	1	8.3%	3	-
カマビル等・清掃作業での就労	11	100.0%	1	9.1%	0	0.0%	1	9.1%	2	18.2%	3	27.3%	1	9.1%	2	18.2%	1	9.1%	0	-
その他・事務作業での就労	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他・清掃作業での就労	31	100.0%	3	10.7%	4	14.3%	1	3.6%	5	17.9%	3	10.7%	5	17.9%	4	14.3%	3	10.7%	3	-
個人宅・除雪作業での就労	6	100.0%	0	0.0%	1	16.7%	4	66.7%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他・除雪作業での就労	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	-
給食等の調理場での就労	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	2	40.0%	0	0.0%	1	-
飲食店・カフェでの就労	7	100.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	3	60.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	-
小売店舗での就労	6	100.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	-
物流倉庫での就労	9	100.0%	1	12.5%	3	37.5%	1	12.5%	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	1	-
林業・造園での就労	2	100.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
漁業での就労	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
ホステング・配達での就労	27	100.0%	2	7.4%	5	18.5%	4	14.8%	3	11.1%	5	18.5%	3	11.1%	3	11.1%	2	7.4%	0	-
その他	36	100.0%	1	3.2%	8	25.8%	5	16.1%	5	16.1%	3	9.7%	1	3.2%	6	19.4%	2	6.5%	5	-
無回答	118	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	117	-
合計	379	100.0%	19	7.9%	42	17.4%	34	14.0%	32	13.2%	28	11.6%	32	13.2%	35	14.5%	20	8.3%	137	-
回答者数(合計-無回答)	261	100.0%	19	7.9%	42	17.4%	33	13.7%	32	13.3%	28	11.6%	32	13.3%	35	14.5%	20	8.3%	20	-

<抜粋比較グラフ>

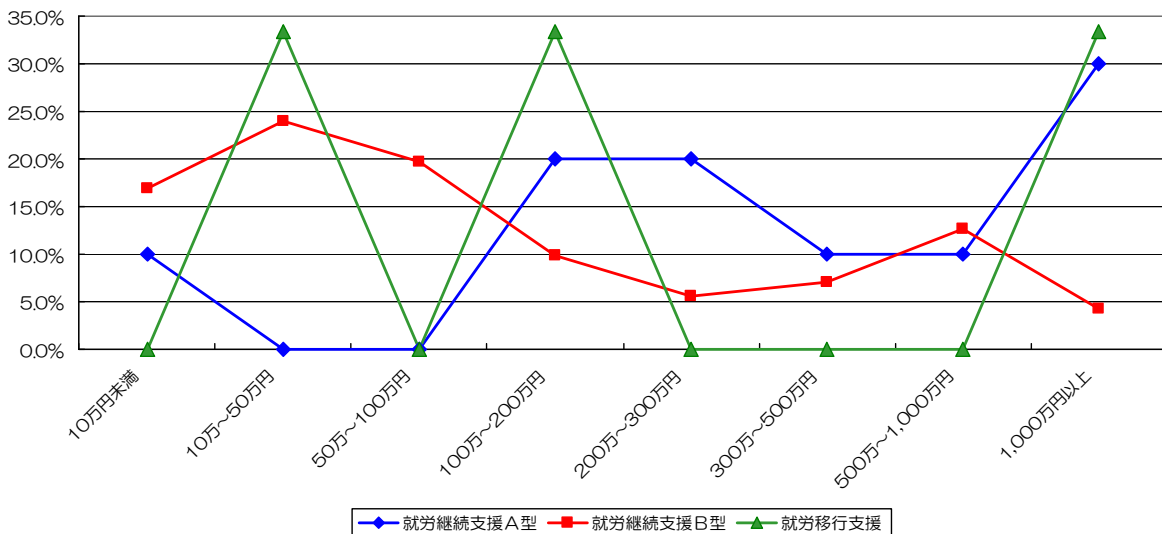


- 『実施グループ』における現在取組んでいる施設外就労と収入の関係では、『農家での就労』『物流倉庫での就労』で、【10万～50万円】の比率が高く、高収入層の比率は高くない状況である。一方、『行政機関・清掃作業での就労』『介護施設・清掃作業での就労』『給食等の調理場での就労』『食品製造工場での就労』は、500万円以上層で比率が高くなっている。

⑤「昨年度の施設外就労関係収入」と「事業所種別」

選択項目	総計		就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援		日中活動支援 (生活介護等)		地域生活支援 (地活等)		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
10万円未満	15	13.3%	1	10.0%	12	16.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%
10万～50万円	24	21.2%	0	0.0%	17	23.9%	1	33.3%	0	0.0%	1	50.0%	5	19.2%	0	0.0%
50万～100万円	17	15.0%	0	0.0%	14	19.7%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%
100万～200万円	13	11.5%	2	20.0%	7	9.9%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.5%	0	0.0%
200万～300万円	10	8.8%	2	20.0%	4	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	15.4%	0	0.0%
300万～500万円	11	9.7%	1	10.0%	5	7.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	4	15.4%	0	0.0%
500万～1,000万円	14	12.4%	1	10.0%	9	12.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	15.4%	0	0.0%
1,000万円以上	9	8.0%	3	30.0%	3	4.2%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%
無回答	128	-	7	-	79	-	2	-	6	-	8	-	26	-	0	-
合計	241	-	17	-	150	-	5	-	7	-	10	-	52	-	0	-
回答者数 (合計－無回答)	113	100.0%	10	100.0%	71	100.0%	3	100.0%	1	100.0%	2	100.0%	26	100.0%	0	100.0%

<収入別事業種比率>



- 次に『実施グループ』における施設外就労の収入と事業種別の関係を確認したところ、低収入層の比率が高い『就労継続支援B型』と、高収入層で比率が高くなる『就労継続支援A型』が、ほぼ正反対のカーブ曲線になっていることが確認できた。元々の事業特性や利用者の障がい程度などから当たり前の結果ではあるが、取組む施設外就労での収入からも特徴がはっきりと現れた。

# 3. まとめ

## 1) 各調査グループの回答概要

### ①回答者全体の回答

- 回答者の事業種別は、【就労継続支援B型】が62.2%、【就労継続支援A型】が7.1%。【就労移行支援】が2.1%、【その他】の21.6%は多機能型。
- 施設外就労の取組み状況は、【施設外就労を実施している】が51.5%で半数以上、【現在はしていないが今後実施を検討している】が14.9%、【現状も実施していないし今後も予定はない】が31.5%。

### ②施設外就労・実施グループ

- 現在、取組んでいる仕事の内容は、【その他・清掃作業】が25.2%、【農家で就労】【ホスティング・配達】がともに22.2%で上位。但し、全体を通して、最も多くなった作業種は清掃関連。その他の記述回答では、宿泊施設の清掃やシーツ回収、解体作業、選別作業など様々な業務が挙げられている。
- 始めたきっかけは、【委託元より直接依頼】が50.4%で最も高くなり、【営業活動で得た】が26.4%、【行政機関からの紹介】が24.8%。
- 施設外就労の頻度は、【ほぼ毎日】が66.1%、【週に2~3回】が20.2%、【年に1回】が5.6%、【週に1回】が4.8%。
- 施設外就労の作業時間は、【4時間程度】が最も高く37.1%、【6時間程度】が25.8%、【2時間程度】が20.2%。
- 施設外就労の人数規模は、【4~5人】が37.1%、【2~3人】が26.6%、【10人以上】も意外に高く19.4%。
- 施設外就労の移動手段は、【施設で送迎】が約7割の69.4%、【利用者が自身で移動】が21.0%。
- 施設外就労の作業委託費算定方法は、【完成出来高契約】が29.0%、【時間給契約】が25.8%、【月額契約】が24.2%という状況。その他の記述回答では、日額、シーズン契約、年間契約などの回答も見られた。
- 昨年度の施設外就労関係収入は、【10万~50万円】が19.4%で最も高く、続く【50万~100万円】が13.7%、【10万円未満】が12.1%、【500万~1,000万円】が11.3%。
- 事業所全体の平均工賃（月額）では、【1万~1.5万円】が25.0%、【2万~3万円】が23.4%とそれぞれ約1/4を占め、【1.5万~2万円】の12.9%が続いている。
- 推進意向では、【積極的に推進】が30.6%、【条件が整えば】が29.8%、と推進派が6割を占めている一方、【現状維持】も27.4%と高くなった。
- 施設外就労の問題・課題では、【職員の人的不足】が41.1%で最も大きな問題となっていることが分った。また、【ネットワークが欲しい】も一定数存在し、横の繋がりが求められているようだ。
- 『食品系自主事業』は124件中43件が取組んでいるが、【パン・ラスク】が19件、【お菓子類】が13件、【お弁当・惣菜】が11件で続いている。
- 『非食品系自主事業』は61件で実施。【工芸・雑貨類】が31件で最多、【アクセサリ類】が19件、【布・革製品】が16件、【縫製作業】が13件、となっている。
- 『施設内下請』は85件で実施。【箱折り】が41件、【袋詰め】が38件、【封入・配布作業】が31

件、【その他下請】が30件、【組立・内職作業】が27件、と多くの事業所が取り組んでいる状況。

- ・『店舗運営』は35件で実施。【喫茶店】が17件、【商品販売】が16件、【食堂】が9件、【その他店舗】が5件。
- ・『IT系サービス』は19件で実施。【データ入力】が16件、【WEB作成】が5件、【その他IT】が5件。
- ・『農業自主事業』は24件で実施。【野菜類】が19件、【穀物類】が6件、【花卉類】が5件、【その他農業】が3件、【畜産類】が1件。

### ③施設外就労・実施検討中グループ

- ・現在施設外就労をしていない理由は、【職員数が不足】が60.6%と6割を超える回答となった。以下【施設外就労の出来る利用者がいない】が36.4%、【知識経験が不足】が27.3%、【既存作業で余裕が無い】が24.2%。
- ・『食品系自主事業』は36件中10件が取り組んでいるが、【パン・ラスク】が5件、【お菓子類】が4件、【その他食品製造】が3件。
- ・『非食品系自主事業』は18件で実施。【工芸・雑貨類】が8件、【アクセサリ類】が7件、【木工製品】【布・革製品】【縫製作業】がともに3件。
- ・『施設内下請』は20件で実施。【箱折り】が9件、【袋詰め】【封入・配布作業】【その他下請】がともに8件、【組立・内職作業】が6件、【リサイクル】が5件。
- ・『店舗運営』は3件で実施。【喫茶店】【商品販売】【食堂】がそれぞれ1件。
- ・『IT系サービス』は8件で実施。【データ入力】が6件、【その他IT】が2件、【WEB作成】が1件。
- ・『農業自主事業』は7件で実施。【野菜類】が5件、【花卉類】が2件。
- ・事業所全体の平均工賃（月額）は、【5千～1万円】【1万～1.5万円】がともに27.8%、【2万～3万円】【3万～5万円】がともに11.1%で続いている。
- ・生産活動の問題・課題は、【利用者の高齢化】が16.7%でトップだが、以降は商品に関する問題が続いており、【販売するチャンスが少ない】が13.9%、【・・・作っても売れない】が11.1%、【・・・開発力が無い】が8.3%。
- ・施設外就労の推進意向では、【今は無理だが条件を整えば検討したい】が最も高く、約7割の69.4%に上っており、【職員の人手不足が解消されたら検討したい】が16.7%。
- ・施設外就労に関する興味のある仕事の種別では、【農家での就労】が29.0%、【行政機関・清掃作業での就労】が25.8%、【非食品製造工場での就労】【ホスティング・配達での就労】がともに22.6%で上位。

### ④施設外就労・検討しないグループ

- ・現在施設外就労をしていない理由は、【既存作業で余裕が無い】が49.3%、【施設外就労の出来る利用者がいない】が48.0%、【職員数が不足】が45.3%、で、それぞれ4割を超える意見となった。また、【送迎環境が整わない】も24.0%と一定数以上に上っている。記述回答では、「利用者の希望や適正を鑑みて、取り組んでいない」ことが伺える。
- ・『食品系自主事業』は76件中28件が取り組んでいる状況で、【パン・ラスク】が17件、【お菓子類】

- が 15 件、【お弁当・惣菜】【その他食品製造】がともに 6 件で続いている。
- ・『非食品系自主事業』は 34 件で実施。【木工製品】【工芸・雑貨類】がともに 11 件、【クリーニング】が 10 件、【布・革製品】が 7 件。
  - ・『施設内下請』は 31 件で実施。【箱折り】【袋詰め】【その他下請】がともに 11 件、【封入・配布作業】が 8 件、【組立・内職作業】が 6 件、【リサイクル】が 4 件で続いている。
  - ・『店舗運営』は 21 件で実施。【喫茶店】が 12 件、【商品販売】が 8 件、【食堂】が 4 件。
  - ・『IT系サービス』は 7 件で実施。【データ入力】が 6 件、【その他IT】が 3 件、【WEB作成】が 1 件。
  - ・『農業自主事業』は 20 件で実施。【野菜類】が 13 件、【穀物類】【花卉類】【畜産類】がともに 4 件。
  - ・事業所全体の平均工賃（月額）では、【1万～1.5万円】が 21.1%、【5千～1万円】が 18.4%、と頭一つ高くなっている。
  - ・生産活動の問題・課題は、【職員の人数が足りない】が 19.7%、【利用者の高齢化】が 17.1%、【利用者の重度化】が 13.2%と上位の意見。『実施検討中グループ』とは対照的に、商品に関する問題は少数となった。
  - ・施設外就労の推進意向では、【今は無理だが条件が整えば検討したい】が約 4 割の 39.5%となった一方、【積極的に施設外就労を推進するつもりはない】が 34.2%と高くなった。このことから、『検討しないグループ』では施設外就労をしない理由としては、職員のリソース不足以前に、取組み事業として選択していないのだということが推定できる。
  - ・施設外就労に関する興味のある仕事の種別では、【農家での就労】が 35.0%と頭一つ高くなった。以下【介護施設・清掃作業での就労】が 21.7%、【JA等農業団体での就労】【食品製造工場での就労】がともに 15.0%で続いている。すぐには検討しないが、農業関連の仕事には興味があるようだ。

## ⑤クロス集計分析

- ・「施設外就労の状況」と「事業所全体の平均工賃（月額）」の関係  
『実施グループ』は他のグループと比べて、【2万～3万円】の比率が高くなっており、逆に【5千～1万円】の比率が低くなっていることが分る。
- ・「施設外就労の状況」と「事業種別」の関係  
『就労移行支援』では全ての事業所が施設外就労を実施。『就労継続支援A型』は 73.3%が実施している状況。『就労継続支援B型』は 51.0%が実施しているが、30%は今後も実施するつもりが無いと答えている。
- ・「現在取組んでいる施設外就労」と「事業種別」の関係  
『実施グループ』における現在取組んでいる施設外就労と事業種別の関係では、『就労継続支援A型』で、【その他・清掃作業での就労】が 25.9%、【ホスティング・配達作業での就労】が 14.8%、【ダブル等・清掃作業での就労】11.1%と高くなっている。一方、『就労継続支援B型』では、【その他】12.3%、【農家での就労】が 11.7%、【その他・清掃作業での就労】が 10.4%で高い状況。
- ・「現在取組んでいる施設外就労」と「昨年度の施設外就労関係収入」の関係  
『実施グループ』における現在取組んでいる施設外就労と収入の関係では、『農家での就労』『物流倉庫での就労』で、【10万～50万円】の比率が高く、高収入層の比率は高くない状況である。一

方、『行政機関・清掃作業での就労』『介護施設・清掃作業での就労』『給食等の調理場での就労』『食品製造工場での就労』は、500万円以上層で比率が高くなっている。

・「昨年度の施設外就労関係収入」と「事業所種別」

『実施グループ』における施設外就労の収入と事業種別の関係を確認したところ、低収入層の比率が高い『就労継続支援B型』と、高収入層で比率が高くなる『就労継続支援A型』が、ほぼ正反対のカーブ曲線になっていることが確認できた。元々の事業特性や利用者の障がい程度などから当たり前の結果ではあるが、取組む施設外就労での収入からも特徴がはっきりと現れた。

## 2) 本調査から考察する現状

### <施設外就労における北海道農業との関わり>

- ①実際に、農業現場で施設外就労が実施されている状況としては、【農家での就労】が22.0%、【JA等農業団体での就労】が5.7%で、合計比率は26.1%（2件は両方で就労しているため補正值）となっており、本調査においては**全体の1/4が農業関連への就労**となっている状況である。
- ②今は実施していないが興味のある施設外就労を聞いたところ、『実施検討中グループ』で【農家での就労】が29.0%、【JA等農業団体での就労】が16.1%、『検討していないグループ』でも【農家での就労】が35.0%、【JA等農業団体での就労】が15.0%と、非常に関心が高い状況である。
- ③しかし、**収入面では、他の業界と比べると高くないのが現状**である。原因の一つには、農業は冬場の問題を抱えており、年間を通して働くことが出来ないことが大きく影響している。年間を通して安定的に働ける【食品製造工場での就労】【給食等の調理場での就労】【行政及び介護施設での清掃作業での就労】は、年間収入500万円を超える比率が高くなっている。

### <事業所の状況について>

- ① **施設外就労を実施している方が高い収入を得やすい傾向**がある。
- ② 施設外就労の実施状況を最多回答でモデル化すると、【ほぼ毎日】（66.1%）で、【4時間程度】（37.1%）、【4～5人】（37.1%）がグループとなっており、現場には【施設で送迎】（69.4%）、報酬契約は【完成出来高契約】（29.0%）となる。
- ③ **「職員の人的資源不足」「利用者の高齢化」「利用者の重度化」が、施設外就労を広げられない制限要因となっている可能性**が高い。
- ④全体の51.5%が施設外就労を実施しているものの、31.5%は今後も実施する予定が無いと回答しているため、**『施設内で実施できる』委託作業も積極的に検討推進していくことが重要**となる。



別添資料

「農福連携」に関するアンケート調査結果

## 「農福連携」に関するアンケート調査結果

### 1) 調査の概要

#### ①調査内容

本調査は、「農福連携促進事業」において推進する農業者・農業団体と就労支援事業所のマッチング支援業務を円滑に遂行するために、道内の農業協同組合の集出荷施設における農福連携実施の意向ならびに労働力不足の状況を把握し、今後の事業展開における基礎資料となるよう調査・分析を実施するものである。内容としては、共通質問として「地元における農福連携の知名度」や「出荷施設における人員不足の状況」などを調査すると共に、「農福連携の実践状況」について確認を行い、農福連携の実践状況の内容（①実践している、②検討している、③予定していない）に応じて質問内容を変える組み立てとしている。

#### ②調査対象

北海道内の農業協同組合 108件

#### ③調査方法

送付方法：営農推進部局ご担当者様宛の郵送によるアンケート用紙の送付

回収方法：FAX およびメールによる

実施期間：令和元年7月29日（月）投函

#### ④回収数：52農協（回収率49.5%）

2) アンケート調査結果

共通質問

Q1. 農福連携の知名度	
農福連携の取組みが進められており、よく知られている	8
知られているが取組みは進んでいない	38
知られていない	4

Q2. 農福連携に関するセミナーや情報提供等に対する要望	
農福連携に関する情報提供	26
農福連携に関するセミナー	16
福祉事業所職員との意見交換会	7
福祉事業所の見学会	1
農福連携を実践している農場、農協施設への事例視察	20
その他	0

Q3. 選果場・集出荷施設の有無	
ある	43
ない	9

Q4-1. 人員が不足する時期											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
4	4	5	4	3	12	22	30	35	29	14	6

Q4-2. 人員が不足する程度	
不足していない	6
1 ～ 20名	27
21 ～ 30名	5
31 ～ 50名	3
51 ～ 100名	1
100名以上	1

Q5. 農協施設での障がい者活用の意向	
既に障がい者を雇用もしくは施設外就労先として受け入れている	7
まだ活用していないが条件が整えば検討したい	22
活用する予定はない	14

すでに障がい者を雇用もしくは施設外就労先として受け入れている組合様向け質問  
 (共通質問 Q5 で「既に障がい者を雇用もしくは施設外就労先として受け入れている」と回答)

Q1. 取扱品目	
米麦雑穀蕎麦	4
葉物類	4
果菜類 (軽量)	6
果菜類 (重量)	3
馬鈴薯・玉ねぎ	4
イモ類・その他根菜類	3
果物	2
花き	2
その他	0

Q2. 労働力不足などの課題を抱えている作業ならびに障がい者や福祉事業所に依頼している作業	
納品物の開封	0
選別	1
洗浄 (水洗・拭取り)	1
調整 (カット)	1
調整 (個数合わせ)	0
調整 (重さ長さ計測)	1
箱・袋・ネット詰め	5
ラベル・シール・テープ貼り	3
箱折	4
製品運搬	2
清掃	1
その他	0

Q3. 現在実施されている福祉事業所・障がい者との取り組みについての課題	
作業日数や時間が短い	2
作業の習熟度が遅い	0
期待した成果・コストパフォーマンスに達していない	1
その他	2

その他の回答：

「突発的な作業を依頼できない」、「人員確保の面では助かっている」

Q4. さらに農福連携の取組みを進めていく為に必要と考えること	
組合職員の知識の向上	6
活用ノウハウや成功事例の活用	1
サポートを行う福祉事業所側人員の増員	4
作業体系の見直し	1
その他	0

障がい者をまだ活用していないが条件を整えば検討したいとお考えの組合様向けの質問  
(共通質問 Q5 で「まだ活用していないが条件を整えば検討したい」と回答)

Q1. 取扱品目	
米麦雑穀蕎麦	13
葉物類	12
果菜類 (軽量)	9
果菜類 (重量)	10
馬鈴薯・玉ねぎ	13
イモ類・その他根菜類	11
果物	1
花き	6
その他	1

Q2. 労働力不足などの課題を抱えている作業ならびに障がい者や福祉事業所に依頼することを検討している作業	
納品物の開封	0
選別	13
洗浄 (水洗・拭取り)	4
調整 (カット)	2
調整 (個数合わせ)	5
調整 (重さ長さ計測)	3
箱・袋・ネット詰め	11
ラベル・シール・テープ貼り	5
箱折	7
製品運搬	1
清掃	3
その他	3

Q3. 障がい者との取り組みを始めるにあたり、課題と考えていること	
障がい者との接し方がわからない	7
養護学校を含め福祉事業者との繋がりが無い	7
組織内に窓口となる部署が無い	6
受け入れのための設備（トイレや休憩所）が整っていない	9
どのような作業をやらしてもらえばいいかわからない	13
委託費の設定がわからない	9
その他	3

その他の回答：

- 「選別ラインに入って作業ができるか不安」
- 「どの程度仕事ができるのか個人差が大きそう」
- 「通常に働いている人に理解を求めるのに苦労しそう」
- 「雇用期間」
- 「選果基準の明確化」
- 「選果業務の委託方式」

障がい者の活用を予定していない組合様向け質問  
（共通質問 Q5 で「活用する予定はない」と回答）

Q1. 取扱品目	
米麦雑穀蕎麦	10
葉物類	4
果菜類（軽量）	3
果菜類（重量）	3
馬鈴薯・玉ねぎ	9
イモ類・その他根菜類	3
果物	1
花き	3
その他	0

Q2. 労働力不足などの課題を抱えている作業	
納品物の開封	0
選別	5
洗浄（水洗・拭取り）	0
調整（カット）	0

調整（個数合わせ）	0
調整（重さ長さ計測）	0
箱・袋・ネット詰め	2
ラベル・シール・テープ貼り	0
箱折	1
製品運搬	2
清掃	0
その他	0

Q3. 障がい者の活用を予定していない理由	
将来に渡って十分な労働力が足りている	1
障がい者が従事できる作業がない	7
作業行程に外注できる物がない	3
事業計画に無い	2
農福連携に関する相談先がわからない	1
手がかかるイメージがある	3
その他	0





### 3) まとめ

アンケート調査の結果、「農福連携」という言葉が知られていないとの回答は8%であり、農福連携自体の知名度は高くなっていると思われる。

JA 選果場での労働力の不足感については、農作物の収穫時期とリンクして6月から9月に向けてピークがあり11月まで続いている。福祉事業所側の観点からいえば周年作業があることが望ましいが、現実的には冬場も継続して仕事のあるJA 選果場は少ないようである。12月以降の冬季から初春の時期においても不足感があると回答しているJAが5か所程度あるが、クロス集計の結果から見ると取扱い品目は米穀や玉ねぎイモ類がほとんどであり、フォークリフト等の機械作業を伴う貯蔵性作物の出荷作業やイモ・玉ねぎの選果作業において労働力が不足しているのではないかと推察される。

不足している人数については、過半数は20名以内となっているが、50名、100名規模で不足していると回答したJAもあり、労働力不足が大きな課題となっている一面が見られた。

既に農福連携を実践しているJA 選果場では、箱折とパッケージング作業を依頼しているところが多く、更なる農福連携の推進には組合職員の知識向上や福祉事業所の人員増員が必要との回答が多かった。条件が整えば農福連携の実施を検討していると回答したJAにおいては、選別・パッキング行程に課題を抱えており農福連携の実施を検討しているところが多く、農福連携の実施に対する課題としては、委託作業の設定や工賃の設定、組織内の体制、福祉事業所の繋がりがいいことなど幅広く課題を抱えている。農福連携の実践を阻む問題点の解決のためには、福祉事業所からのサポートを求める回答が最も多かった。農福連携の実施を検討していないと回答したJAにおいては、その理由として従事できる作業が無いと回答が最も多かった。

#### 資料 アンケート調査書

「農福連携」に関するアンケート調査ご協力のお願ひ



## 質問用紙 I

Q4. 貴組合の施設では、作業に従事する人員不足が課題となっていますか？

課題となっている場合は、不足となる時期（○を）と、不足する人員の規模をお答えください。

不足する時期： 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

- 不足する規模：  ① 不足していない  
 ② 1 ～ 20名  
 ③ 21 ～ 30名  
 ④ 31 ～ 50名  
 ⑤ 51 ～ 100名  
 ⑥ 100名以上

Q5. 貴組合の施設で行う作業において、障がい者を活用することをどう考えていますか？

- ①既に障がい者を雇用もしくは施設外就労先として受け入れている ⇒ (質問用紙Ⅱにお進み下さい)  
 ②まだ活用していないが条件が整えば検討したい ⇒ (質問用紙Ⅲにお進み下さい)  
 ③活用する予定はない ⇒ (質問用紙Ⅳにお進み下さい)



## 質問用紙Ⅱ

Q4. 貴組合の施設においてさらに農福連携の取組みを進めていく為に必要と考えることは何ですか？

- ①組合職員の知識の向上
- ②活用ノウハウや成功事例の活用
- ③サポートを行う福祉事業所側人員の増員
- ④作業体系の見直し
- ⑤その他 ( )

アンケートの項目は以上です。ご協力ありがとうございました。  
質問用紙Ⅰ、質問用紙Ⅱをご返信ください。





**質問用紙Ⅳ 【障がい者の活用を予定していない組合様向け質問】**

Q1. 貴組合の施設にて取り扱っている品目をお答え下さい。

- ①米麦雑穀蕎麦
- ②葉物類 《例》ほうれん草、ねぎ、ブロッコリー等
- ③果菜類（軽量）《例》ミニトマト、キュウリ、スナップエンドウ等
- ④果菜類（重量）《例》南瓜、メロン等
- ⑤馬鈴薯・玉ねぎ
- ⑥イモ類・その他根菜類《例》長芋、ごぼう、大根、にんじん、ゆり根等
- ⑦果物
- ⑧花き
- ⑨その他（ ）

Q2. 貴施設において労働力不足などの課題を抱えている作業についてお答え下さい。

作業名	課題のある作業
納品物の開封	
選別	
洗浄（水洗・拭取り）	
調整（カット）	
調整（個数合わせ）	
調整（重さ長さ計測）	
箱・袋・ネット詰め	
ラベル・シール・テープ貼り	
箱折	
製品運搬	
清掃	
その他（ ）	

Q3. 貴組合の施設において障がい者の活用を予定していない理由は何ですか？

- ①将来に渡って十分な労働力が足りている
- ②障がい者が従事できる作業がない
- ③作業行程に外注できる物がない
- ④事業計画に無い
- ⑤農福連携に関する相談先がわからない
- ⑥手がかかるイメージがある
- ⑦その他（ ）

アンケートの項目は以上です。ご協力ありがとうございました。

質問用紙Ⅰ、質問用紙Ⅳをご返信ください。

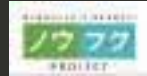


別添資料

成果報告書資料



# 農福連携促進事業委託業務 成果報告会



農福連携促進事業委託業務受託コンソーシアム

1

## 農福連携促進事業委託業務

### 農福連携促進事業委託業務 受託コンソーシアム

一般財団法人北海道農業企業化研究所  
(HAL財団)  
社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
(道社協)  
北のめぐみ愛食フェア実行連絡会

## 目的

障がいのある方の工賃向上を図るため、障がい福祉サービス事業者の農業への参入を支援するとともに、農業に取り組む事業所による販売イベント等を開催する。

2



事業受託期間

令和元年6月25日～12月18日



- ①農福連携マルシェの開催
- ②農福連携マッチング支援
- ③成果報告会の開催



3

## 農福連携促進事業委託業務



- ①農福連携マルシェの開催  
北のめぐみ愛食フェア

- ②農福連携マッチング支援  
HAL財団・道社協



4



## 農福連携促進事業委託業務

### ①農福連携マルシェの開催



5

## 農福連携マルシェのねらい

- ・ 農産品、農産加工品の生産販売による工賃向上を狙うには販売する場所の確保と市場流通できる商品の育成が必要
- ・ そのためには越えなければいけないハードルがある



- ・ マルシェ※を開催し商品販売の場を提供するとともに販売経験を行うことで商品力の向上を促す

※農作物、水産物、畜産物および加工品、工芸品などを  
持ち寄って販売する市場



6

## 農福連携マルシェの開催パターンと考え方・意義

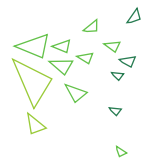


① 新規開拓	① 農福連携マルシェ知名度アップ
② 「農業者」との連携	② 他のイベントとの連携
③ 開催サポート	③ 「社会貢献」を目指す流通業との連携
	④ 身近なところからの販売チャンスの拡大



7

開催パターン・目的	開催場所	相乗り・共同開催
市販ルート開拓 新規開拓 販売チャンネル多様化	帯広	農業高校食彩フェア
新規開拓 地元の取組サポート	留萌	
新規開拓 震災復興支援	室蘭	西いぶりファーマーズマーケット
商品・販売力向上	札幌 チカホ	農家がつたうまいものフェスティバル
販売チャンネル多様化	札幌 赤レンガ	北のめぐみ愛食フェア
常設販売ルート開拓 商品力向上	札幌 商談会	



8

他のイベントとの連携・・・農業高校「食彩フェア」の開催  
イトーヨーカ堂帯広店（10月5、6日）



市販ルートの開拓～大型店に出店するための製造工程・表示等の確認  
新規開拓～特別支援学校への出店の呼びかけ  
共同開催に伴う十勝・根釧地域の農業高校との交流  
販売チャンネルの多様化～大型店との商談、販売手段の確認

帯広店 出店事業所リスト		主な商品
晩成学園	就労継続支援B型事業所	じゃいも・かぼちゃ他
帯広はちす園	就業移行支援・就労継続支援B型事業所	しいたけ、パン
帯広やわらぎ園	障がい者生活介護事業所	木工品
デイセンターばんせい	就労継続支援B型事業所	ハム、ソーセージ
パン工房栗の木	就労継続支援B型事業所	ラスク・ふすま粉・全粒粉
陽風	就労継続支援A型・B型事業所	はちみつ
NPO法人畑とキッチン	就労継続支援A型事業所	トマトジュース、トマトソース
ほべつ就労支援センター	就労継続支援B型事業所	しいたけ
帯広ケア・センター	多機能型福祉サービス事業所	ごぼう茶・十勝サツマイモのスイーツ・じゃがいも・かぼちゃ・玉ねぎ・トウモロコシほか
NPO法人どりーむ・わーくす	就労継続支援B型事業所	ブドウ



新規開拓・地元取り組みのサポート

留萌合同庁舎道民ホール 開催 (8月9日)



地元取り組みのサポート～農福連携を地域で進めている団体のサポートおよび雇用機会を提供している農場の生産物販売支援

新規開拓～定例で販売事業を行っている事業所に対する支援のほか留萌以外の地域の事業所に場所の提供と販売チャンスのありどころの紹介

留萌 出店事業所リスト		主な商品
NPO法人るもい農業農援隊	雇用機会の提供 障がい者の派遣	切り干し大根、野菜
NPO法人ほっとスペースHuG	就労継続支援B型事業所	カステラ スイーツ 唐揚げ
NPO法人ひまわり会	就労継続支援B型事業所	野菜
ほっぶすてっぶ	就労継続支援B型事業所	パン
NPO法人留萌ふれあいの家	就労継続支援B型事業所	野菜、石けん
畑とキッチン	就労継続支援A型事業所	トマト 各種野菜 大豆 味噌 他
大村農場	雇用機会の提供	トマト きゅうり ジャガイモ 他



震災復興支援・新規開拓 他のイベントに参加

## 室蘭市中島本町1丁目 開催 (9月15日)



13

## 室蘭市中島町1丁目ピアキャビン横広場（西いぶりファーマーズ参加）9月15日

胆振東部地震支援～本来は東胆振での開催を考えたが、各町村とも復興半ばで開催場所の確保が難しかったので、昨年HAL農業賞を受けた「西いぶりファーマーズマーケット実行委員会」と連絡を取り、参加させてもらうことになった。

被災した各地域の福祉事業所にあたり、参加を依頼したが、「商品をそろえる・販売従事者を派遣する」などの点で対応できないことがわかり、結果的にはコンソーシアムによる委託販売の形で実施した。

室蘭 出店事業所リスト		主な商品
ワークランドのぞみ	多機能（生活介護・B型）	しそジュース
美々川福祉会	就労継続支援B型	はすかつぶジャム・乾燥椎茸
緑竜アベラス	就労継続支援B型	椎茸・乾燥椎茸
畑とキッチン	就労継続支援A型	トマト
陽風	就労継続支援A型・B型	はちみつ



14



商品販売力向上

## ノウフクマルシェ & 農家が作ったうまいものフェスティバル2019

さっぽろ地下歩行空間北3条広場西開催 (8月31日、9月1日)



## さっぽろチカホ 開催 (8月31日、9月1日)



商品・販売力の向上～六次化商品を手掛けている農業者や加工事業所との共催による  
 商品・販売力の学習  
 農福連携知名度のアップ～地下歩行空間（チカホ）の通行者が1日5万人と言われている  
 中でのノウフクマルシェの紹介による知名度のアップ

ノウフクマルシェ&農家で作ったうまいものフェスティバル2019 出店事業所		主な商品
NPO法人地域で楽しく暮らすネットワーク	就労継続支援B型事業所	トウモロコシ
NPO法人大地ふくし会	就労継続支援A型事業所	黒にんにく
ワークセンター栗の木	就労継続支援B型事業所	パン ステックブラウン 全粒ラスク 他
陽風	就労継続支援A型・B型事業所	はちみつ クッキー カップケーキ
わーくひまわり	就労継続支援B型事業所	野菜各種
NPO法人共生舎	就労継続支援B型事業所	野菜各種
Farm Agricola	就労継続支援A型事業所	卵、シフォンケーキ
社会福祉法人当麻かたるべの森	就労継続支援B型事業所	ブルーベリージャム
NPO法人畑とキッチン	就労継続支援A型事業所	トマトジュース、みそ、野菜
NPO法人どりーむ・わーくす	就労継続支援B型事業所	とまと・ブドウ



## 他のイベントとの連携・「北のめぐみ愛食フェア」の開催 道庁赤れんが庁舎前庭（7月23日～26日）

北のめぐみ愛食フェア in エニノウフクマルシェ

開催日：2019年7月23日（水）～26日（土）

開催場所：道庁赤れんが庁舎前庭

開催ブースのご案内

出店事業者	出店商品	出店時間	出店場所
アグリカル	卵、シフォンケーキ	10:00～18:00	1号ブース
大地ふくし会	黒にんにく	10:00～18:00	2号ブース
栗の木	パン、ラスク	10:00～18:00	3号ブース
陽風	はちみつ、クッキー	10:00～18:00	4号ブース
ひまわり	野菜各種	10:00～18:00	5号ブース
共生舎	野菜各種	10:00～18:00	6号ブース
当麻かたるべの森	ブルーベリージャム	10:00～18:00	7号ブース
畑とキッチン	みそ、野菜	10:00～18:00	8号ブース
どりーむ・わーくす	とまと、ブドウ	10:00～18:00	9号ブース



販売チャネルの多様化～テントを張り屋外で不特定多数の人たちを対象に販売  
 農福連携マルシェの知名度のアップ～TV番組の取材による事業所・商品の紹介  
 他のイベントとの連携～食以外の商品の販売をしている事業所が主催者を通しての紹介

赤レンガ前庭「愛食フェア」開催 出店事業所リスト		主な商品
パン工房栗の木	就労継続支援 B 型事業所	パン
NPO法人畑とキッチン	就労継続支援 A 型事業所	トマトジュース、みそ、野菜
藤野ワーク りこびんず	就労継続支援 B 型事業所	紙工芸品（愛食経由の出店依頼）
ユニマインド	就労継続支援 A 型事業所	皮加工品（愛食経由の出店依頼）
【キッチンカー】サンエン	就労継続支援 B 型事業所	野菜、唐揚げ、ジュース
NPO法人大地ふくし会	就労継続支援 A 型事業所	黒にんにく、ブルーベリー



19

## 売上金額

開催場所	開催日	出展事業者数	売上高（円）
帯広市	10/5,6	9	222,000
留萌市	8/9	6	121,000
室蘭市	9/15	5	30,000
地下歩行空間 （チカ木）	8/31,9/1	11	664,000 (売上総額1,464,000)
道庁赤レンガ前庭	7/ 2 3～26	6	43,670



20

## 商談会



日時 11月13日（水）14時～17時  
場所 札幌サンプラザ  
出展 10事業所

### PRスピーチ

- 出展者の立場から～  
（当別町）Farm Agricola 水野 智大氏
- 支援農業者として～  
（新篠津村）大塚ファーム 大塚裕樹氏
- 派遣の立場として～  
（江別市）菓子工房 笑くぼ 小西倫枝氏

※各出展者PRを個別に実施



21

21

## 商談会



22

22

## 商談会 & 即売会

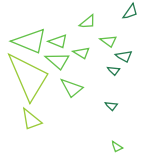
出店者名		主な商品
NPO法人地域で楽しく暮らすネットワーク	B型事業所	焼き菓子、シフォンケーキ、他
有限会社大塚ファーム	雇用機会の提供	ドッグフード、ラスク、野菜
NPO法人大地ふくし会	A型事業所	黒にんにく
パン工房栗の木	B型事業所	ふすまパン、ステックブラウン、全粒粉ラスク
陽風	A型・B型事業所	はちみつ、クッキー、カップケーキ
社会福祉法人三和福祉会	B型事業所	生うどん、生ラーメン、パン
有限会社多田農園	雇用機会の提供	にんじんジュース ワイン
Farm Agricola	A型事業所	平飼い卵、亜麻仁油卵、オーガニック卵
社会福祉法人当麻かたるべの森	B型事業所	ブルーベリージャム
NPO法人畑とキッチン	A型事業所	トマトジュース、トマトソース、米麴



23

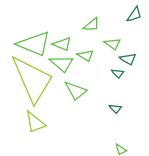
## 農福連携促進事業委託業務

### ② 農福連携マッチング支援

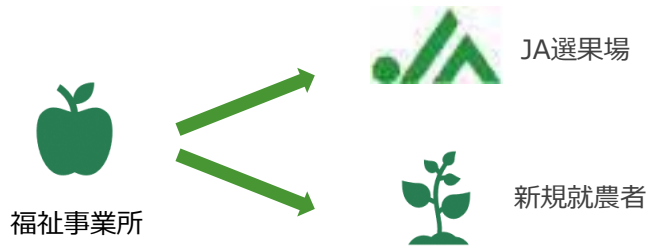


24

# 農福連携マッチング支援



マッチング先として大きく2つのターゲット



# 農福連携マッチング支援



**JA選果場**

- ・受入インフラが期待できる
- ・将来的な地域への波及効果

**福祉事業所**

- ・地域の福祉事業所
- ・特別支援学校

**新規就農者**

- ・手作業が多い
- ・新しいことへの挑戦心に期待



## 農福連携マッチング支援（JA選果場）



## 理想実現のためのロードマップ

農業生産者と障がい者就労施設との農作業請負のマッチング支援を目的



### アンケート

全道のJA組織の農福連携の取り組み具合、労働力不足など。



### ヒアリング

農福連携の意向のあるJAに対し、具体的な農福連携の可能性を探る。



### 見学する

農場に福祉施設から来てもらう。福祉施設に行ってみる。



### 体験する

農場のしごとを体験してもらう。



### 実践する

農福連携を実践する。



27

## 農福連携マッチング支援（新規就農者）



## 理想実現のためのロードマップ

農業生産者と障がい者就労施設との農作業請負のマッチング支援を目的



### 説明会・セミナー

### 農福連携を知る

種類、制度などいろいろな形があります。



### 想定する

農場での作業を分解して人に任せられる作業を考えてみる。



### 見学する

農場に福祉施設から来てもらう。福祉施設に行ってみる。



### 体験する

農場のしごとを体験してもらう。



### 実践する

農福連携を実践する。



28

【障がい福祉事業所向け】  
「障がい福祉サービス事業所の【施設外就労】に関する調査」

【調査票の回答にあたって】

- 1 本調査は、障がい福祉サービスにおいて就労支援をご担当されている方にご記入をお願いいたします。
- 2 質問は、①該当する選択肢に「○」を付けるもの、②数値を記入するもの、③具体的な内容を記述頂くもの、  
がございます。
  - ・「○」を付けて頂く質問では、回答が明確に分かるように「○印」をご記入願います。
  - ・又、「○」を付けて頂く質問には、選択肢から「1つ」を選ぶものと、「いくつでも（複数）」選んでいただくもの  
がございます。  
それぞれの指示に従ってご回答をお願い申し上げます。
- 3 答えにくい質問、答えたくない質問については、記入する必要がありません。答えられる範囲でお答え願います。
- 4 回答については、メールにてお願いいたします。  
※インターネットの環境が整っていない場合は、FAXでご回答願います。

OE-mail : d-syrou@dosyakyo.or.jp  
OFAX : 011-280-3162  
○受付期間 : 令和元年10月25日（金）～11月15日（金）



29

29

## 農福連携マッチング支援（JA選果場）



### アンケート

- ・全道108の農協様を対象
- ・2019年7月29日 営農推進部局ご担当者様宛に投函
- ・8月～9月末回答先に電話にて協力要請



30

30



# 農福連携マッチング支援（JA選果場）



共通質問（農福連携について・施設の有無）

- Q1. 農福連携という言葉が知られていますか？
- Q2. 農福連携に関するセミナー・情報提供などへの参加、利用意向
- Q3. 施設の有無
- Q4. 人員不足の状況と不足となる時期
- Q5. 農福連携の意向



Q5 の回答によって振分け

質問Ⅱ（実践しているJA）

- Q1. 取扱い品目
- Q2. 労働不足など課題作業、農福連携作業
- Q3. 課題
- Q4. 農福連携を推進するために必要と考えること

質問Ⅲ（条件が整えば検討するJA）

- Q1. 取扱い品目
- Q2. 労働不足など課題作業、農福連携を想定する作業
- Q3. 農福連携を始めるにあたっての課題
- Q4. 取り組むための条件

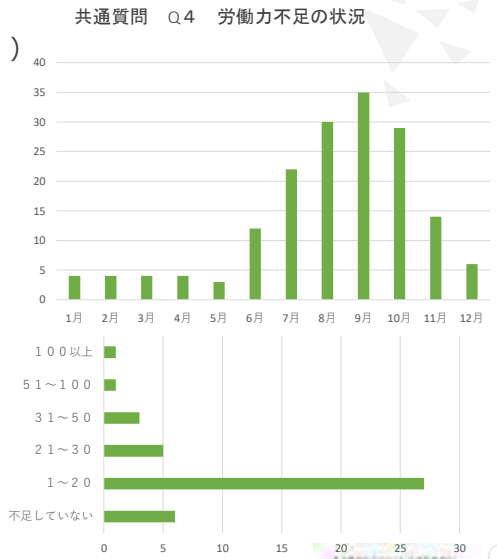
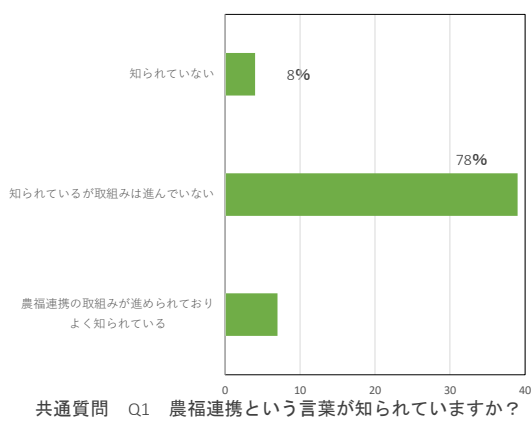
質問Ⅲ（予定していないJA）

- Q1. 取扱い品目
- Q2. 労働不足など課題作業
- Q3. 予定しない理由



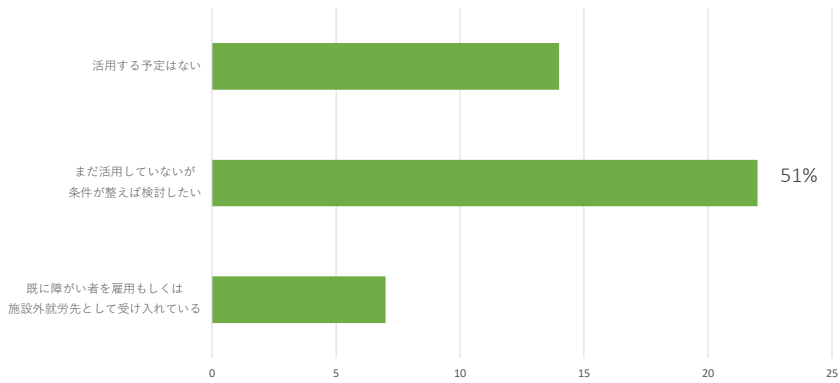
# 農福連携マッチング支援（JA選果場）

アンケート結果（回答数 52 うち施設を有するJA 43）



# 農福連携マッチング支援（JA選果場）

アンケート結果（回答数 52 うち施設を有するJA 43）

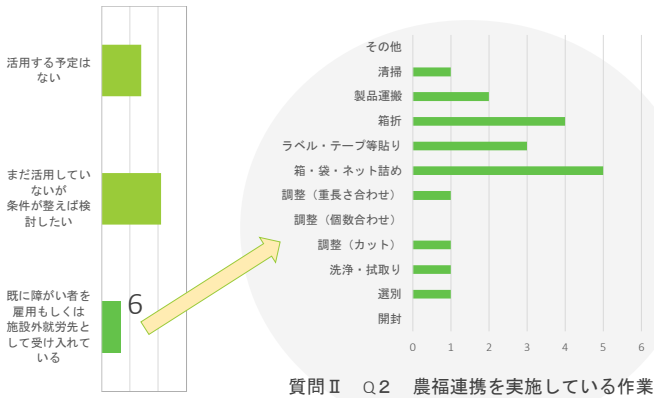


共通質問 Q5 障がい者を活用することについてどう考えていますか？

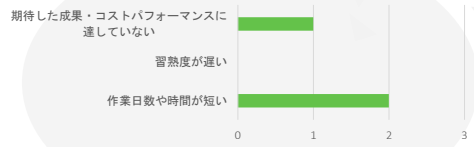


# 農福連携マッチング支援（JA選果場）

アンケート結果（回答数 52 うち施設を有するJA 43）

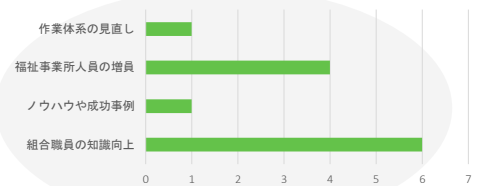


質問Ⅱ Q2 農福連携を実施している作業



その他 突発的な作業を依頼できない

質問Ⅱ Q3 農福連携を実施しての課題

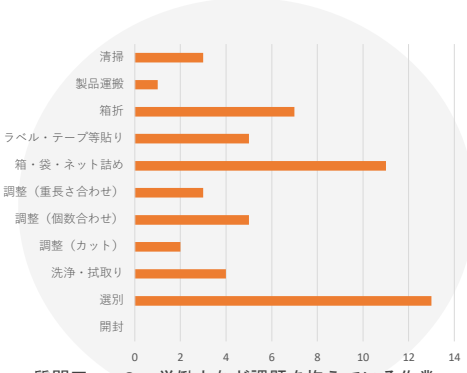


質問Ⅱ Q4 更なる農福連携推進に必要なこと



# 農福連携マッチング支援（JA選果場）

アンケート結果（回答数 51 うち施設を有するJA 42）

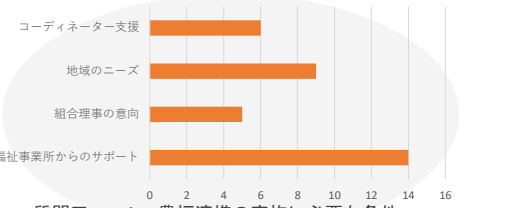


質問Ⅲ Q2 労働力など課題を抱えている作業もしくは農福連携を検討している作業



その他 選果ラインに入れるか不安  
仕事に個人差が大きそう  
同じ作業をする健康者から理解が得られるか  
選別の基準 委託の方式

質問Ⅲ Q3 農福連携に向けての課題

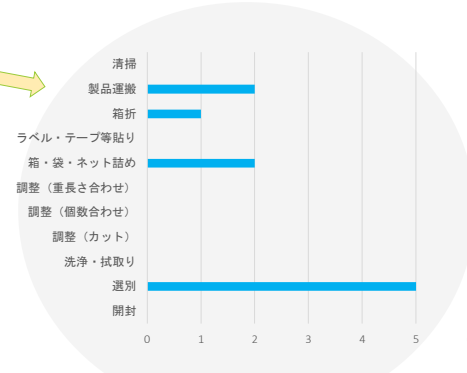
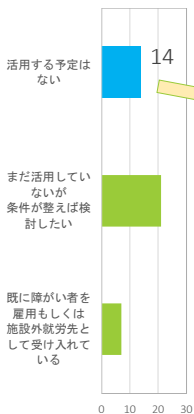


質問Ⅲ Q4 農福連携の実施に必要な条件

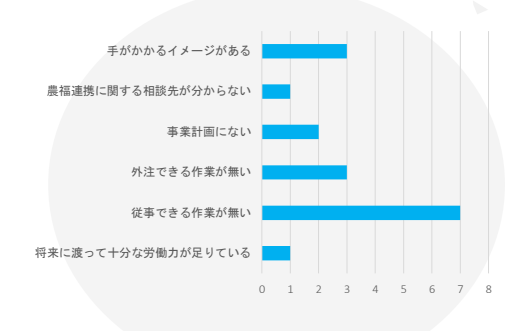


# 農福連携マッチング支援（JA選果場）

アンケート結果（回答数 51 うち施設を有するJA 42）



質問Ⅳ Q2 労働力など課題を抱えている作業



質問Ⅳ Q3 農福連携を予定していない理由





## マッチング支援先の選定



- ・ 事業への協力に対し賛同
- ・ 組合員に就労継続支援B型事業所を運営する農業者があり、マッチング支援を行っていく際の課題解決に協力いただける体制



余市町農業協同組合



37



## 🔍 ヒアリング

### 段ボール 箱折作業

メインのミニトマト以外の野菜（大玉トマト、ピーマンなど）の箱折作業がある。

### ミニトマトのへた取り

ミニトマトを原料としたジュースを製造。  
加工工程にへたを取る作業がある。



38

## マッチング支援先の選定



### 北後志自立支援協議会 第44回 就労支援部会（8月21日）

- ・事業の説明
- ・施設見学会のご提案
- ・事業の期間 冬場は？
- ・JA向けの福祉学習会
- ・対象者 法人、個人、生活困窮者



39

39



## 見学会（9月4日）



北後志自立支援協議会  
メンバー18名



質問事項等は  
一旦自立支援協議会事務局で  
取り纏め




40

40

## ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会（10月16日）

### 作業内容について

- ・仕事内容的にできそう。ハードルが高い作業ではない（箱折、へた取り）
- ・ミニトマトの選果行程は難しいだろう（箱詰め）
- ・箱に入ったりんごの運搬は体力がある利用者に限られるだろう
- ・音に敏感な利用者は難しい
- ・足の悪いパートもおられたが現場で環境を対応されていた
- ・危険個所について大きく掲示してもらえると良い
- ・手話が使えるとありがたい

 想定した箱折、へた取りは可能




41

41

## ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会（10月16日）

### 作業時間・作業期間

- ・一日あたり4時間程度でも大丈夫か？
- ・90分作業をして10分程度の小休憩を挟むような作業体系は可能か？
- ・年間作業のスケジュール感を知りたい。
- ・いつ頃からスタートし、受入可能人数の推移。
- ・一日のルマ（数値目標）を作るやり方になるのかどうか

 時間設定、スケジュールが課題




42

42

## ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会（10月16日）

### 工賃について

- ・一律での支払いとするのか、能力差をつけての支払いとするのか
- ・給与体系の設定について

 工賃設定が課題



43

43

## ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会（10月16日）

### 農福連携の体制

- ・個々の事業者が施設外就労への参加を希望して、個々での対応とするのか、北後志自立支援協議会が窓口となるのか？
- ・一つの理想形として、その日作業に入れる人の情報を共有・マッチングし、協議会の参加メンバーがジョブコーチ的な役割を当番制で支援する
- ・JA側の方にも利用者の作業を見学していただきたい
- ・利用者に自信を付けさせるために、作業者は固定した方がいいのではないか？
- ・利用者の障がい特性の幅が広いのでJA側で受入の基準を決めてもらった方がいい
- ・支援事業所での既存作業に加えて作業を行うということで、気分転換にもなり、新しい世界が広がることで能力の向上にもつながり意義がある



44

44

## ヒアリング 北後志自立支援協議会 第45回 就労支援部会（10月16日）

### その他

- ・余市町のブランドに関われる仕事でモチベーションを高くもてる
- ・JAと連携できることは感激
- ・将来的にJAが障がい者を組合員に仲介することができるようになると良い



JAに対する大きな期待  
地方では農産物が町の顔（ブランド・プライド）



45

## 見学会（12月予定）

JA職員の福祉事業所見学会を実施  
（福祉事業所利用者の働きぶりを確認していただく）



- ・作業委託の期間、日数、時間帯
- ・工賃の考え方
- ・利用者の取り纏め

来年度の農福連携実現に向けた具体的な協議



46



## 農福連携マッチング支援（新規就農者）



説明会・セミナー



農業者のための農福連携セミナー（7月9日）  
だて歴史の杜カルチャーセンター（伊達市）



農福連携を知る

『農福連携とは？』

道社協マッチング事業コーディネーター 大泉浩一 氏



想定する

『農福連携実践者報告』

合同会社竹内農園 竹内 巧 氏



47

## 農福連携マッチング支援（新規就農者）



説明会・セミナー



農業者のための農福連携セミナー（7月9日）

伊達市、壮瞥町、安平町、豊浦町 16名

- ・農業者が障がい者を受け入れることに対して、国などからの補助金はあるのか？
- ・自分の町には重度障害者の施設はあるが、就労支援施設はない。
- ・作業請負できる福祉事業所があれば繋がりたい
- ・福祉事業所の職員が足りず、施設外就労が出来ないとされたことがある。
- ・福祉事業所側が農業（外での仕事）を嫌がって実現しなかった。



48

## 農福連携マッチング支援（新規就農者）

農業者のための農福連携セミナー



将来的に農福連携を考えたい  
豊浦町でも検討したい



豊浦町

- ・担当者ベースで農福連携の模索
- ・町の農業者、福祉事業者が顔を合わせる機会



49

49

## 農福連携マッチング支援（新規就農者）



説明会・セミナー

第1回豊浦町農福連携等障がい者就労支援勉強会  
(9月26日 豊浦町役場)



農福連携を知る

『農福連携とは?』

道社協マッチング事業コーディネーター 大泉浩一 氏

『豊浦町における福祉事業の状況』

総合保健福祉施設やまびこ 武田貴博 氏

『農福連携実践者報告』

社会福祉法人タブ i・box 職業指導員 郡司 佳明 氏



50

50

# 第1回豊浦町農福連携等障がい者就労支援勉強会

豊浦町の概要

人口：4,291人（H30.国勢調査）

主産業：農業（いちご、養豚他）および水産業（ホタテ、カレイ他）

障がい福祉サービス

事業項目	事業所数
生活介護	2
就労継続支援B型	1
共同生活援助	2
施設入所支援	2
計画相談支援	2
障がい児相談支援	2

障がい区分利用者数：（R元年9月）

身体	知的	精神	障がい児	難病等
9	28	8	0	0



# 第1回豊浦町農福連携等障がい者就労支援勉強会

町内に就労支援施設が1か所しかないが  
人手不足で事業拡大に踏み出せない

- ・隣の福祉事業所に送迎している
- ・障害年金だけでは自立した生活ができないが、町内に入れる就労支援施設が無い
- ・子どもが中学生の頃から相談をしているがもう20歳を過ぎてしまった



- ・現在、研修中だが外国人労働者よりも農福連携に期待している
- ・パート従業員を雇っているが継続性を考えて農福連携にも取り組んでいきたい
- ・人手が足りなくなるのが明らか

町外からの参入に期待？





# 農福連携マッチング支援（まとめ）

ターゲット	場所	ロードマップ進捗状況
J A 選果場	J A 余市	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A に対するアンケート調査を実施</li> <li>・ J A ならびに福祉事業所に対しヒアリングにより双方の意見を吸上げ</li> <li>・ J A 選果場の見学会を実施</li> <li>・ 福祉事業所の見学会を予定（12月）</li> <li>・ 来年度での体験会、農福連携の実践に道筋</li> </ul>
新規就農者	胆振地区 豊浦町	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規就農者に対するセミナーの実施</li> <li>・ 福祉事業者（利用者）と農業者の顔合わせを実施</li> <li>・ 豊浦町における農福連携の課題を共有</li> <li>・ 継続的な話し合いの場を設定</li> <li>・ 来年度の見学会の実施に道筋</li> </ul>



## 農福連携促進事業委託業務 成果報告書

【委託者】 北海道保健福祉部 福祉局 障がい者保健福祉課  
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL 011-204-5278  
FAX 011-232-4068

【受託者】「農福連携促進事業委託業務」受託コンソーシアム

発行 令和元年12月